

車の自動走行システム（いわゆる自動運転）に関するアンケート結果

1. 目的

自動走行システムに関する公道実証実験に対する国民各層の考え方、受容性等を把握し、我が国で安全に公道実証実験を行うための条件や留意事項を示すガイドラインの作成に向けた検討の基礎資料とすることを目的とする。

2. 実施概要

(1) 調査実施時期

平成27年11月25日（水）～12月2日（水）

(2) 調査方法と調査規模

インターネットWEBモニター調査（事前登録情報に基づくサンプリング調査）

有効回収数 1083件回収

(3) 調査対象

全国の18歳以上の男女（運転免許の有無を問わない）

(4) 割付方針

地域性による自動車依存度の違い、年代や性別による自動車運転への評価や負担感の違い、ITなどへの親和性に幅があることが想定されるため、次の区分による均等割付による回収を行った。

- ・ブロック別（地方ブロック6ブロック）
- ・世代区分別（7区分）
- ・男女別（2区分）

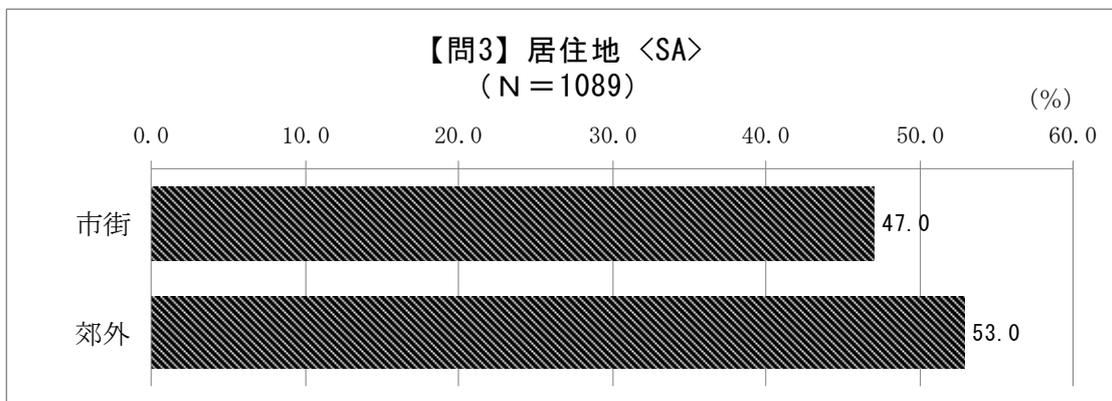
		合計	年齢						
			18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
全体		1089 100.0	158 14.5	160 14.7	154 14.1	155 14.2	156 14.3	152 14.0	154 14.1
性別	男性	548 100.0	79 14.4	81 14.8	77 14.1	78 14.2	78 14.2	76 13.9	79 14.4
	女性	541 100.0	79 14.6	79 14.6	77 14.2	77 14.2	78 14.4	76 14.0	75 13.9
地域	北海道・東北	180 100.0	26 14.4	27 15.0	25 13.9	26 14.4	26 14.4	25 13.9	25 13.9
	北陸・信越	181 100.0	26 14.4	26 14.4	26 14.4	26 14.4	26 14.4	26 14.4	25 13.8
	関東	181 100.0	27 14.9	27 14.9	25 13.8	26 14.4	26 14.4	24 13.3	26 14.4
	中部・近畿	181 100.0	27 14.9	26 14.4	26 14.4	25 13.8	26 14.4	25 13.8	26 14.4
	中国・四国	182 100.0	26 14.3						
	九州・沖縄	184 100.0	26 14.1	28 15.2	26 14.1	26 14.1	26 14.1	26 14.1	26 14.1

3. 調査の結果

(1) 回答者属性

① 居住地

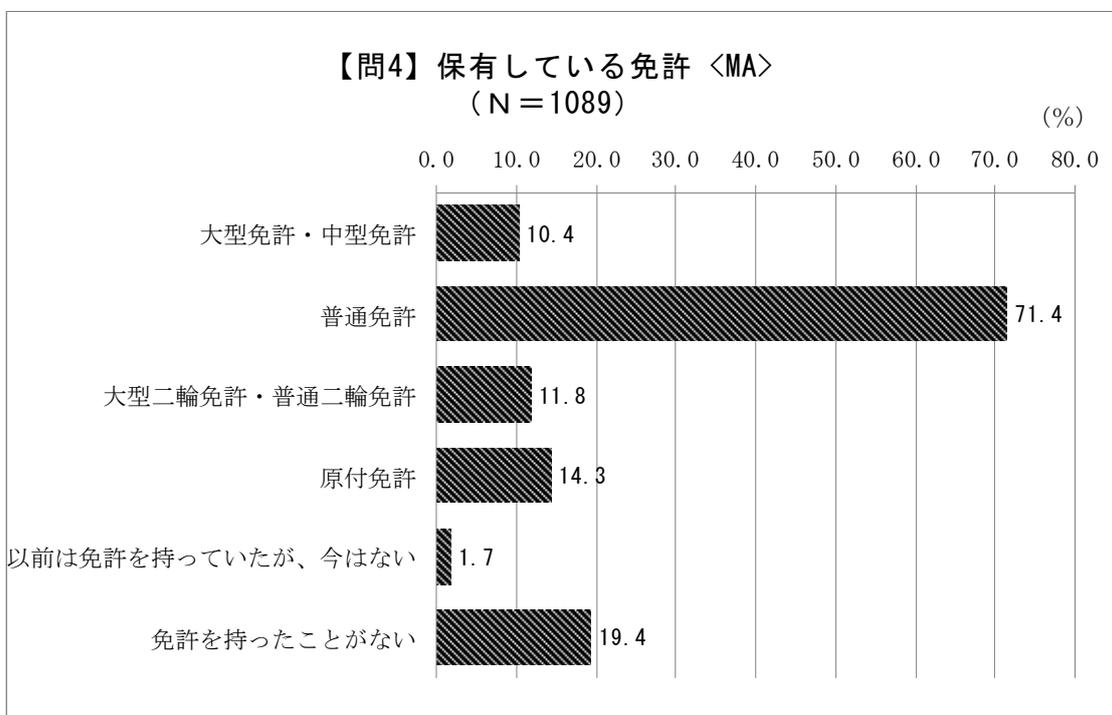
回答者の居住地は、市外が約 47%、郊外が約 53%となっている。



(注) SA：単回答、MA：複数回答（以下同様）

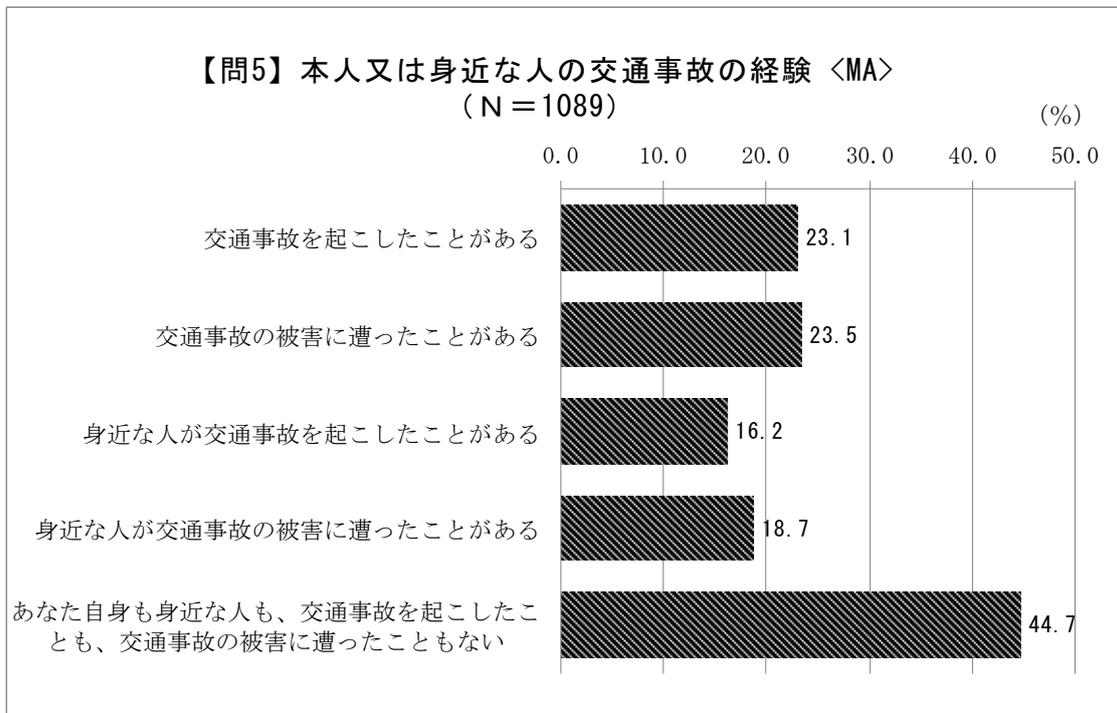
② 保有運転免許

回答者の保有運転免許の保有状況は、普通免許の保有率が約 71%である。非保有者は約 19%となっている。



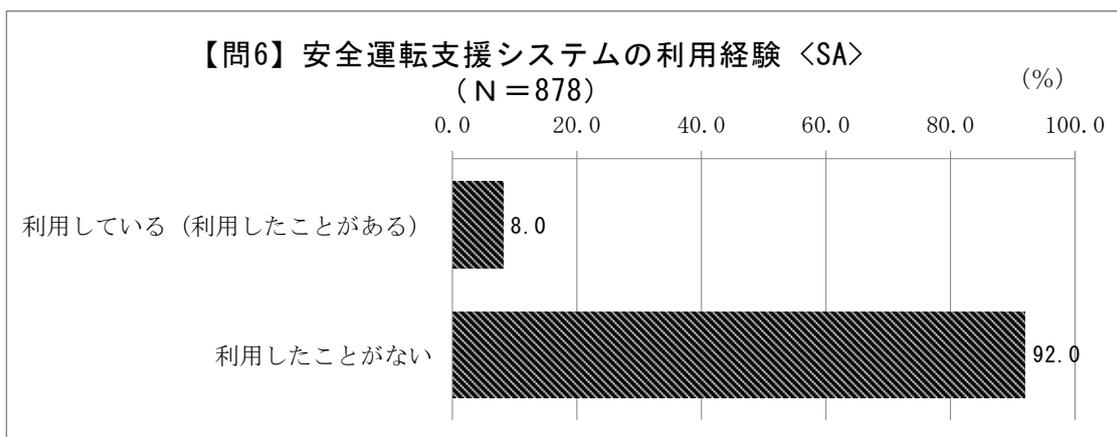
③交通事故の経験

交通事故を起こしたことがある、あるいは交通事故の被害に逢ったことがある割合は、それぞれ約 23、24%となっている。回答者自身や身近な人にも交通事故の経験のない人は約 45%である。



④安全運転支援システムの利用経験

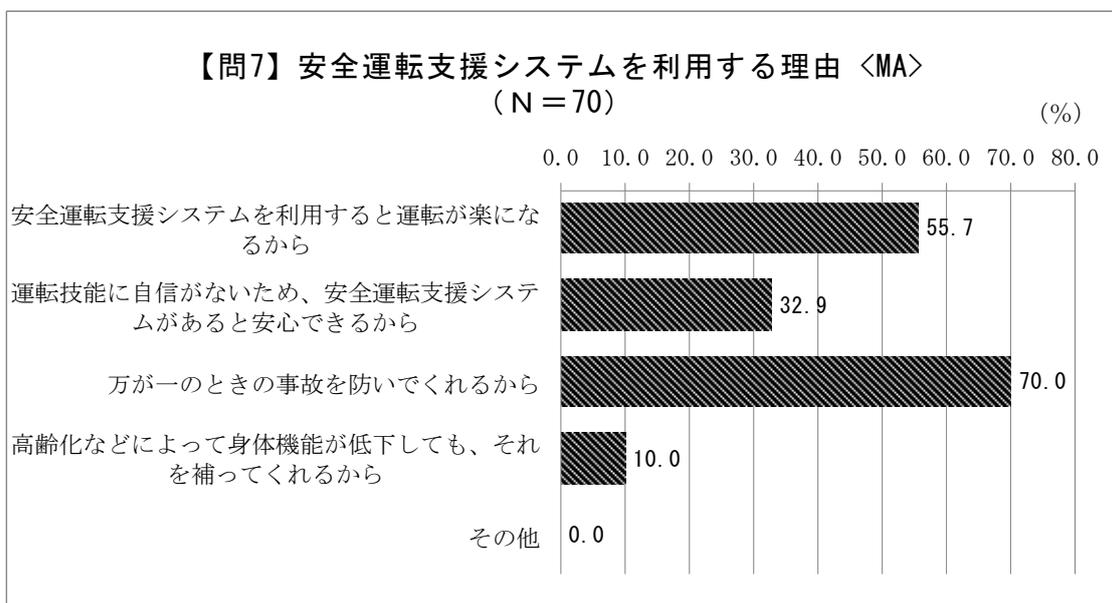
運転免許保有者（以前持っていた人を含む）の安全運転支援システムの利用経験は、利用している（利用したことがある）が約 8%、利用したことがないが約 92%となっている。



(注) アンケートでは、安全運転支援システムとして、「衝突被害軽減ブレーキ」「ACC」「レーンキープアシスト」の具体例を示している。

⑤安全運転支援システムを利用する理由

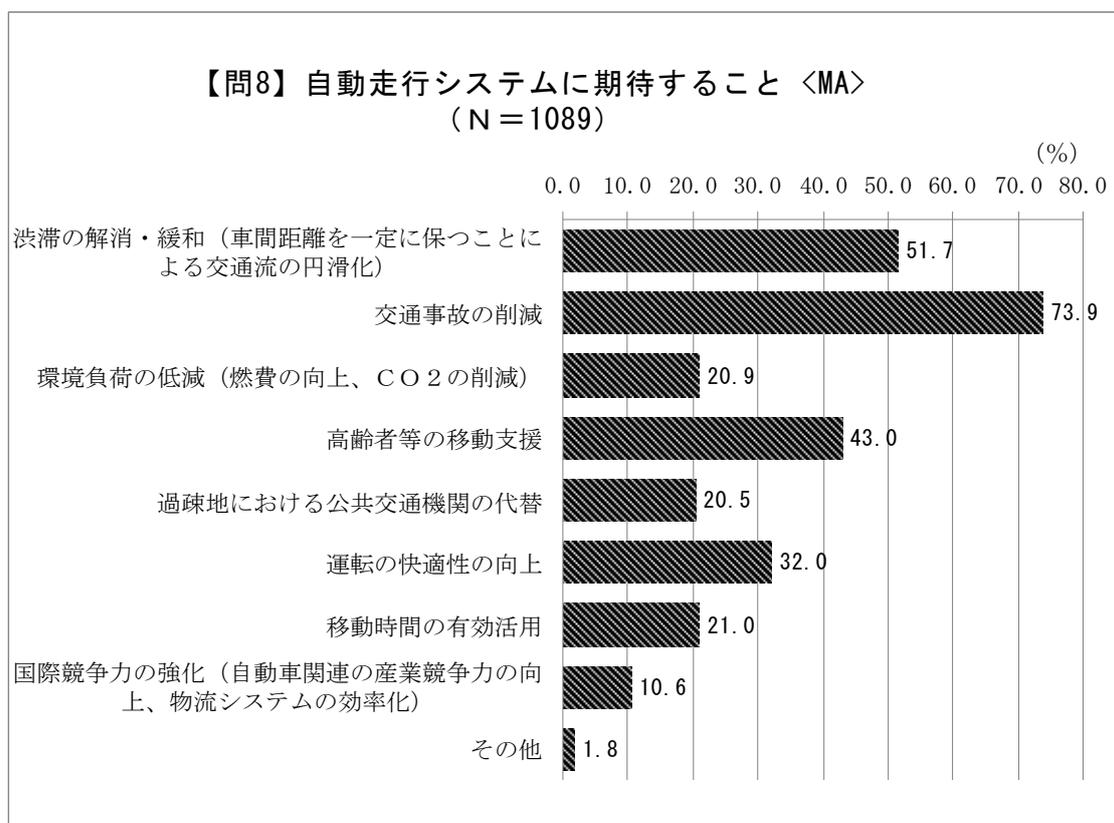
安全運転システムを利用する理由は、「万が一のときの事故を防いでくれるから」が約70%と最も多く、次いで、「安全運転支援システムを利用すると運転が楽になるから」が約56%と続く。



(2)車の自動走行システムについて

①自動走行システムに期待すること

「交通事故の削減」が約 74%と最も多く、次いで、「渋滞の解消・緩和」が約 52%、「高齢者等の移動支援」が約 43%と続く。



(属性別集計結果)

問8についての性別、年代、地域、居住地(市街・郊外)、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- 全ての属性で「交通事故の削減」が最も多く、代表的意見となっている。
- 男性は「渋滞の解消・緩和」「国際競争力の強化」の回答割合が全体に比べ高い。
- 70代以上は「高齢者等の移動支援」の回答割合が全体に比べ高い。
- 運転免許保有者は「渋滞の解消・緩和」「交通事故の削減」「運転の快適性向上」の回答割合が全体に比べ高い。
- 交通事故経験者は「交通事故の削減」「高齢者等の移動支援」等の回答割合が全体に比べ高い。
- 地域や居住地(市街・郊外)による回答の差はみられなかった。

(注) 交通事故の経験者とは自身又は身近な人が「交通事故を起こしたことがある」「交通事故の被害に逢ったことがある」に該当する回答者を指す。(以下同様)

(注) 下線は有意差1%の回答結果(以下同様)

表 「問8自動走行システムに期待すること」のクロス集計結果

		合計	問8自動走行システムに期待すること									
			渋滞の解消・緩和	交通事故の削減	環境負荷の低減	高齢者等の移動支援	過疎地における公共交通機関の代替	運転の快適性の向上	移動時間の有効活用	国際競争力の強化	その他	不明
全体		1089 100.0	563 51.7	805 73.9	228 20.9	468 43.0	223 20.5	349 32.0	229 21.0	115 10.6	20 1.8	0 0.0
性別	男性	548 100.0	307 56.0	402 73.4	120 21.9	218 39.8	113 20.6	185 33.8	135 24.6	81 14.8	11 2.0	0 0.0
	女性	541 100.0	256 47.3	403 74.5	108 20.0	250 46.2	110 20.3	164 30.3	94 17.4	34 6.3	9 1.7	0 0.0
年代	10代	158 100.0	73 46.2	114 72.2	45 28.5	60 38.0	28 17.7	54 34.2	43 27.2	16 10.1	2 1.3	0 0.0
	20代	160 100.0	83 51.9	118 73.8	31 19.4	58 36.3	26 16.3	52 32.5	35 21.9	17 10.6	5 3.1	0 0.0
	30代	154 100.0	79 51.3	105 68.2	19 12.3	44 28.6	20 13.0	37 24.0	25 16.2	13 8.4	1 0.6	0 0.0
	40代	155 100.0	84 54.2	118 76.1	27 17.4	56 36.1	29 18.7	56 36.1	31 20.0	16 10.3	1 0.6	0 0.0
	50代	156 100.0	78 50.0	116 74.4	28 17.9	76 48.7	40 25.6	49 31.4	28 17.9	17 10.9	6 3.8	0 0.0
	60代	152 100.0	75 49.3	114 75.0	31 20.4	79 52.0	33 21.7	49 32.2	27 17.8	15 9.9	3 2.0	0 0.0
	70代以上	154 100.0	91 59.1	120 77.9	47 30.5	95 61.7	47 30.5	52 33.8	40 26.0	21 13.6	2 1.3	0 0.0
地域	北海道・東北	180 100.0	82 45.6	138 76.7	34 18.9	71 39.4	32 17.8	59 32.8	36 20.0	13 7.2	3 1.7	0 0.0
	北陸・信越	181 100.0	98 54.1	128 70.7	36 19.9	87 48.1	48 26.5	56 30.9	31 17.1	24 13.3	6 3.3	0 0.0
	関東	181 100.0	106 58.6	135 74.6	35 19.3	72 39.8	35 19.3	58 32.0	37 20.4	22 12.2	4 2.2	0 0.0
	中部・近畿	181 100.0	92 50.8	136 75.1	37 20.4	72 39.8	33 18.2	54 29.8	41 22.7	22 12.2	5 2.8	0 0.0
	中国・四国	182 100.0	90 49.5	127 69.8	40 22.0	87 47.8	36 19.8	61 33.5	41 22.5	16 8.8	0 0.0	0 0.0
	九州・沖縄	184 100.0	95 51.6	141 76.6	46 25.0	79 42.9	39 21.2	61 33.2	43 23.4	18 9.8	2 1.1	0 0.0
問3居住地	市街	512 100.0	263 51.4	373 72.9	98 19.1	215 42.0	91 17.8	158 30.9	95 18.6	58 11.3	14 2.7	0 0.0
	郊外	577 100.0	300 52.0	432 74.9	130 22.5	253 43.8	132 22.9	191 33.1	134 23.2	57 9.9	6 1.0	0 0.0
問4保有している免許	現在保有	860 100.0	466 54.2	652 75.8	186 21.6	359 41.7	184 21.4	296 34.4	185 21.5	95 11.0	16 1.9	0 0.0
	過去に保有	18 100.0	12 66.7	13 72.2	3 16.7	6 33.3	1 5.6	2 11.1	4 22.2	1 5.6	0 0.0	0 0.0
	保有なし	211 100.0	85 40.3	140 66.4	39 18.5	103 48.8	38 18.0	51 24.2	40 19.0	19 9.0	4 1.9	0 0.0
問5交通事故の経験	事故経験あり	602 100.0	330 54.8	464 77.1	151 25.1	286 47.5	144 23.9	206 34.2	136 22.6	53 8.8	11 1.8	0 0.0
	事故経験なし	487 100.0	233 47.8	341 70.0	77 15.8	182 37.4	79 16.2	143 29.4	93 19.1	62 12.7	9 1.8	0 0.0

1%有意
5%有意

下線は回答割合が第1位の項目

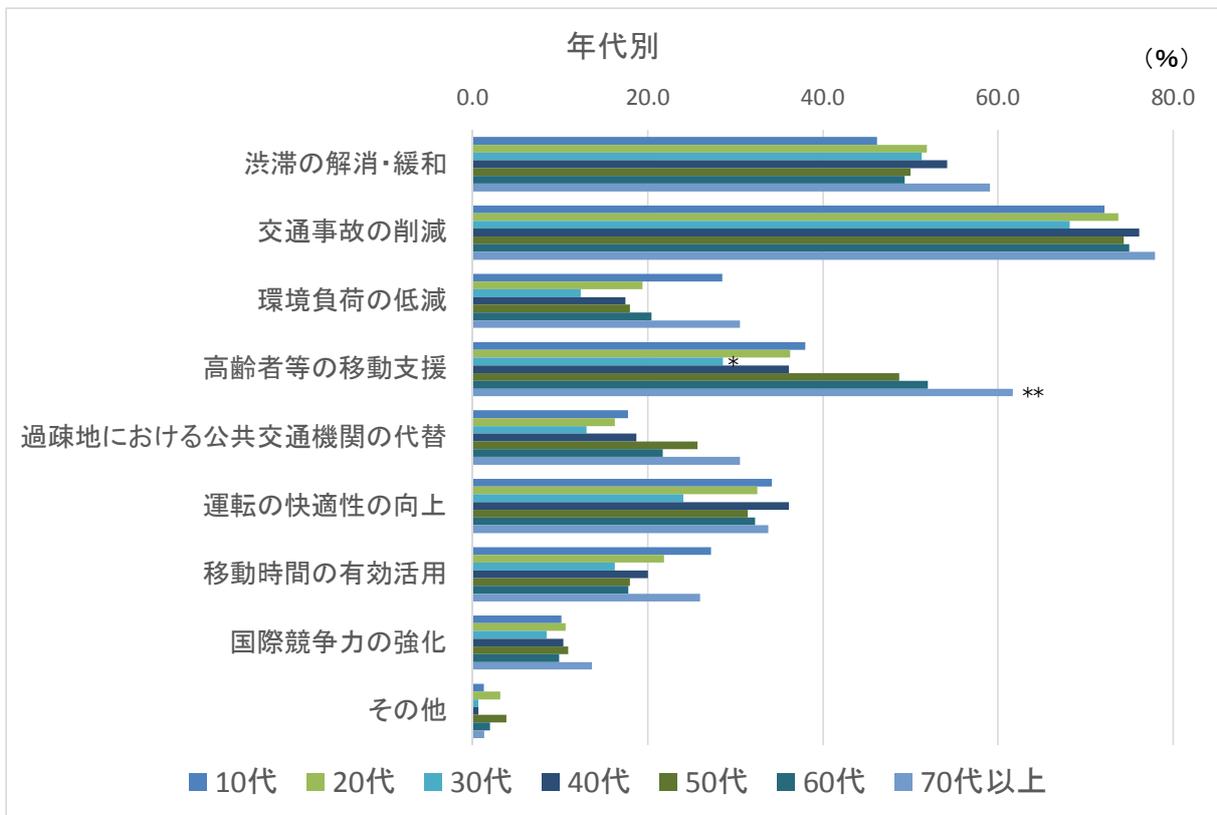
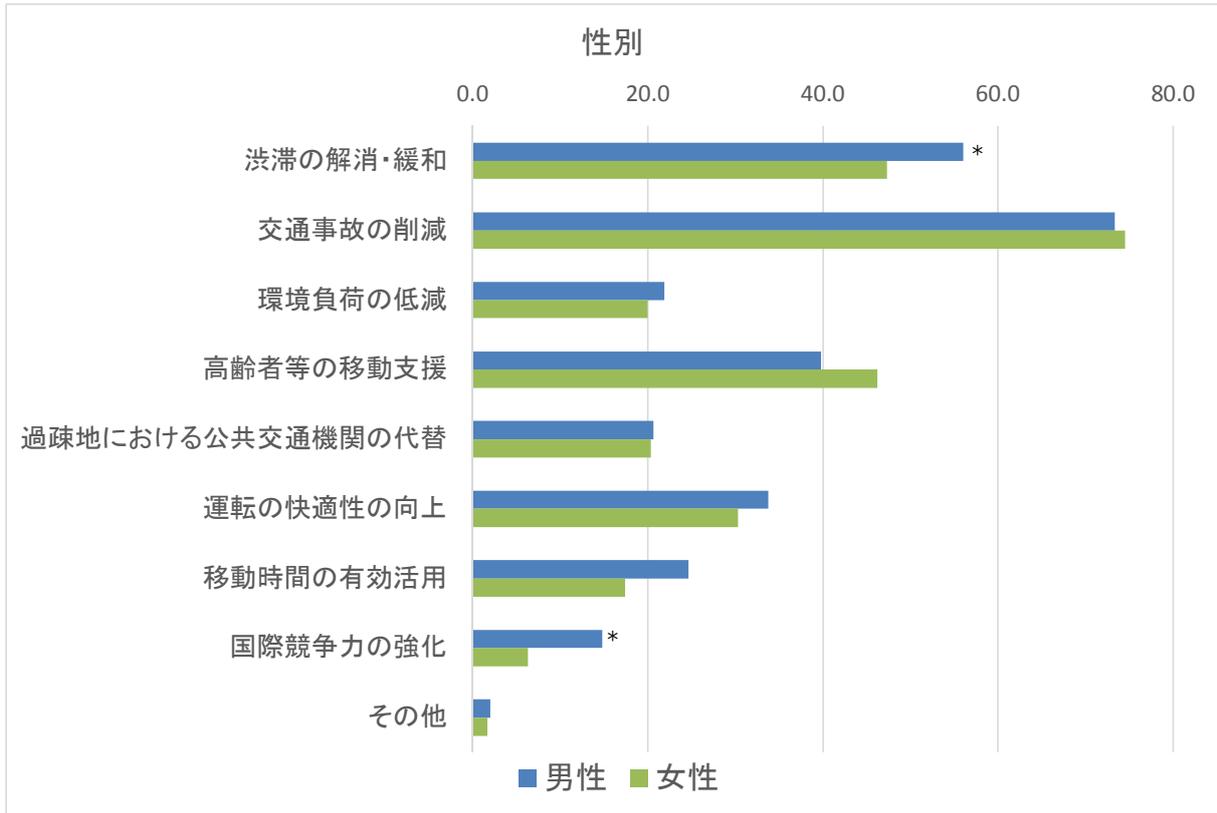


図 「問8自動走行システムに期待すること」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

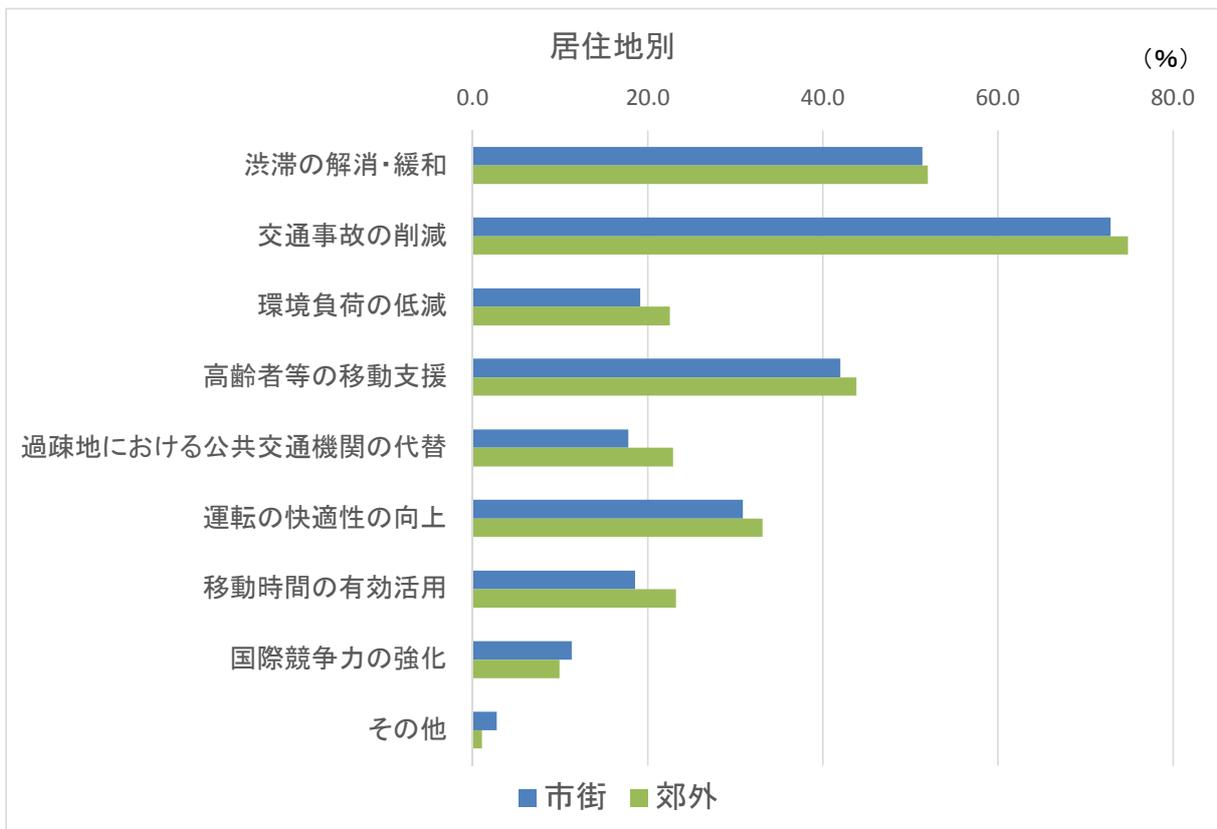
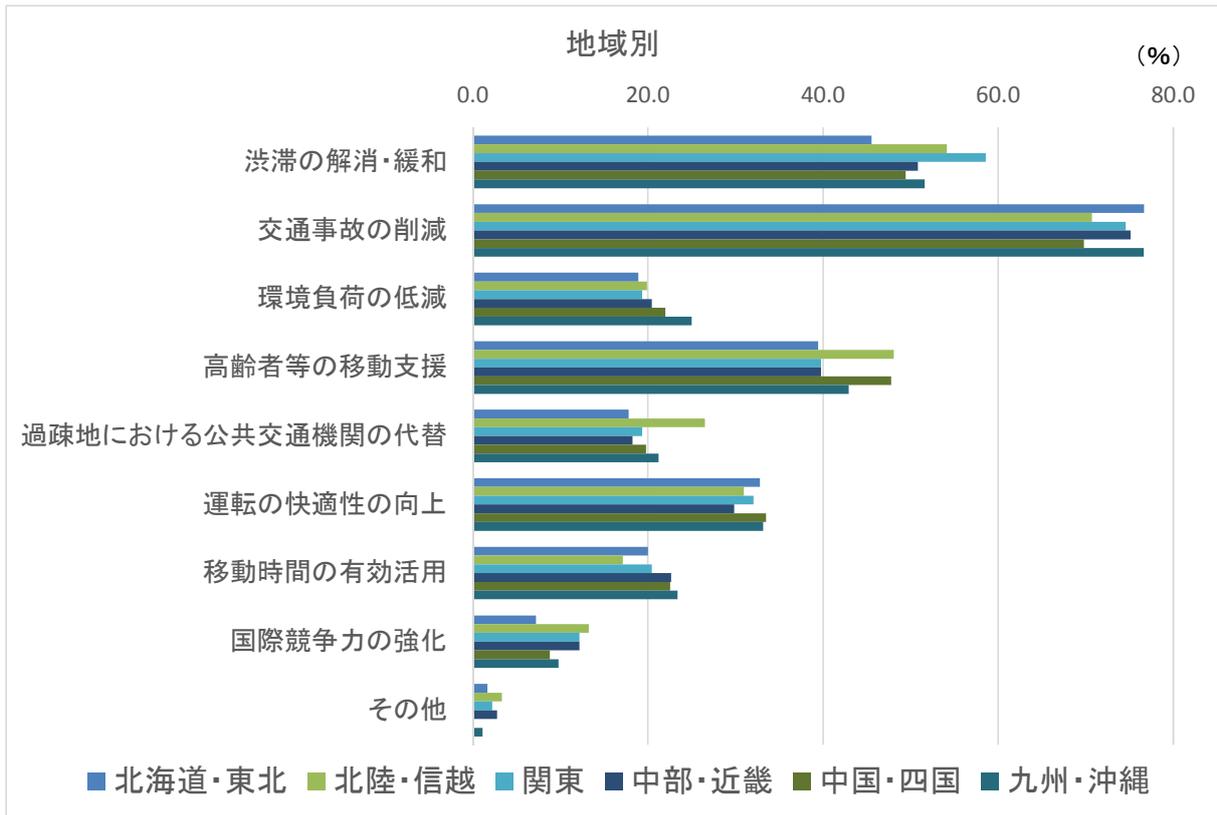


図 「問8自動走行システムに期待すること」のクロス集計結果

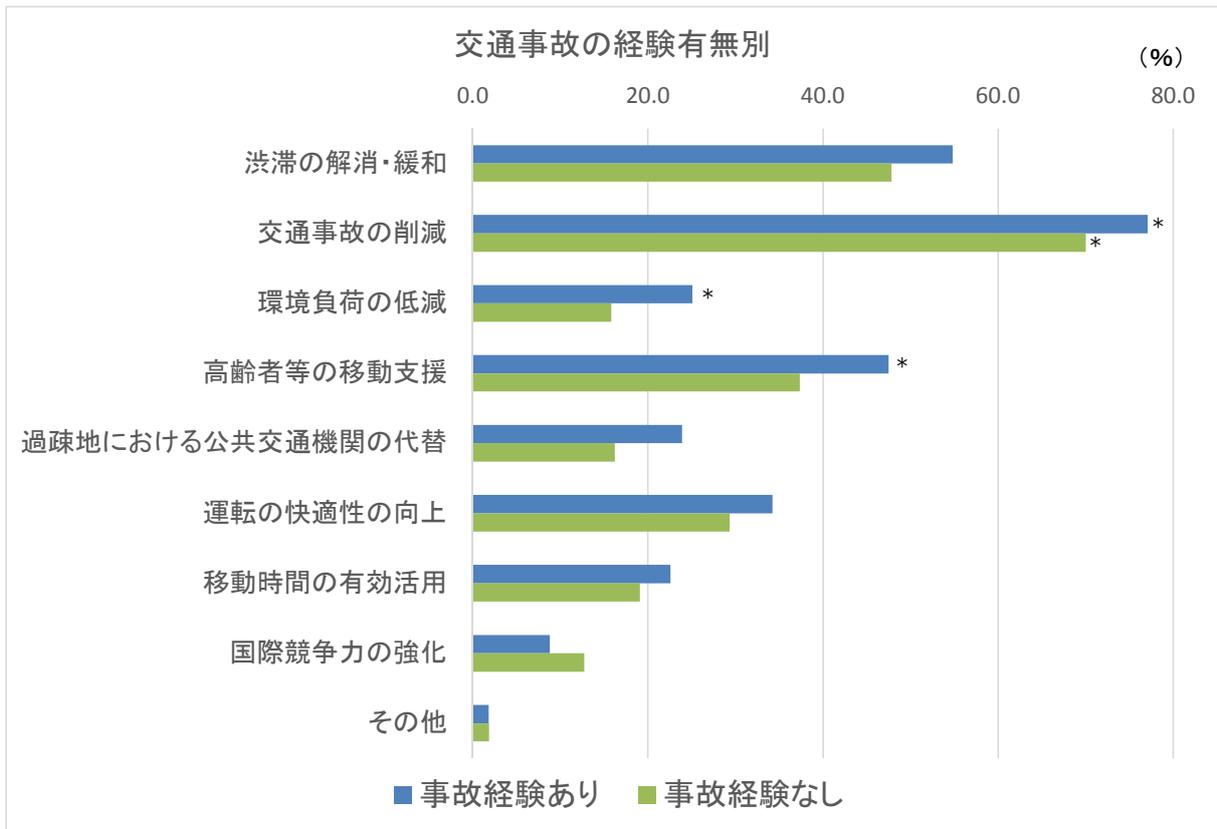
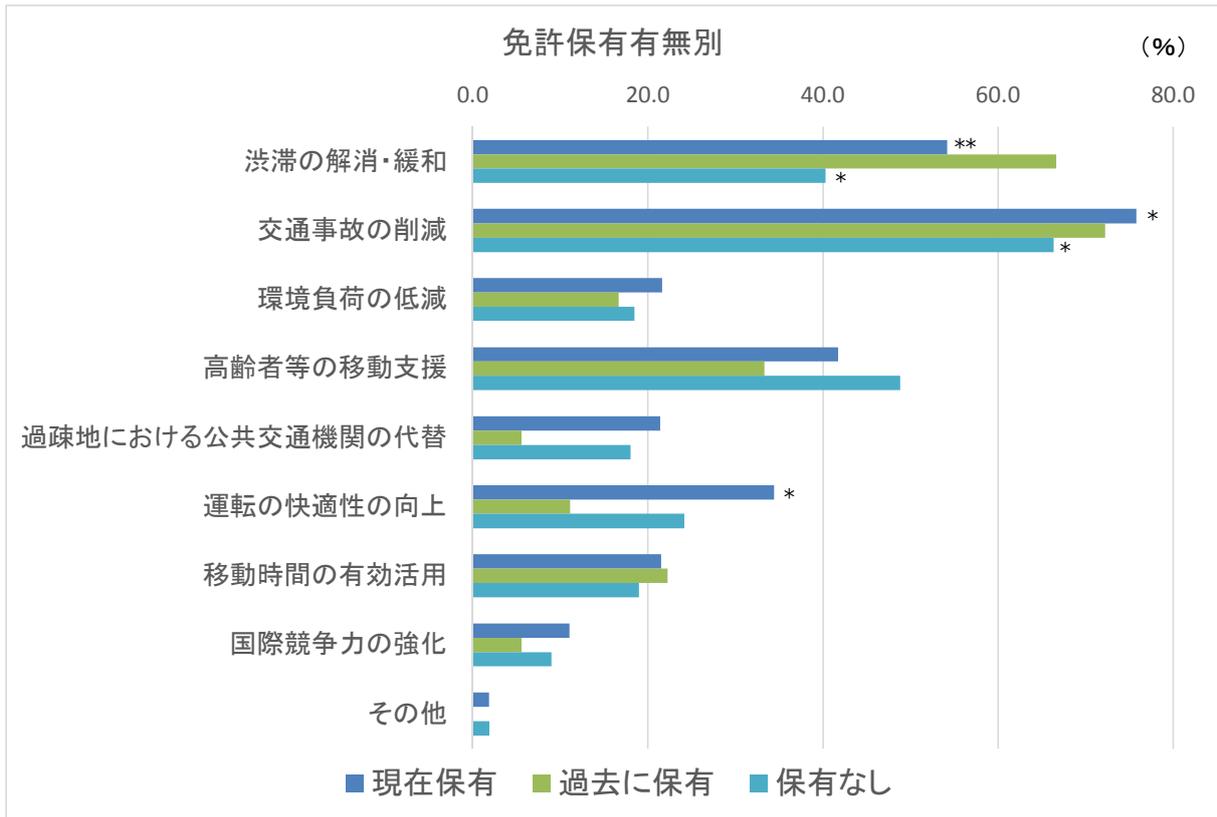
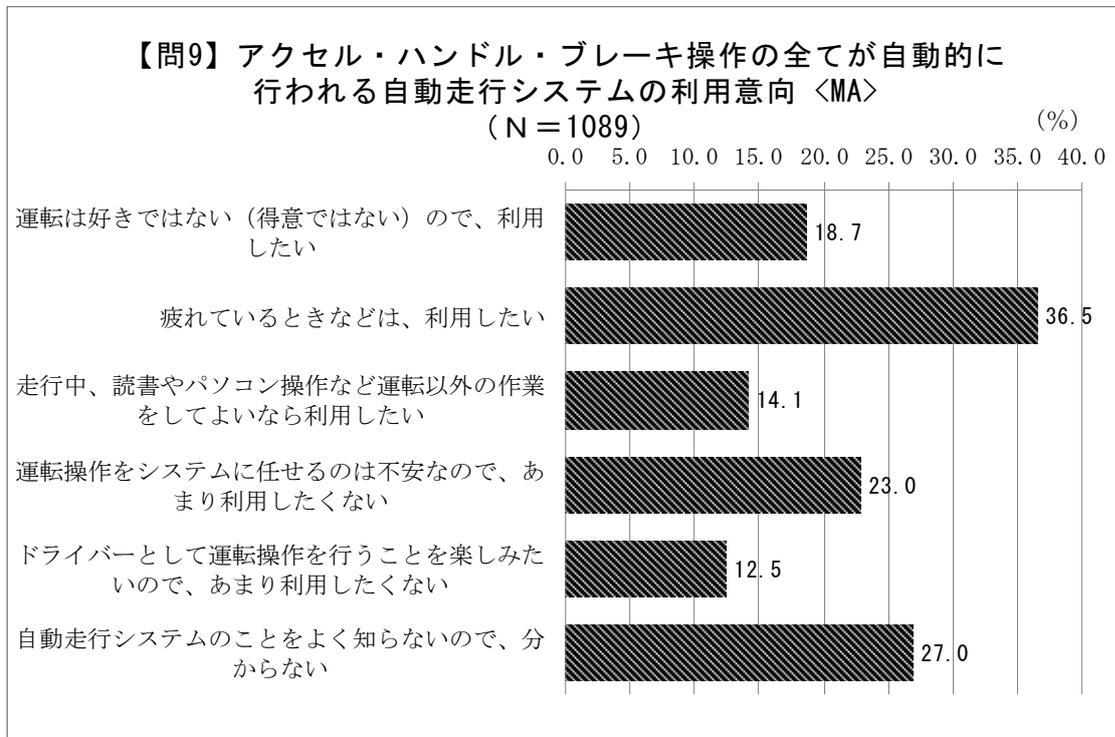


図 「問8自動走行システムに期待すること」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

②自動走行システムの利用意向

「疲れているときなどは、利用したい」が約37%と最も多く、次いで、「自動走行システムのことをよく知らないので、分からない」が約27%、「運転操作をシステムに任せるのは不安なので、あまり利用したくない」が約23%と続く。



(属性別集計結果)

問9についての性別、年代、地域、居住地(市街・郊外)、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- 性別、年代、地域、居住地は全ての属性で「疲れているときなどは、利用したい」が最も多く、代表的意見となっている。
- 男性は「疲れているときなどは、利用したい」「ドライバーとして運転操作を行うことを楽しみたいので、あまり利用したくない」の回答割合が全体に比べ高い。
- 女性や運転免許非保有者は「自動走行システムのことをよく知らないので、分からない」の回答割合が全体に比べ高い。
- 運転免許保有者は「疲れているときなどは、利用したい」「運転操作をシステムに任せるのは不安なので、あまり利用したくない」の回答割合が全体に比べ高い。
- 交通事故経験者は「疲れているときなどは、利用したい」等の回答割合が全体に比べ高い。
- 年代、地域、居住地(市街・郊外)による回答の差はみられなかった。

表 「問9自動走行システムの利用意向」のクロス集計結果

		合計	問9自動走行システムの利用意向						
			運転は好きではない(得意ではない)ので、利用したい	疲れているときは、利用したい	走行中、読書やパソコン操作など運転以外の作業をしてよいなら利用したい	運転操作をシステムに任せるのは不安なので、あまり利用したくない	ドライバーとして運転操作を行うことを楽しみたいので、あまり利用したくない	自動走行システムのことをよく知らないの、分からない	不明
全体		1089 100.0	204 18.7	398 36.5	154 14.1	250 23.0	136 12.5	294 27.0	0 0.0
性別	男性	548 100.0	81 14.8	233 42.5	96 17.5	126 23.0	95 17.3	117 21.4	0 0.0
	女性	541 100.0	123 22.7	165 30.5	58 10.7	124 22.9	41 7.6	177 32.7	0 0.0
年代	10代	158 100.0	35 22.2	60 38.0	37 23.4	34 21.5	25 15.8	37 23.4	0 0.0
	20代	160 100.0	32 20.0	46 28.8	26 16.3	37 23.1	17 10.6	50 31.3	0 0.0
	30代	154 100.0	31 20.1	58 37.7	21 13.6	33 21.4	14 9.1	49 31.8	0 0.0
	40代	155 100.0	31 20.0	63 40.6	19 12.3	39 25.2	24 15.5	30 19.4	0 0.0
	50代	156 100.0	32 20.5	65 41.7	19 12.2	34 21.8	16 10.3	34 21.8	0 0.0
	60代	152 100.0	22 14.5	47 30.9	14 9.2	42 27.6	15 9.9	41 27.0	0 0.0
	70代以上	154 100.0	21 13.6	59 38.3	18 11.7	31 20.1	25 16.2	53 34.4	0 0.0
地域	北海道・東北	180 100.0	36 20.0	63 35.0	20 11.1	33 18.3	15 8.3	57 31.7	0 0.0
	北陸・信越	181 100.0	28 15.5	73 40.3	25 13.8	45 24.9	36 19.9	39 21.5	0 0.0
	関東	181 100.0	38 21.0	60 33.1	26 14.4	47 26.0	21 11.6	48 26.5	0 0.0
	中部・近畿	181 100.0	45 24.9	62 34.3	26 14.4	42 23.2	22 12.2	52 28.7	0 0.0
	中国・四国	182 100.0	26 14.3	63 34.6	30 16.5	45 24.7	19 10.4	49 26.9	0 0.0
	九州・沖縄	184 100.0	31 16.8	77 41.8	27 14.7	38 20.7	23 12.5	49 26.6	0 0.0
問3居住地	市街	512 100.0	105 20.5	183 35.7	81 15.8	101 19.7	65 12.7	138 27.0	0 0.0
	郊外	577 100.0	99 17.2	215 37.3	73 12.7	149 25.8	71 12.3	156 27.0	0 0.0
問4保有している免許	現在保有	860 100.0	167 19.4	359 41.7	128 14.9	221 25.7	123 14.3	170 19.8	0 0.0
	過去に保有	18 100.0	3 16.7	3 16.7	0 0.0	1 5.6	0 0.0	11 61.1	0 0.0
	保有なし	211 100.0	34 16.1	36 17.1	26 12.3	28 13.3	13 6.2	113 53.6	0 0.0
問5交通事故の経験	事故経験あり	602 100.0	116 19.3	263 43.7	106 17.6	162 26.9	86 14.3	113 18.8	0 0.0
	事故経験なし	487 100.0	88 18.1	135 27.7	48 9.9	88 18.1	50 10.3	181 37.2	0 0.0

1%有意 下線は回答割合が第1位の項目
5%有意

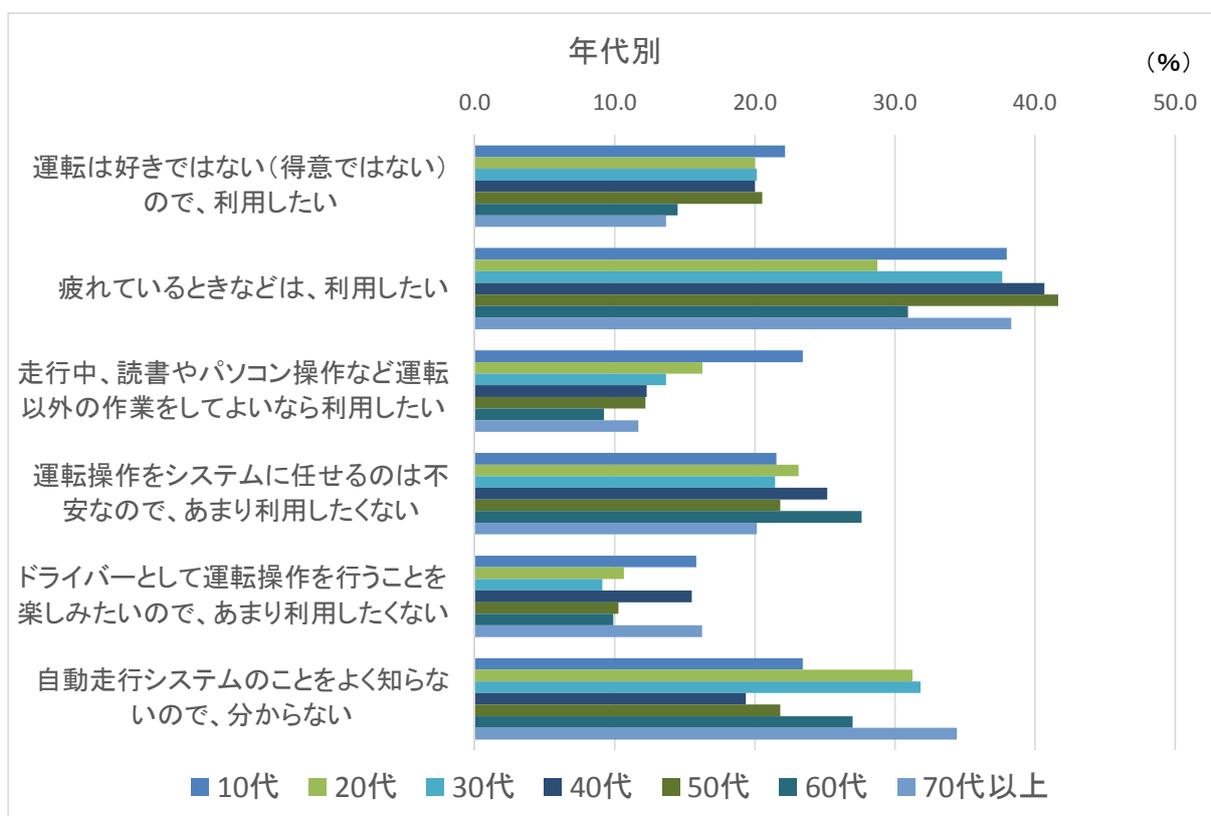
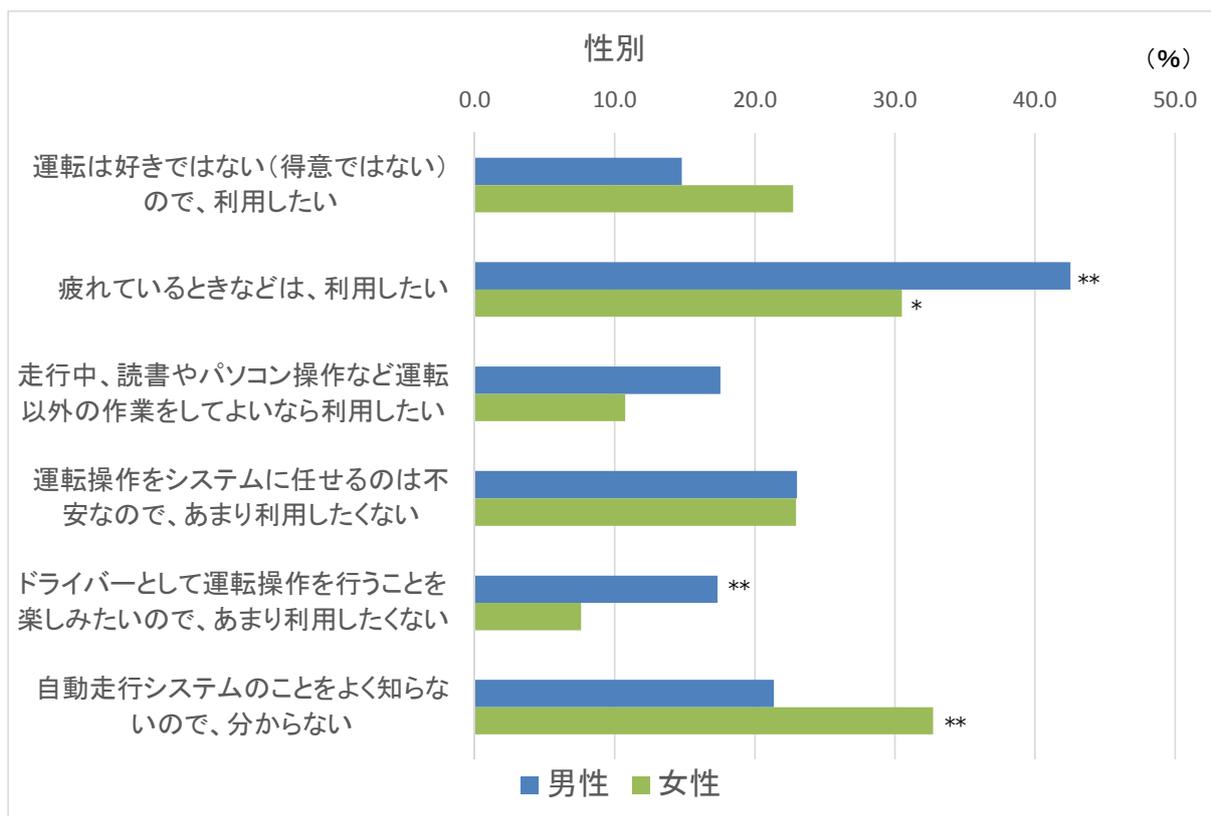


図 「問9自動走行システムの利用意向」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

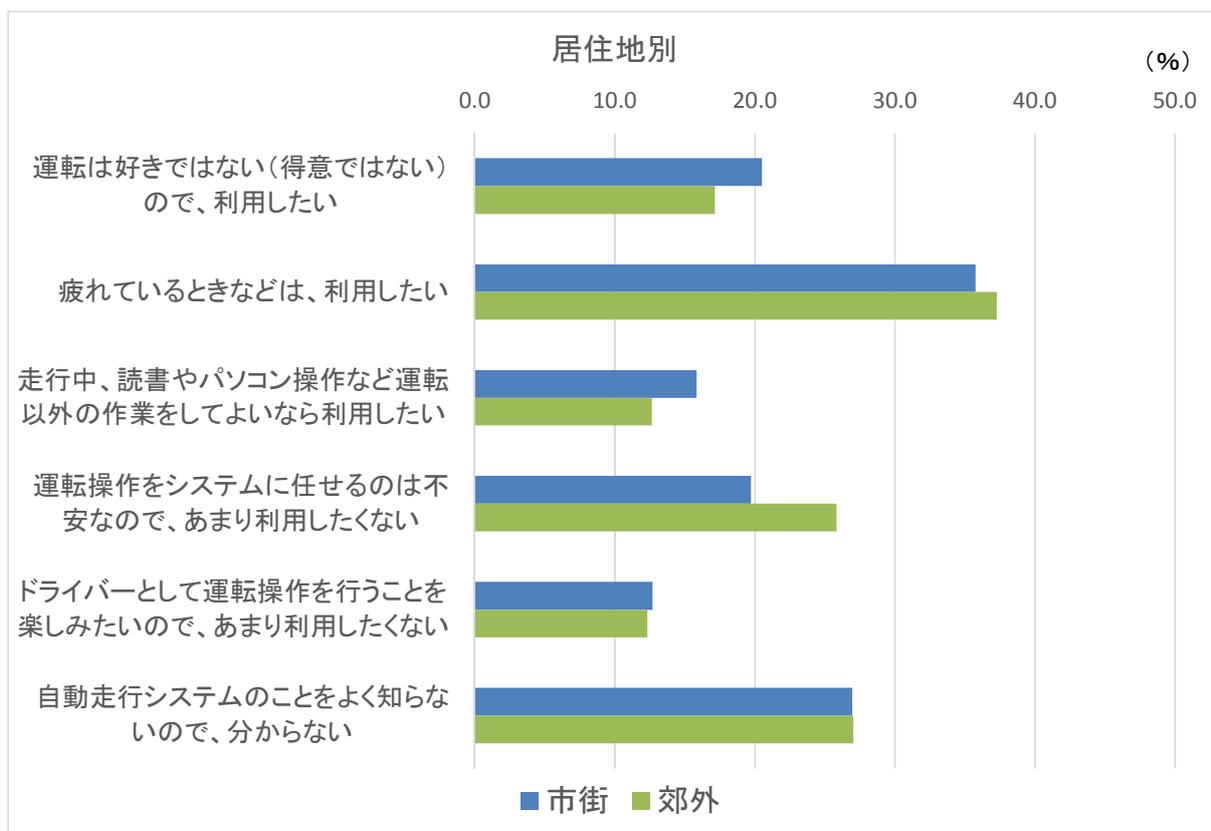
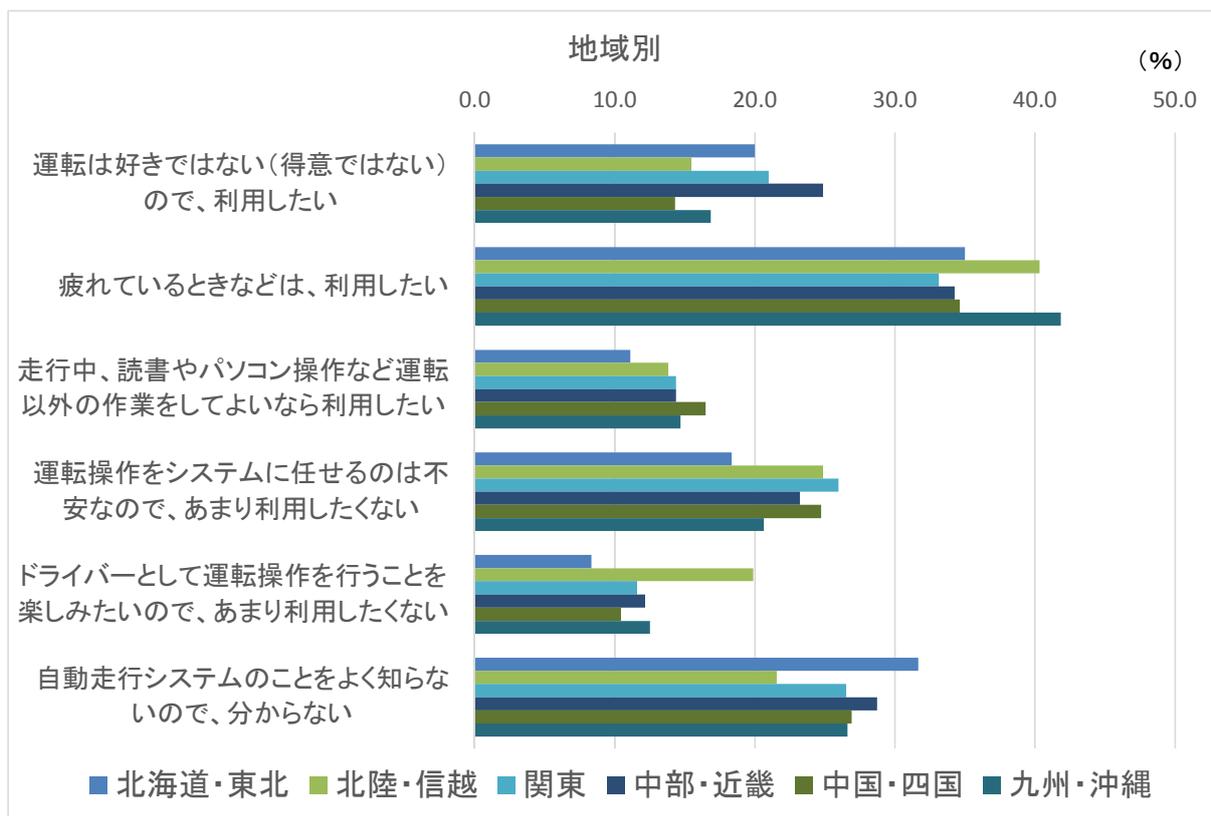


図 「問9自動走行システムの利用意向」のクロス集計結果

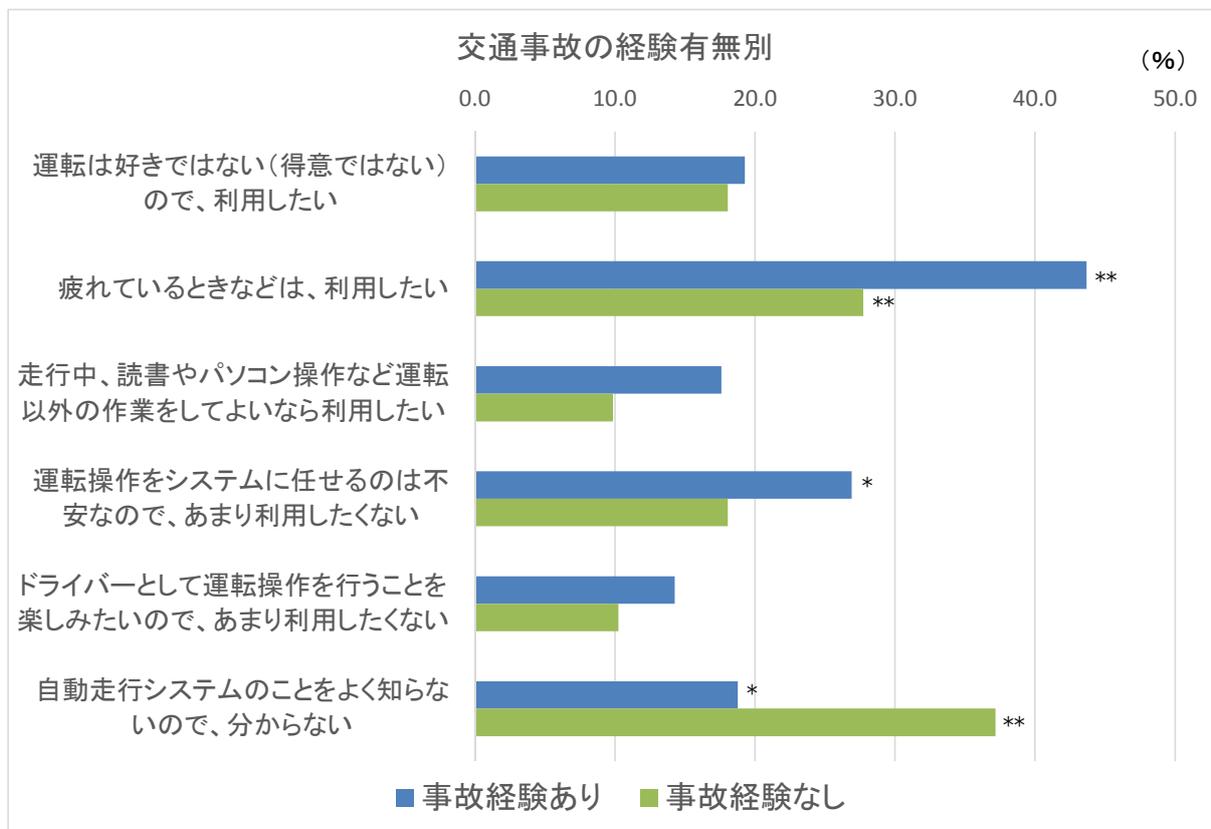
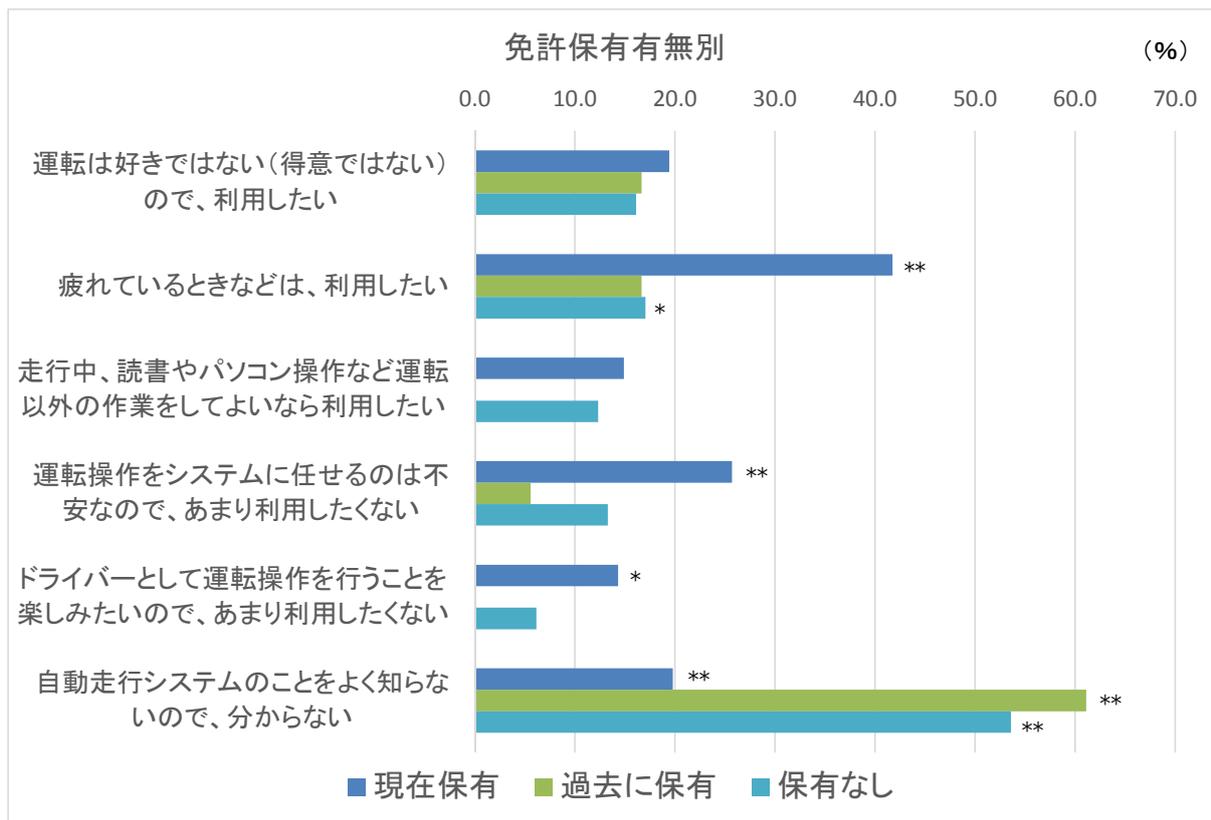
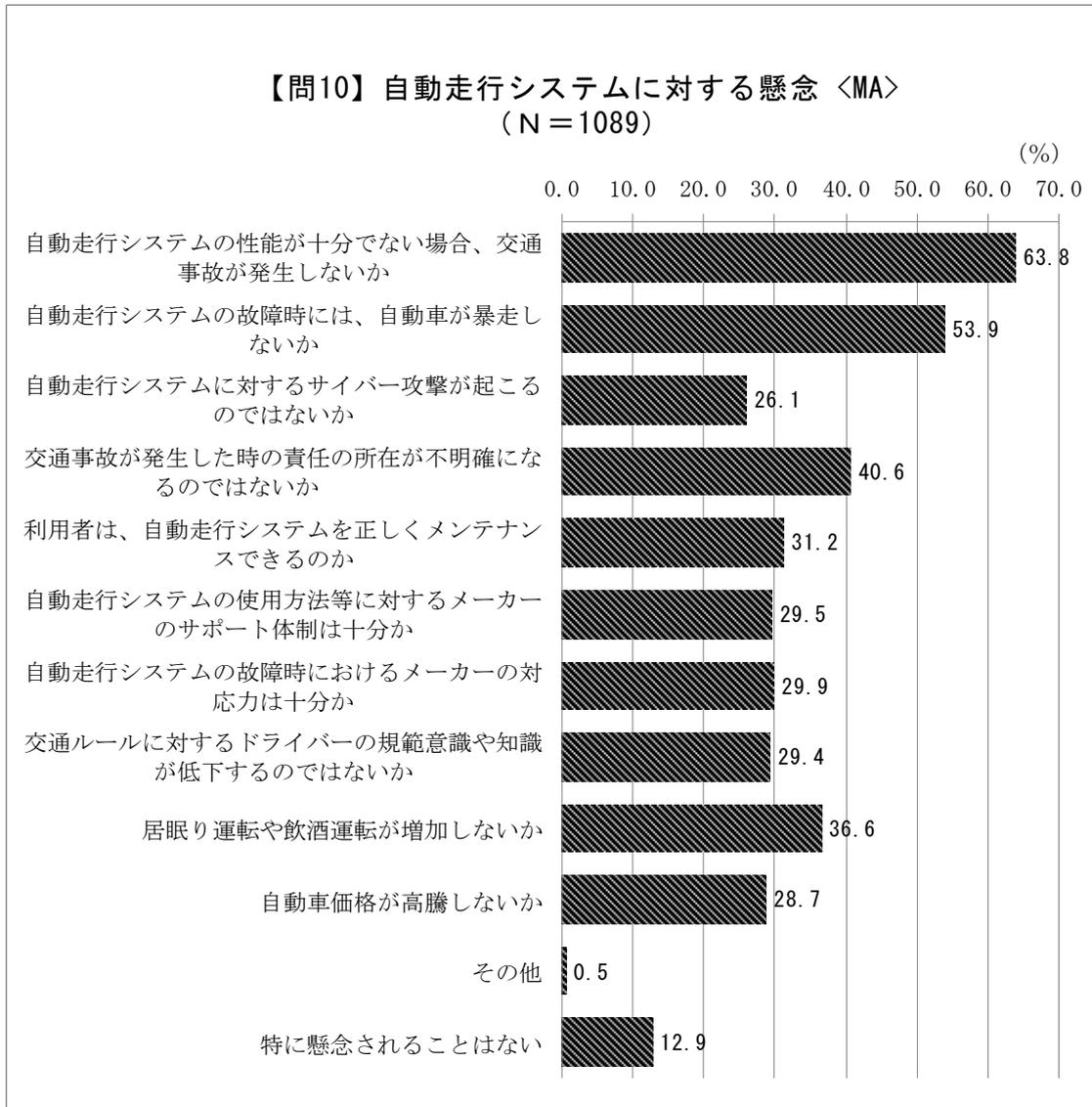


図 「問9自動走行システムの利用意向」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

③自動走行システムに対する懸念

「自動走行システムの性能が十分でない場合、交通事故が発生しないか」が約64%と最も多く、次いで、「自動走行システムの故障時に、自動車が暴走しないか」が約54%、「交通事故が発生した時の責任の所在が不明確になるのではないか」が約41と続く。



(属性別集計結果)

問10についての性別、年代、地域、居住地(市街・郊外)、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- 全ての属性で「自動走行システムの性能が十分でない場合、交通事故が発生しないか」が最も多く、代表的意見となっている。
- 男性は「自動走行システムに対するサイバー攻撃が起こるのではないか」の回答割合が全体に比べ高い。
- 70代以上は「自動走行システムの故障時におけるメーカーの対応力は十分か」の回答割合が全体に比べ高い。

- ・運転免許保有者は「自動走行システムの性能が十分でない場合、交通事故が発生しないか」の回答割合が全体に比べ高い。
- ・交通事故経験者は「自動走行システムの性能が十分でない場合、交通事故が発生しないか」「自動走行システムの故障時には、自動車が暴走しないか」「居眠り運転や飲酒運転が増加しないか」等の回答割合が全体に比べ高い。
- ・地域、居住地（市街・郊外）による回答の差はみられなかった。

表 「問10自動走行システムに対する懸念」のクロス集計結果

	合計	問10自動走行システムに対する懸念											特に懸念されることはない	不明	
		自動走行システムの性能が十分でない場合、交通事故が発生しないか	自動走行システムの故障時には、自動車が暴走しないか	自動走行システムに対するサイバー攻撃が起こるのではないか	交通事故が発生した時の責任の所在が不明確になるのではないか	利用者は、自動走行システムを正しくメンテナンスできるのか	自動走行システムの使用法等に對するメーカーのサポート体制は十分か	自動走行システムの故障時におけるメーカーの対応力は十分か	交通ルールに対するドライバーの規範意識や知識が低下するのではないか	居眠り運転や飲酒運転が増加しないか	自動車価格が高騰しないか	その他			
全体	1089 100.0	695 63.8	587 53.9	284 26.1	442 40.6	340 31.2	321 29.5	326 29.9	320 29.4	399 36.6	312 28.7	5 0.5	140 12.9	0 0.0	
性別	男性	548 100.0	339 61.9	303 55.3	169 30.8	229 41.8	174 31.8	156 28.5	162 29.6	147 26.8	188 34.3	163 29.7	3 0.5	70 12.8	0 0.0
	女性	541 100.0	356 65.8	284 52.5	115 21.3	213 39.4	166 30.7	165 30.5	164 30.3	173 32.0	211 39.0	149 27.5	2 0.4	70 12.9	0 0.0
年代	10代	158 100.0	97 61.4	88 55.7	54 34.2	63 39.9	51 32.3	44 27.8	38 24.1	48 30.4	64 40.5	41 25.9	0 0.0	22 13.9	0 0.0
	20代	160 100.0	95 59.4	84 52.5	42 26.3	54 33.8	37 23.1	37 23.1	36 22.5	43 26.9	47 29.4	39 24.4	1 0.6	27 16.9	0 0.0
	30代	154 100.0	94 61.0	66 42.9	33 21.4	47 30.5	37 24.0	28 18.2	29 18.8	38 24.7	47 30.5	37 24.0	0 0.0	29 18.8	0 0.0
	40代	155 100.0	101 65.2	80 51.6	43 27.7	61 39.4	47 30.3	50 32.3	49 31.6	40 25.8	51 32.9	46 29.7	1 0.6	16 10.3	0 0.0
	50代	156 100.0	109 69.9	87 55.8	32 20.5	70 44.9	45 28.8	48 30.8	48 30.8	45 28.8	59 37.8	41 26.3	1 0.6	15 9.6	0 0.0
	60代	152 100.0	95 62.5	95 62.5	45 29.6	73 48.0	63 41.4	55 36.2	60 39.5	50 32.9	63 41.4	51 33.6	1 0.7	14 9.2	0 0.0
	70代以上	154 100.0	104 67.5	87 56.5	35 22.7	74 48.1	60 39.0	59 38.3	66 42.9	56 36.4	68 44.2	57 37.0	1 0.6	17 11.0	0 0.0
地域	北海道・東北	180 100.0	121 67.2	99 55.0	41 22.8	74 41.1	54 30.0	47 26.1	46 25.6	55 30.6	71 39.4	45 25.0	0 0.0	25 13.9	0 0.0
	北陸・信越	181 100.0	104 57.5	94 51.9	45 24.9	78 43.1	59 32.6	58 32.0	58 32.0	55 30.4	67 37.0	58 32.0	3 1.7	23 12.7	0 0.0
	関東	181 100.0	121 66.9	103 56.9	54 29.8	77 42.5	54 29.8	56 30.9	63 34.8	45 24.9	60 33.1	45 24.9	0 0.0	17 9.4	0 0.0
	中部・近畿	181 100.0	119 65.7	104 57.5	51 28.2	66 36.5	54 29.8	50 27.6	51 28.2	52 28.7	59 32.6	52 28.7	1 0.6	26 14.4	0 0.0
	中国・四国	182 100.0	122 67.0	99 54.4	44 24.2	74 40.7	62 34.1	52 28.6	58 31.9	59 32.4	73 40.1	62 34.1	0 0.0	21 11.5	0 0.0
	九州・沖縄	184 100.0	108 58.7	88 47.8	49 26.6	73 39.7	57 31.0	58 31.5	50 27.2	54 29.3	69 37.5	50 27.2	1 0.5	28 15.2	0 0.0
問3居住地	市街	512 100.0	323 63.1	277 54.1	140 27.3	204 39.8	162 31.6	142 27.7	154 30.1	137 26.8	182 35.5	133 26.0	2 0.4	60 11.7	0 0.0
	郊外	577 100.0	372 64.5	310 53.7	144 25.0	238 41.2	178 30.8	179 31.0	172 29.8	183 31.7	217 37.6	179 31.0	3 0.5	80 13.9	0 0.0
問4保有している免許	現在保有	860 100.0	565 65.7	468 54.4	214 24.9	357 41.5	271 31.5	252 29.3	262 30.5	261 30.3	309 35.9	255 29.7	2 0.2	97 11.3	0 0.0
	過去に保有	18 100.0	7 38.9	5 27.8	4 22.2	5 27.8	3 16.7	5 27.8	5 27.8	3 16.7	5 27.8	2 11.1	0 0.0	6 33.3	0 0.0
	保有なし	211 100.0	123 58.3	114 54.0	66 31.3	80 37.9	66 31.3	64 30.3	59 28.0	56 26.5	85 40.3	55 26.1	3 1.4	37 17.5	0 0.0
問5交通事故の経験	事故経験あり	602 100.0	425 70.6	364 60.5	188 31.2	284 47.2	214 35.5	198 32.9	215 35.7	197 32.7	261 43.4	195 32.4	1 0.2	39 6.5	0 0.0
	事故経験なし	487 100.0	270 55.4	223 45.8	96 19.7	158 32.4	126 25.9	123 25.3	111 22.8	123 25.3	138 28.3	117 24.0	4 0.8	101 20.7	0 0.0

1%有意 下線は回答割合が第1位の項目
5%有意

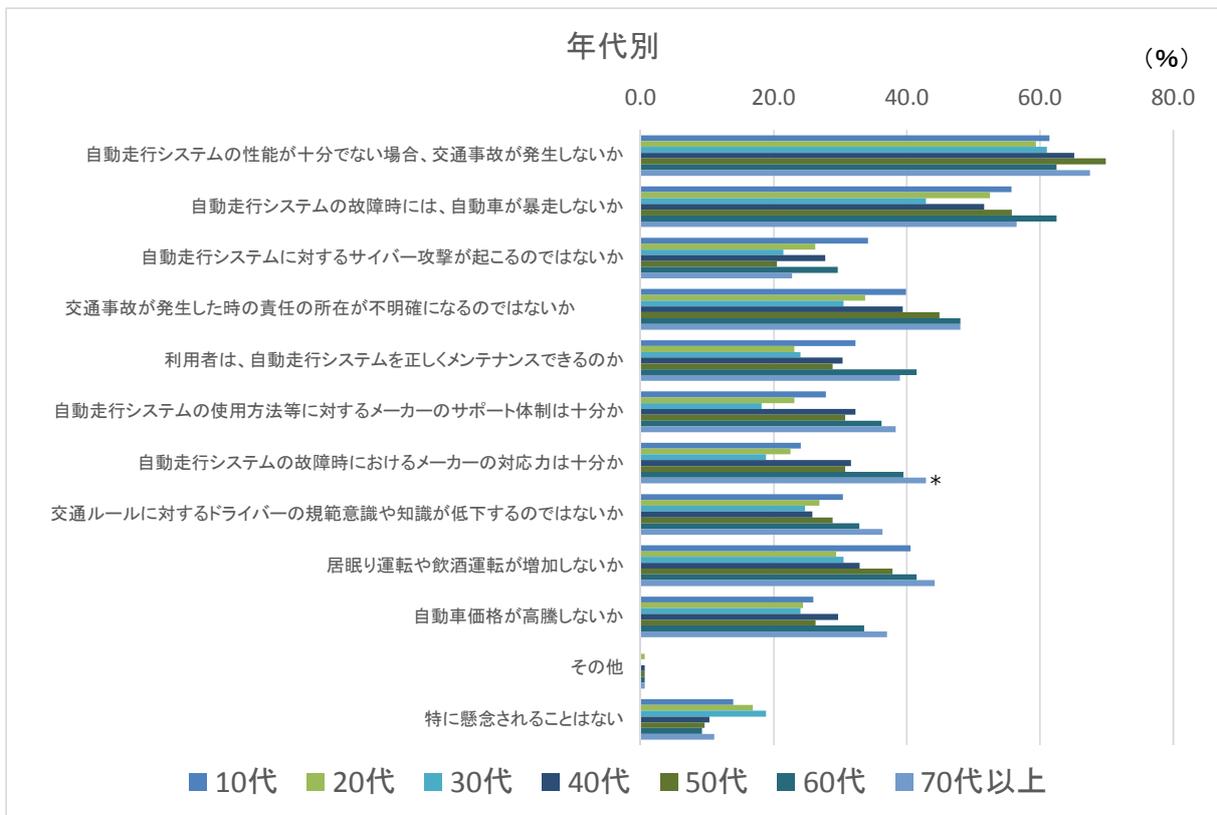
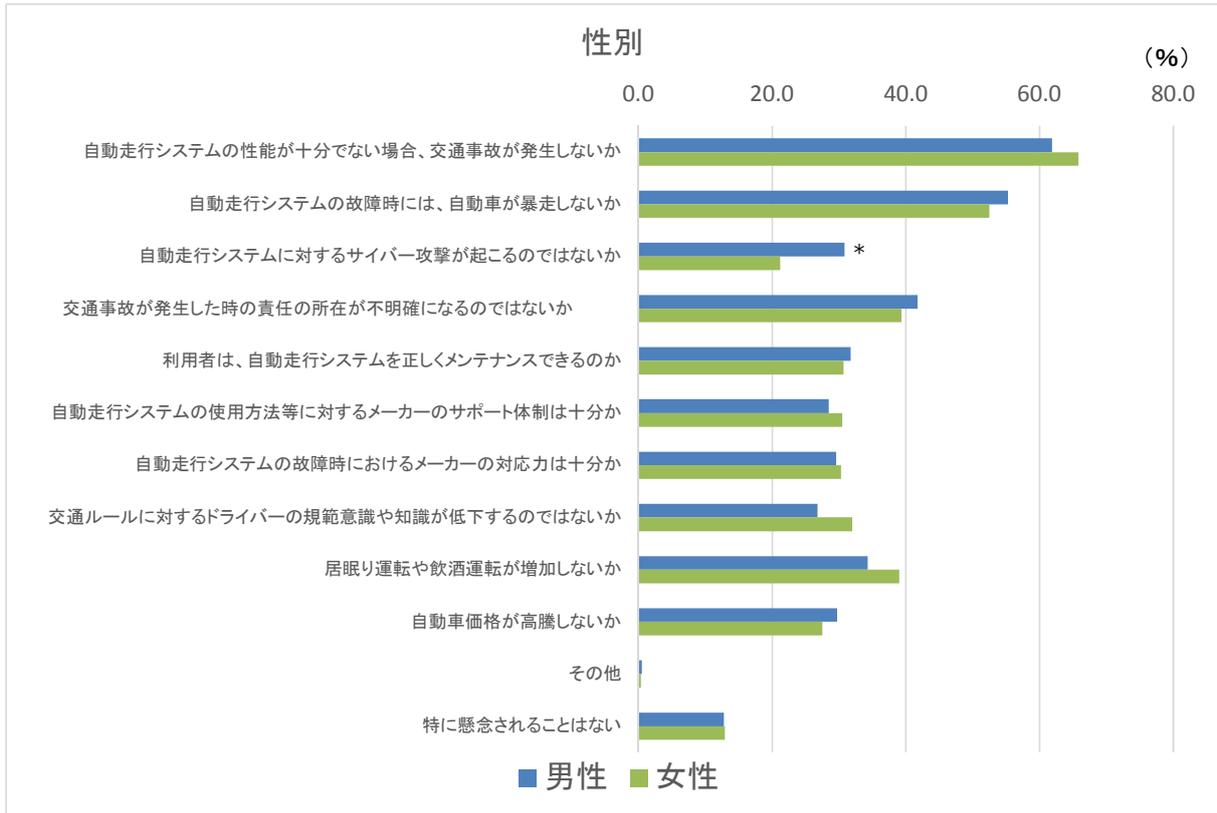


図 「問 10 自動走行システムに対する懸念」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

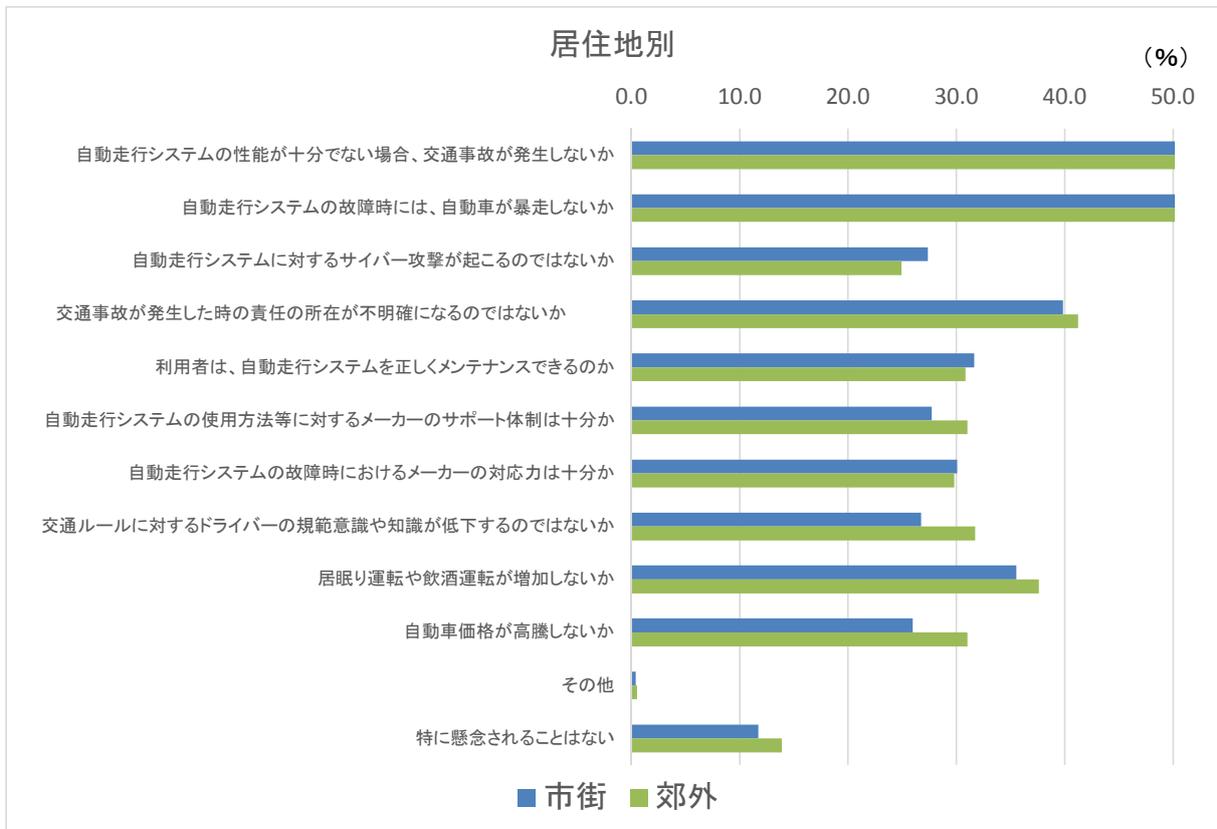
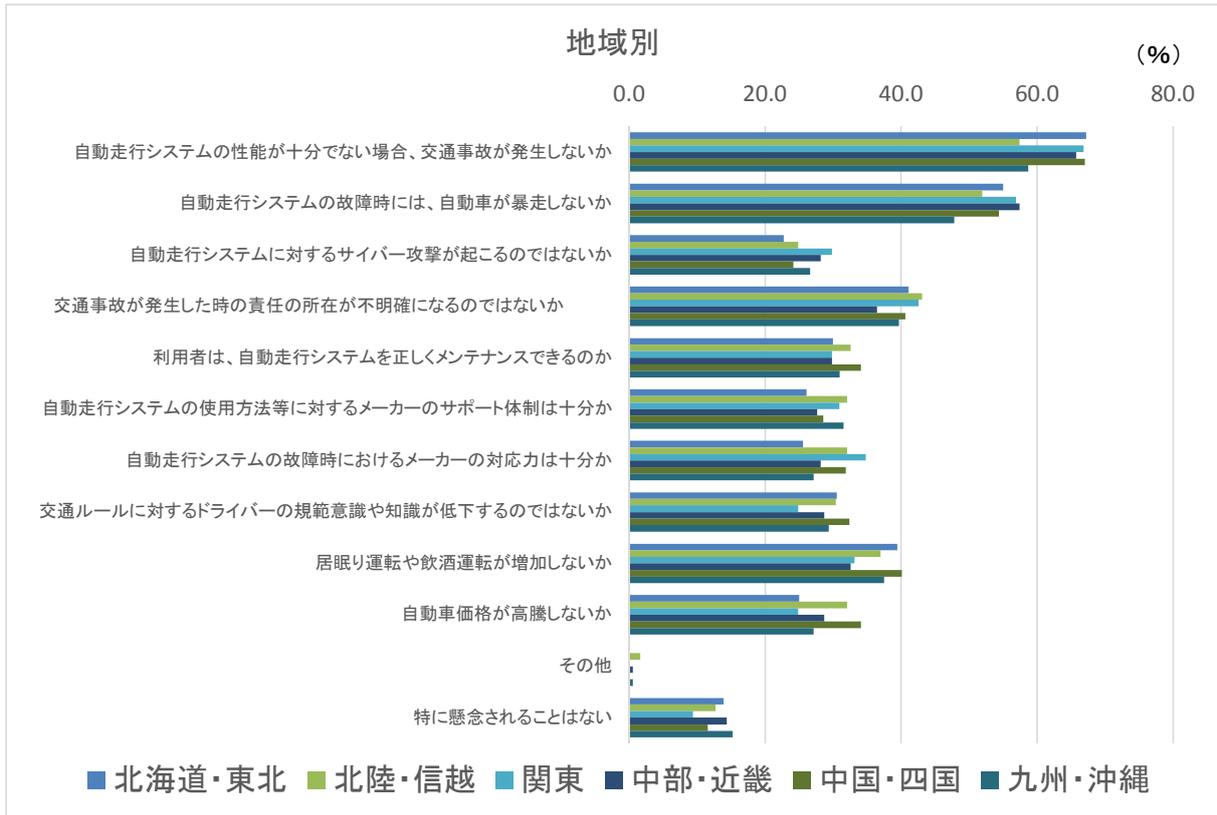


図 「問 10 自動走行システムに対する懸念」のクロス集計結果

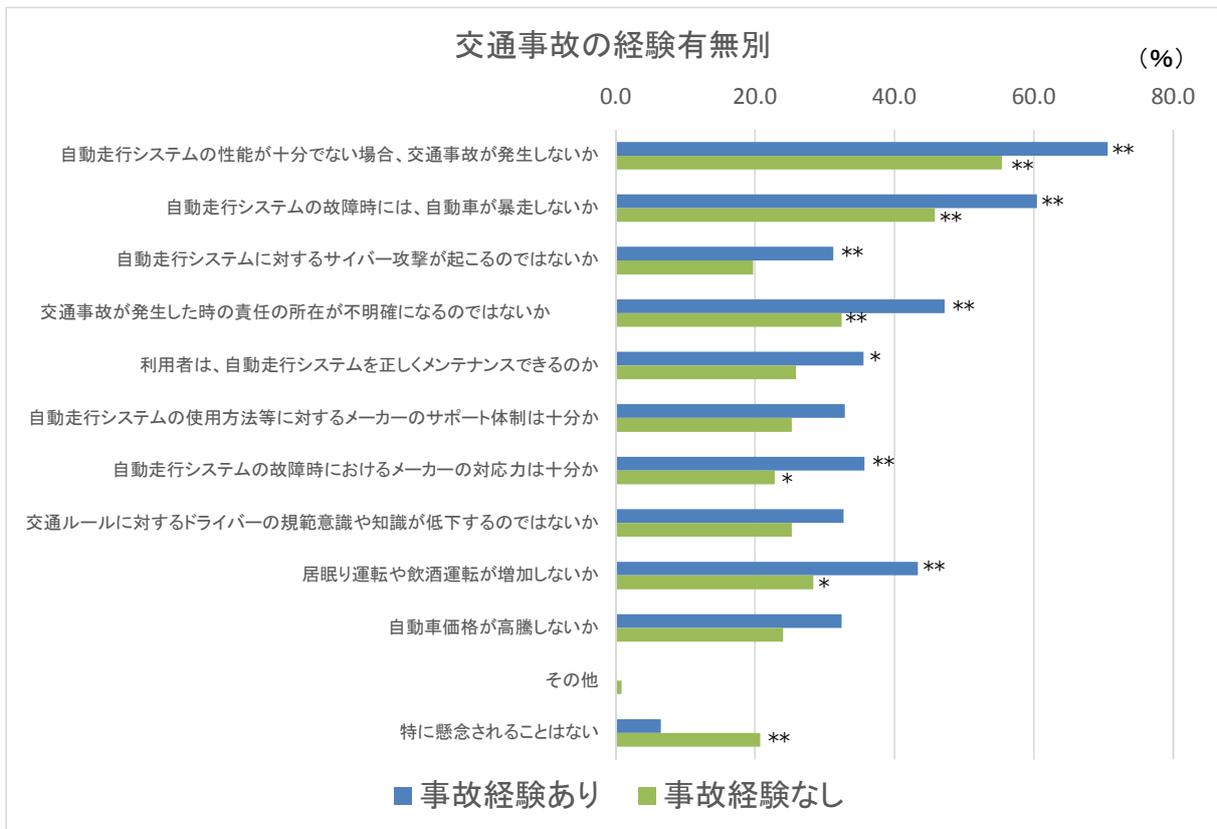
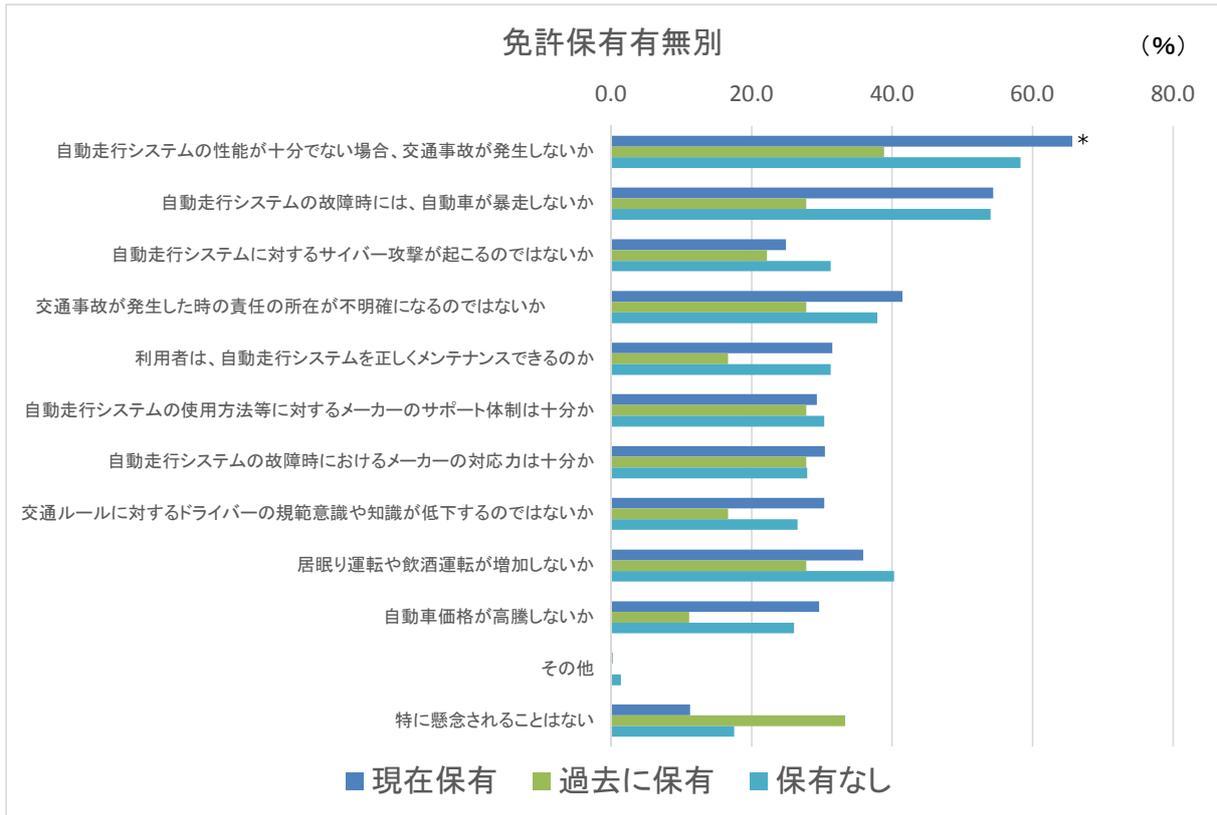


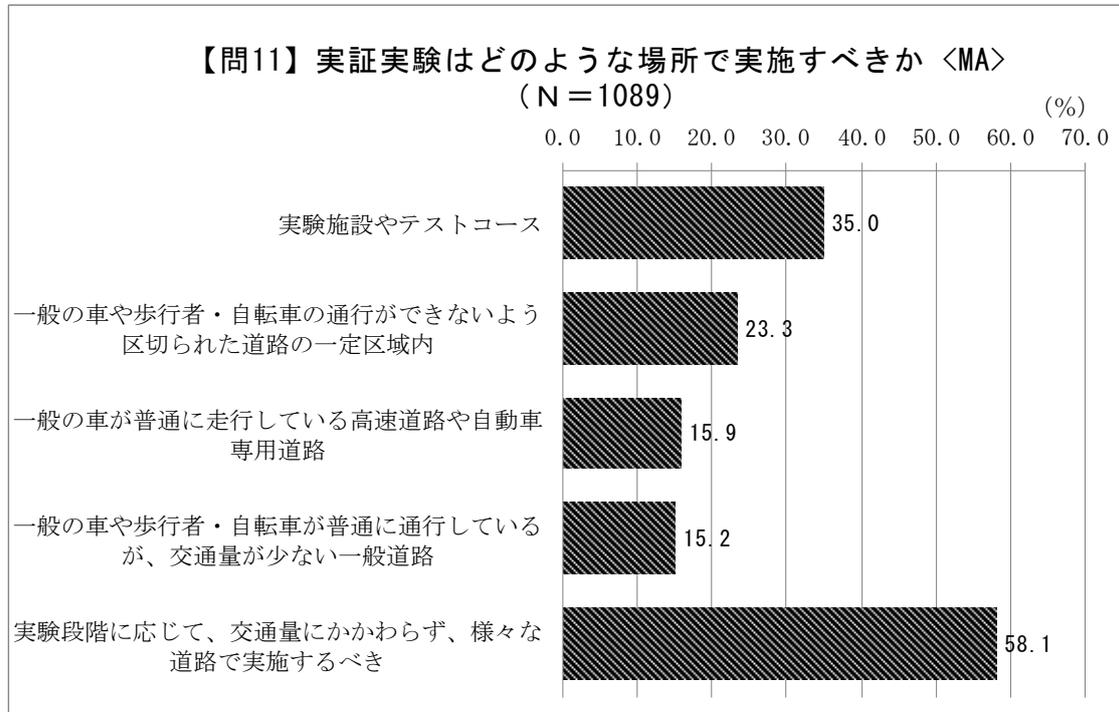
図 「問 10 自動走行システムに対する懸念」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

(3)自動走行システムに関する実証実験について

①実証実験を実施する場所

「実験段階に応じて、交通量にかかわらず、様々な道路で実施すべき」が約 58%と最も多く、次いで、「実験施設やテストコース」が約 35%、「一般の車や歩行者・自転車の通行ができないよう区切られた道路の一定区域内」が約 23%と続く。



(属性別集計結果)

問 11 についての性別、年代、地域、居住地（市街・郊外）、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- ・ほぼ全ての属性で「実験段階に応じて、交通量にかかわらず、様々な道路で実施すべき」が最も多く、代表的意見となっている。
- ・10代は「実験施設やテストコース」の回答割合が全体に比べ高い。
- ・60代は「実験段階に応じて、交通量にかかわらず、様々な道路で実施すべき」の回答割合が全体に比べ高い。
- ・交通事故経験者は「実験施設やテストコース」の回答割合が全体に比べ高い。
- ・性別、運転免許、地域、居住地（市街・郊外）による回答の差はみられなかった。

表 「問11 実証実験はどのような場所で行うべきか」のクロス集計結果

		合計	問11実証実験はどのような場所で行うべきか					不明
			実験施設 やテスト コース	一般の車 や歩行 者・自転 車の通行 ができない よう区 切られた 道路の一 定区域内	一般の車 が普通に 走行して いる高速 道路や自 動車専用 道路	一般の車 や歩行 者・自転 車が普通 に通行し ている が、交通 量が少な い一般道 路	実験段階 に応じ て、交通 量にかか わらず、 様々な道 路で実施 すべき	
全体		1089 100.0	381 35.0	254 23.3	173 15.9	165 15.2	633 58.1	0 0.0
性別	男性	548 100.0	202 36.9	140 25.5	101 18.4	90 16.4	320 58.4	0 0.0
	女性	541 100.0	179 33.1	114 21.1	72 13.3	75 13.9	313 57.9	0 0.0
年代	10代	158 100.0	73 46.2	39 24.7	26 16.5	21 13.3	71 44.9	0 0.0
	20代	160 100.0	53 33.1	35 21.9	25 15.6	25 15.6	98 61.3	0 0.0
	30代	154 100.0	53 34.4	31 20.1	24 15.6	30 19.5	93 60.4	0 0.0
	40代	155 100.0	54 34.8	39 25.2	19 12.3	22 14.2	96 61.9	0 0.0
	50代	156 100.0	67 42.9	45 28.8	24 15.4	22 14.1	78 50.0	0 0.0
	60代	152 100.0	33 21.7	28 18.4	26 17.1	19 12.5	105 69.1	0 0.0
	70代以上	154 100.0	48 31.2	37 24.0	29 18.8	26 16.9	92 59.7	0 0.0
	地域	北海道・東北	180 100.0	68 37.8	44 24.4	21 11.7	25 13.9	96 53.3
北陸・信越		181 100.0	66 36.5	50 27.6	36 19.9	34 18.8	109 60.2	0 0.0
関東		181 100.0	71 39.2	46 25.4	24 13.3	21 11.6	100 55.2	0 0.0
中部・近畿		181 100.0	64 35.4	42 23.2	33 18.2	32 17.7	107 59.1	0 0.0
中国・四国		182 100.0	58 31.9	34 18.7	36 19.8	24 13.2	108 59.3	0 0.0
九州・沖縄		184 100.0	54 29.3	38 20.7	23 12.5	29 15.8	113 61.4	0 0.0
問3居住地	市街	512 100.0	195 38.1	129 25.2	86 16.8	82 16.0	286 55.9	0 0.0
	郊外	577 100.0	186 32.2	125 21.7	87 15.1	83 14.4	347 60.1	0 0.0
問4保有して いる免許	現在保有	860 100.0	309 35.9	203 23.6	142 16.5	141 16.4	499 58.0	0 0.0
	過去に保有	18 100.0	5 27.8	1 5.6	1 5.6	1 5.6	12 66.7	0 0.0
	保有なし	211 100.0	67 31.8	50 23.7	30 14.2	23 10.9	122 57.8	0 0.0
問5交通事故 の経験	事故経験あり	602 100.0	245 40.7	157 26.1	111 18.4	108 17.9	336 55.8	0 0.0
	事故経験なし	487 100.0	136 27.9	97 19.9	62 12.7	57 11.7	297 61.0	0 0.0

1%有意 下線は回答割合が第1位の項目

5%有意

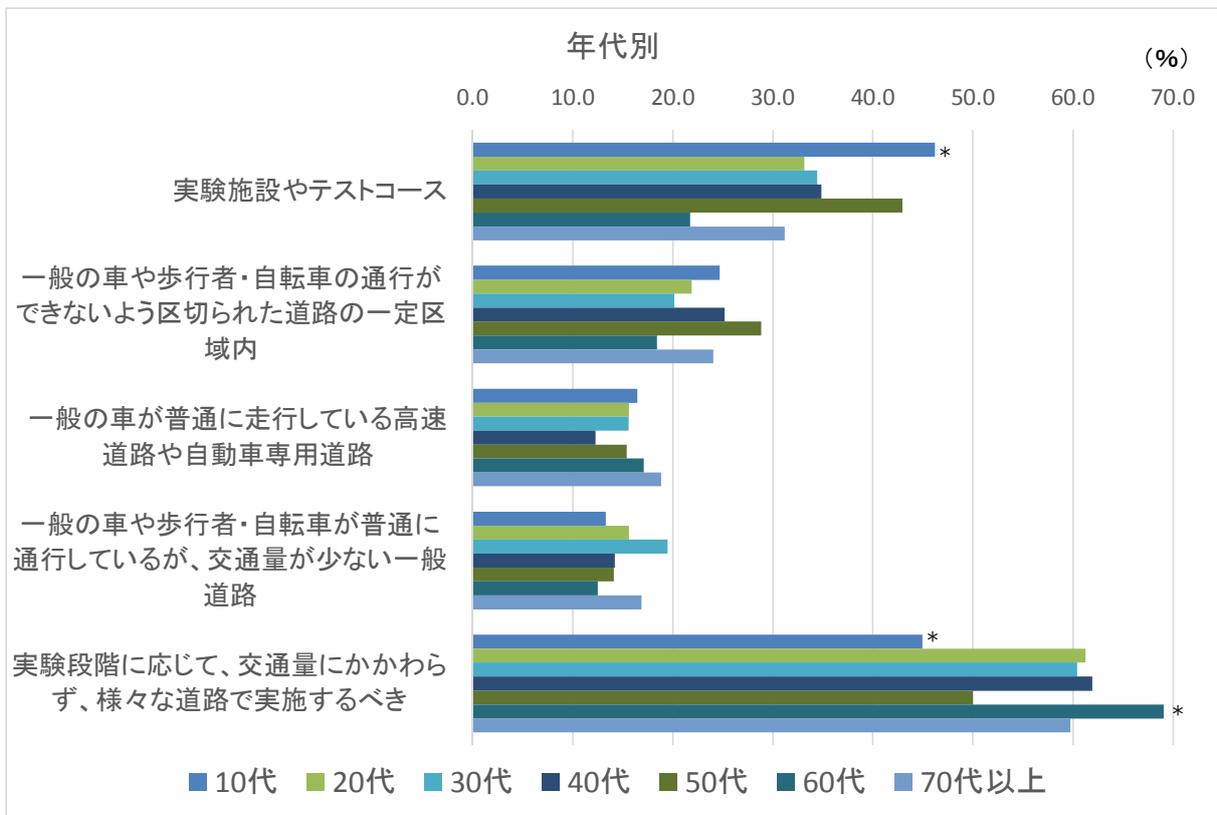
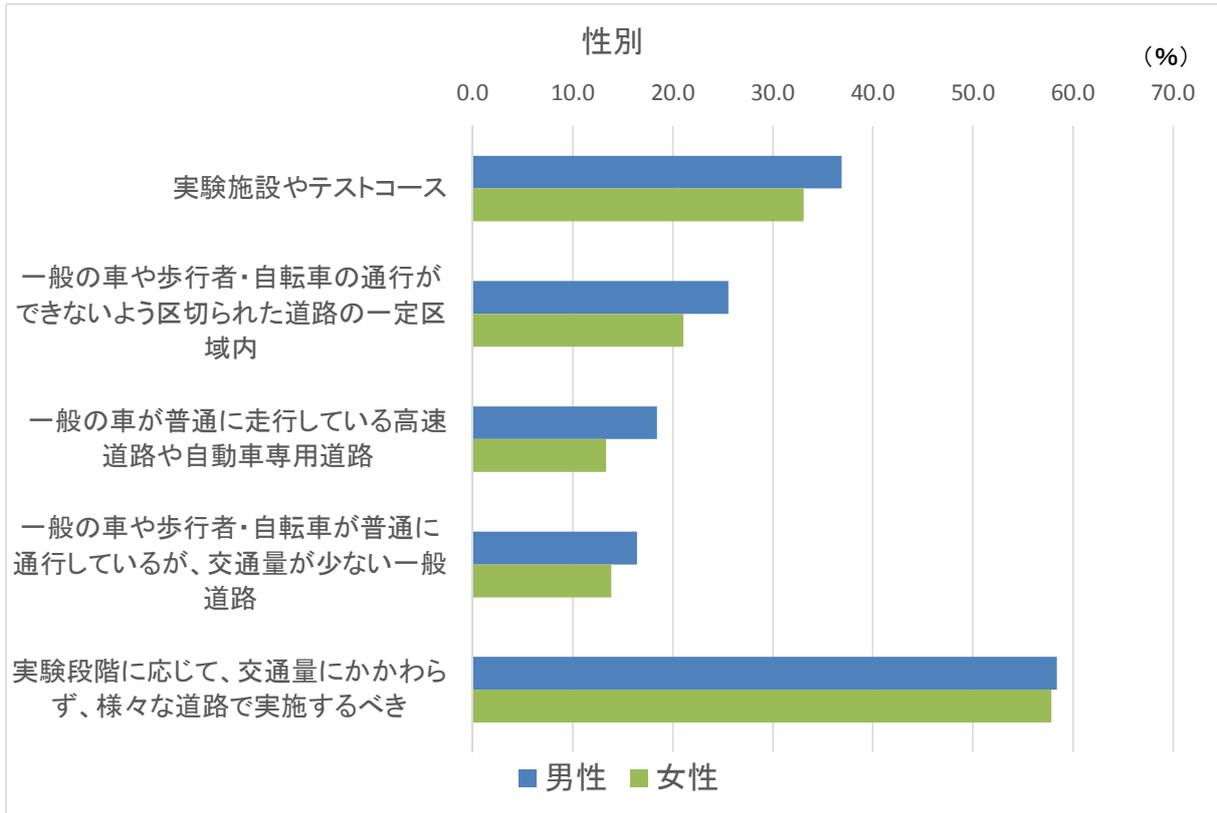


図 「問 11 実証実験はどのような場所で実施すべきか」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

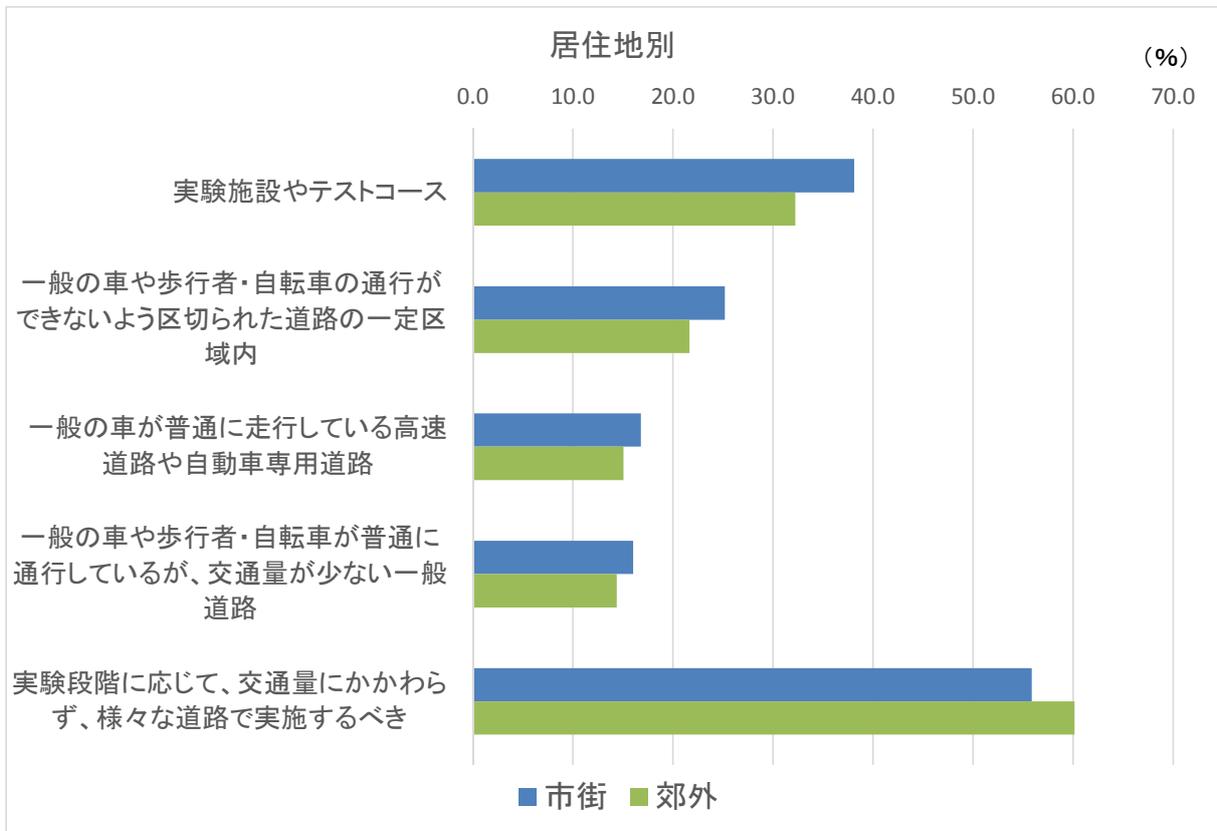
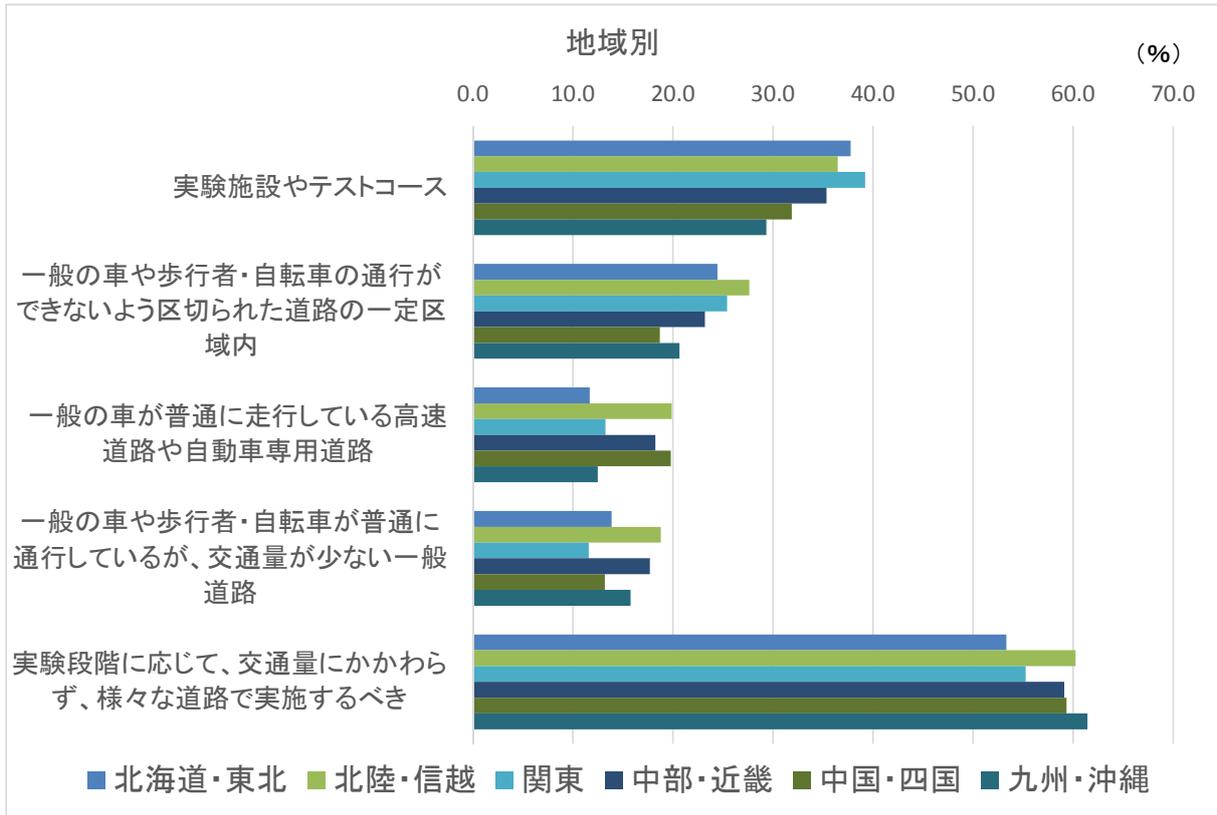


図 「問 11 実証実験はどのような場所で実施すべきか」のクロス集計結果

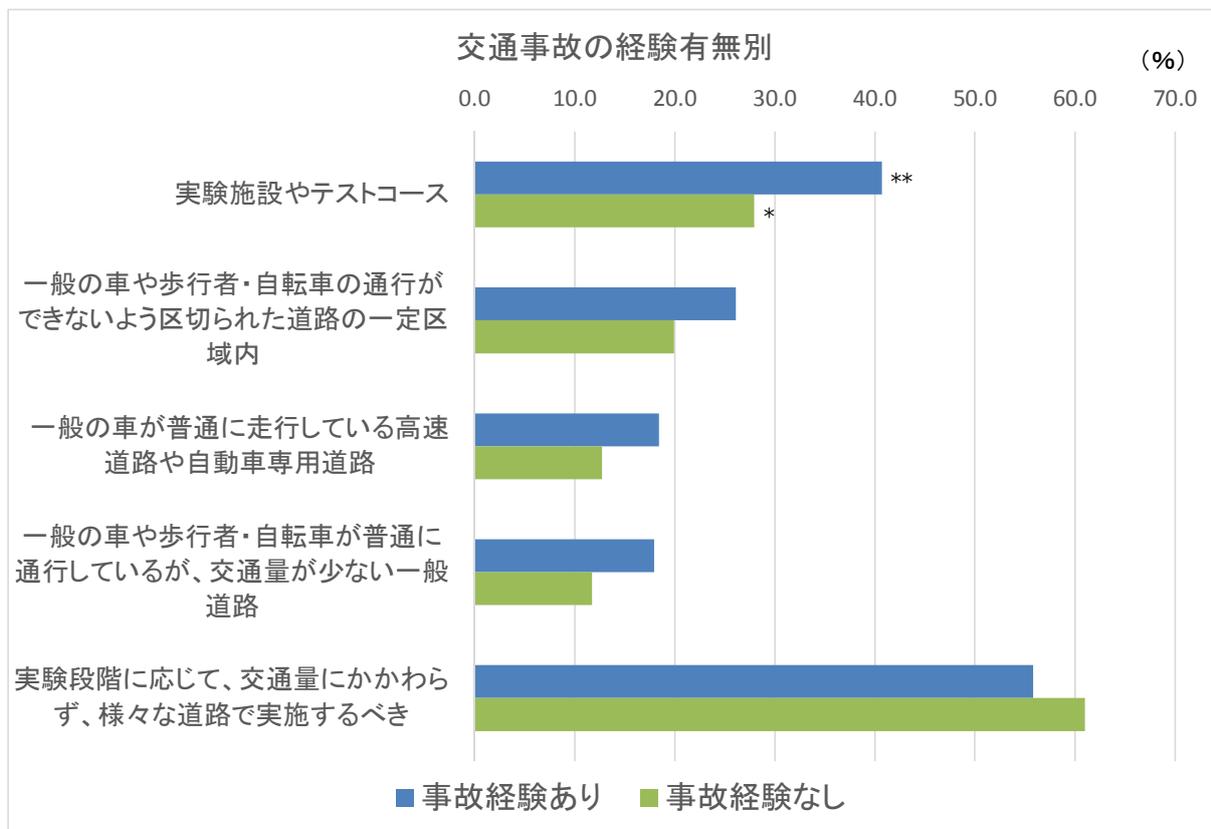
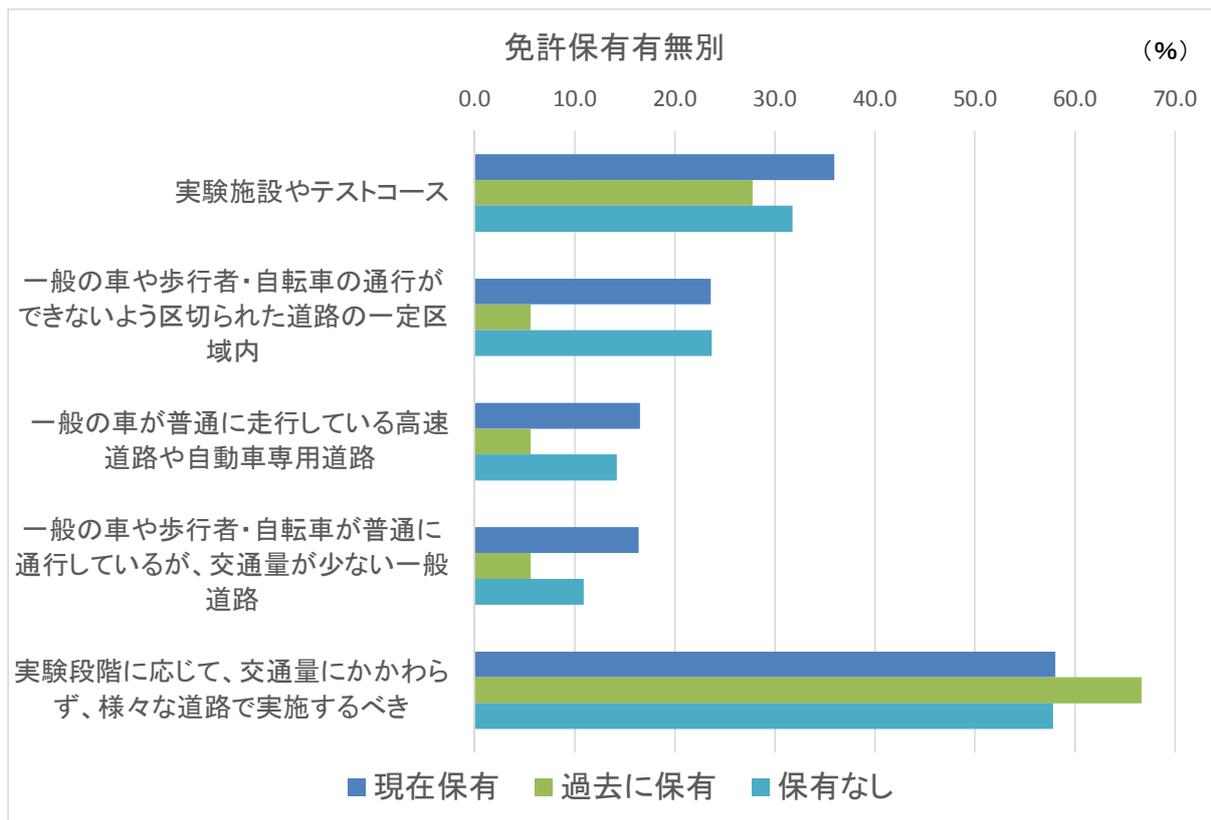
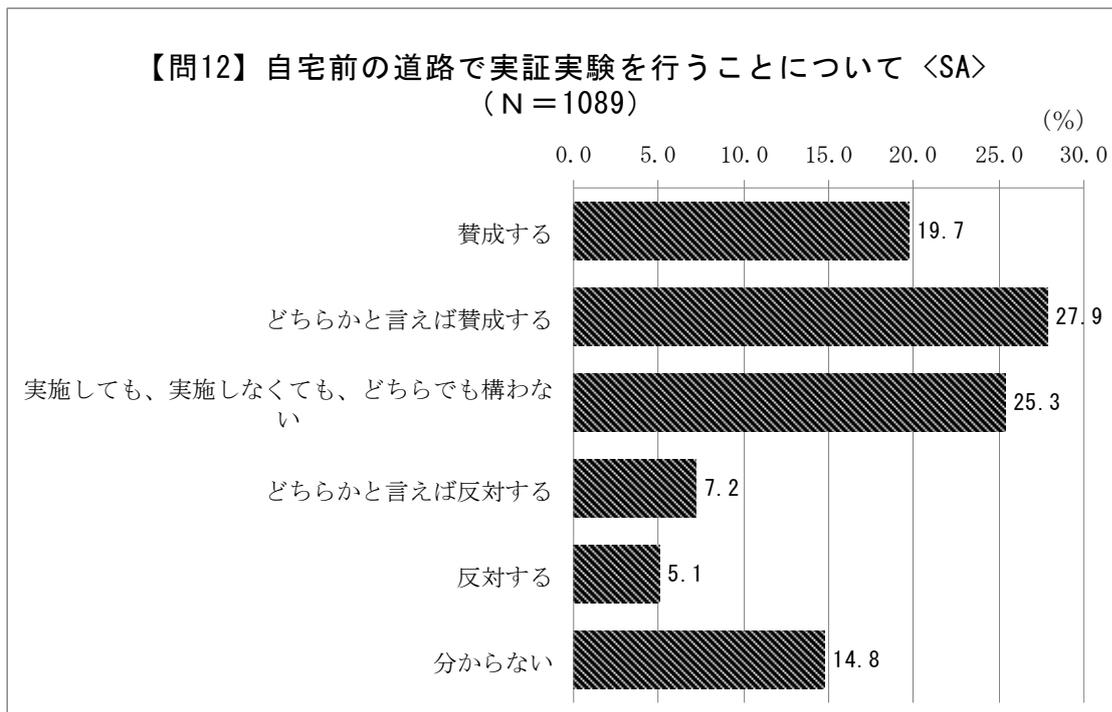


図 「問 11 実証実験はどのような場所で実施すべきか」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

②自宅前の道路で実証実験を行うことについて

「どちらかと言えば賛成する」が約 28%と最も多く、次いで、「実施しても、実施しなくても、どちらでも構わない」が約 25%、「賛成する」が約 20%と続く。



(属性別集計結果)

問 12 についての性別、年代、地域、居住地（市街・郊外）、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- ・「どちらかと言えば賛成する」が第 1 位である属性が多いが、「実施しても、実施しなくても、どちらでも構わない」が第 1 位の属性もみられ、意見が分かれている。
- ・男性は「賛成する」の回答割合が全体に比べ高い。
- ・交通事故経験者は「賛成する」の回答割合が全体に比べ高い。
- ・交通事故の未経験者は「分からない」の回答割合が全体に比べ高い。
- ・年代、運転免許、地域、居住地（市街・郊外）による回答の差はみられなかった。

表 「問 12 自宅前の道路で実証実験を行うことについて」のクロス集計結果

		合計	問12自宅前の道路で実証実験を行うことについて						
			賛成する	どちらか と言え ば賛成 する	実施して も、実施 しなくて も、どち	どちらか と言え ば反対 する	反対する	分からな い	不明
全体		1089 100.0	215 19.7	304 27.9	276 25.3	78 7.2	55 5.1	161 14.8	0 0.0
性別	男性	548 100.0	137 25.0	147 26.8	140 25.5	24 4.4	33 6.0	67 12.2	0 0.0
	女性	541 100.0	78 14.4	157 29.0	136 25.1	54 10.0	22 4.1	94 17.4	0 0.0
年代	10代	158 100.0	28 17.7	48 30.4	37 23.4	14 8.9	10 6.3	21 13.3	0 0.0
	20代	160 100.0	31 19.4	42 26.3	40 25.0	8 5.0	8 5.0	31 19.4	0 0.0
	30代	154 100.0	23 14.9	36 23.4	43 27.9	11 7.1	6 3.9	35 22.7	0 0.0
	40代	155 100.0	23 14.8	48 31.0	45 29.0	11 7.1	4 2.6	24 15.5	0 0.0
	50代	156 100.0	41 26.3	36 23.1	41 26.3	12 7.7	7 4.5	19 12.2	0 0.0
	60代	152 100.0	31 20.4	46 30.3	42 27.6	9 5.9	9 5.9	15 9.9	0 0.0
	70代以上	154 100.0	38 24.7	48 31.2	28 18.2	13 8.4	11 7.1	16 10.4	0 0.0
	地域	北海道・東北	180 100.0	33 18.3	49 27.2	45 25.0	17 9.4	3 1.7	33 18.3
北陸・信越		181 100.0	41 22.7	54 29.8	46 25.4	7 3.9	7 3.9	26 14.4	0 0.0
関東		181 100.0	36 19.9	51 28.2	39 21.5	21 11.6	13 7.2	21 11.6	0 0.0
中部・近畿		181 100.0	35 19.3	56 30.9	39 21.5	9 5.0	10 5.5	32 17.7	0 0.0
中国・四国		182 100.0	32 17.6	38 20.9	60 33.0	14 7.7	11 6.0	27 14.8	0 0.0
九州・沖縄		184 100.0	38 20.7	56 30.4	47 25.5	10 5.4	11 6.0	22 12.0	0 0.0
問3居住地	市街	512 100.0	100 19.5	155 30.3	124 24.2	34 6.6	29 5.7	70 13.7	0 0.0
	郊外	577 100.0	115 19.9	149 25.8	152 26.3	44 7.6	26 4.5	91 15.8	0 0.0
問4保有して いる免許	現在保有	860 100.0	182 21.2	256 29.8	216 25.1	54 6.3	44 5.1	108 12.6	0 0.0
	過去に保有	18 100.0	3 16.7	2 11.1	7 38.9	0 0.0	0 0.0	6 33.3	0 0.0
	保有なし	211 100.0	30 14.2	46 21.8	53 25.1	24 11.4	11 5.2	47 22.3	0 0.0
問5交通事故 の経験	事故経験あり	602 100.0	147 24.4	180 29.9	145 24.1	36 6.0	33 5.5	61 10.1	0 0.0
	事故経験なし	487 100.0	68 14.0	124 25.5	131 26.9	42 8.6	22 4.5	100 20.5	0 0.0

1%有意
5%有意

下線は回答割合が第1位の項目

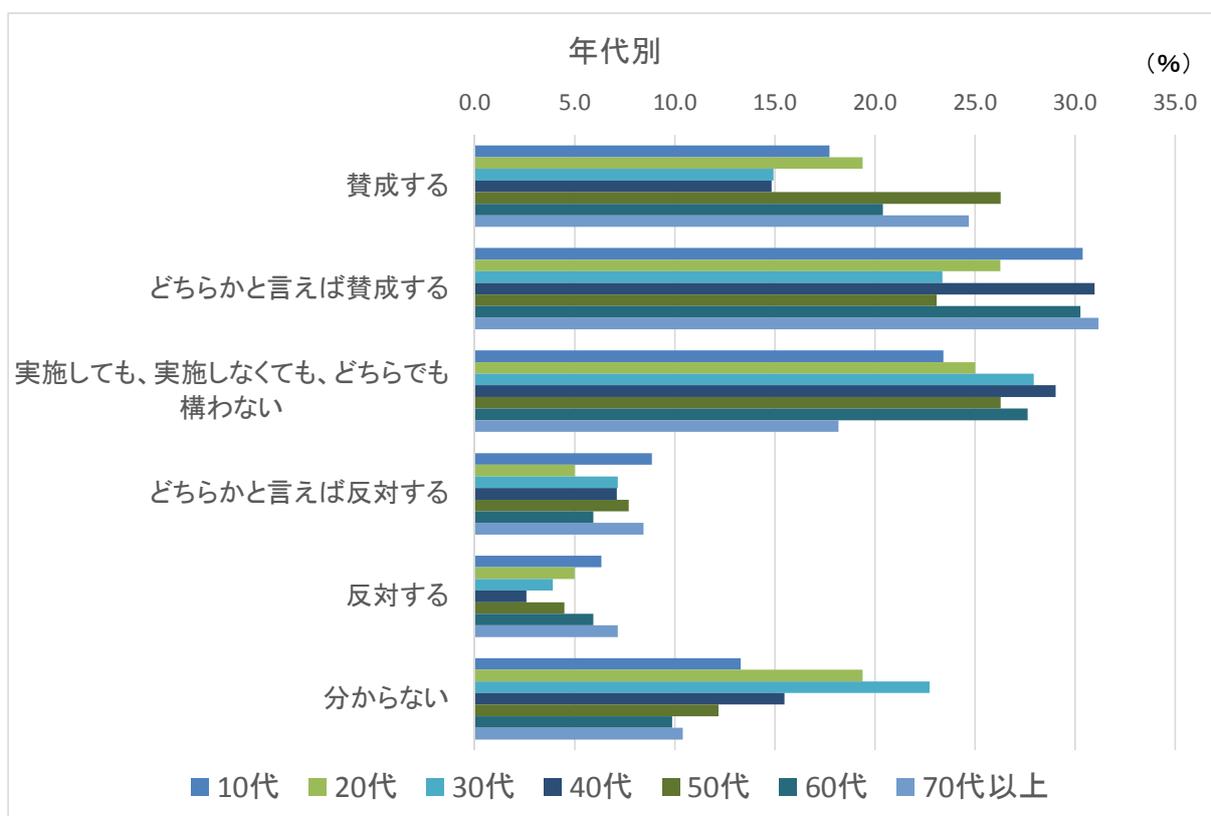
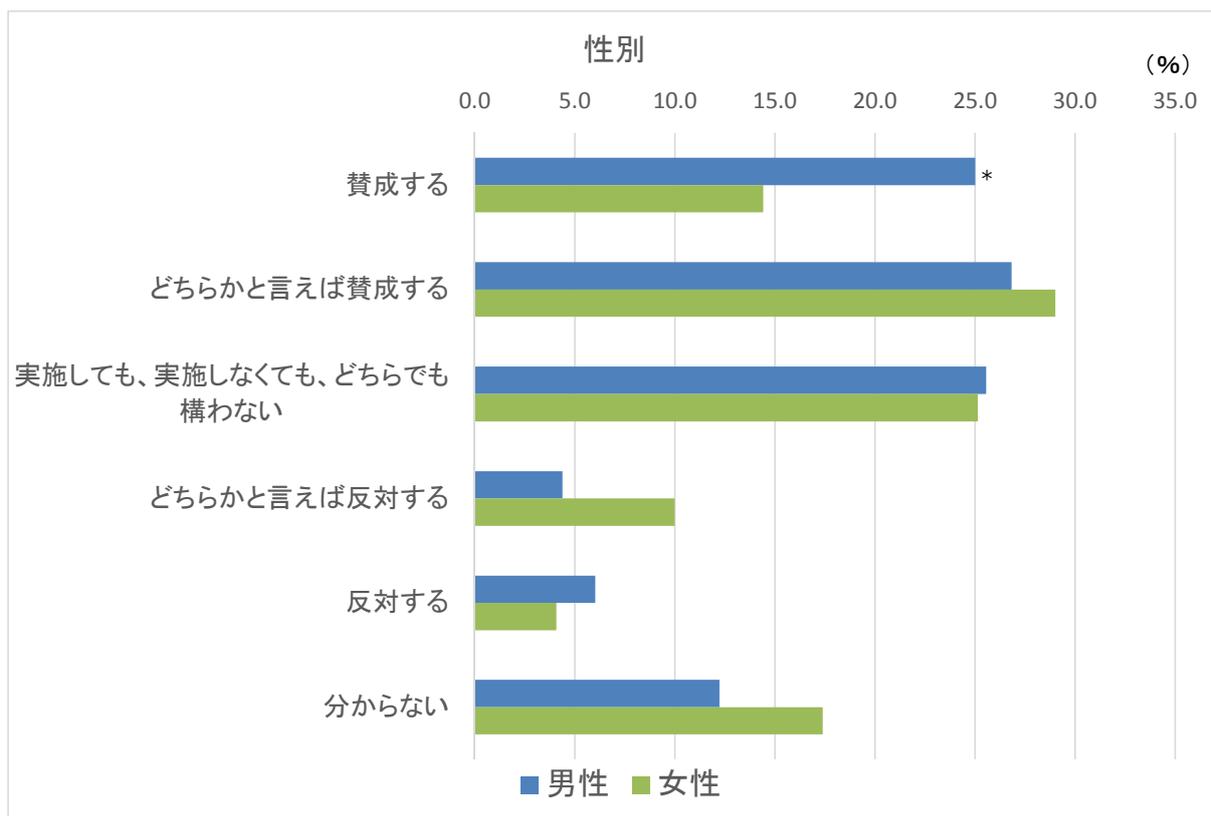


図 「問 12 自宅前の道路で実証実験を行うことについて」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

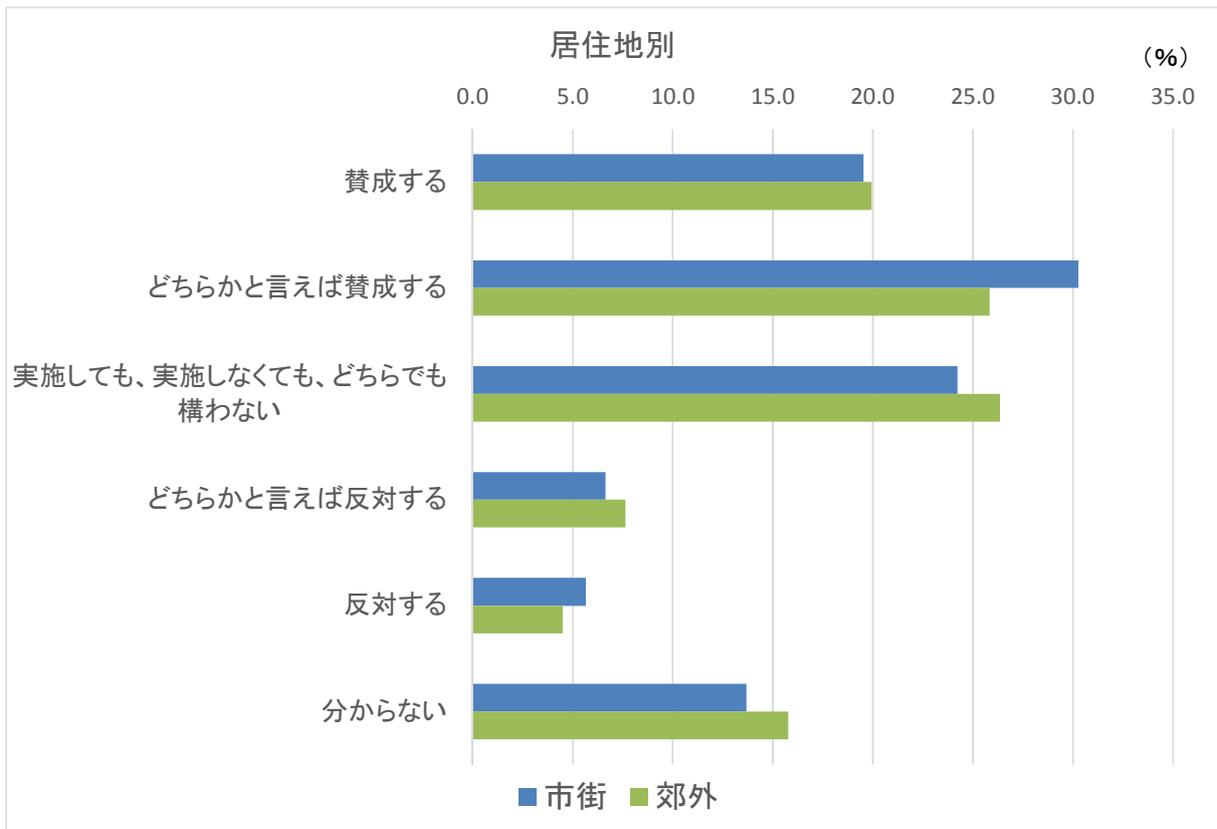
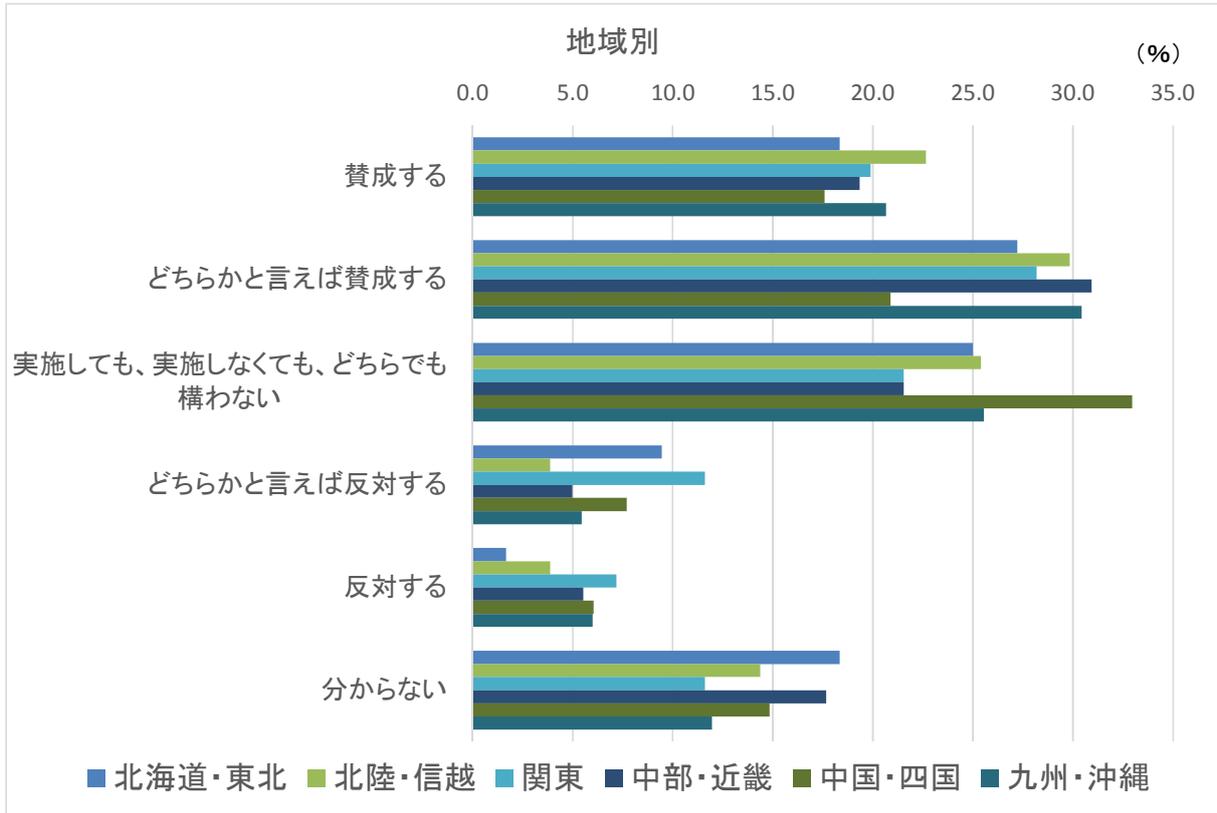


図 「問 12 自宅前の道路で実証実験を行うことについて」のクロス集計結果

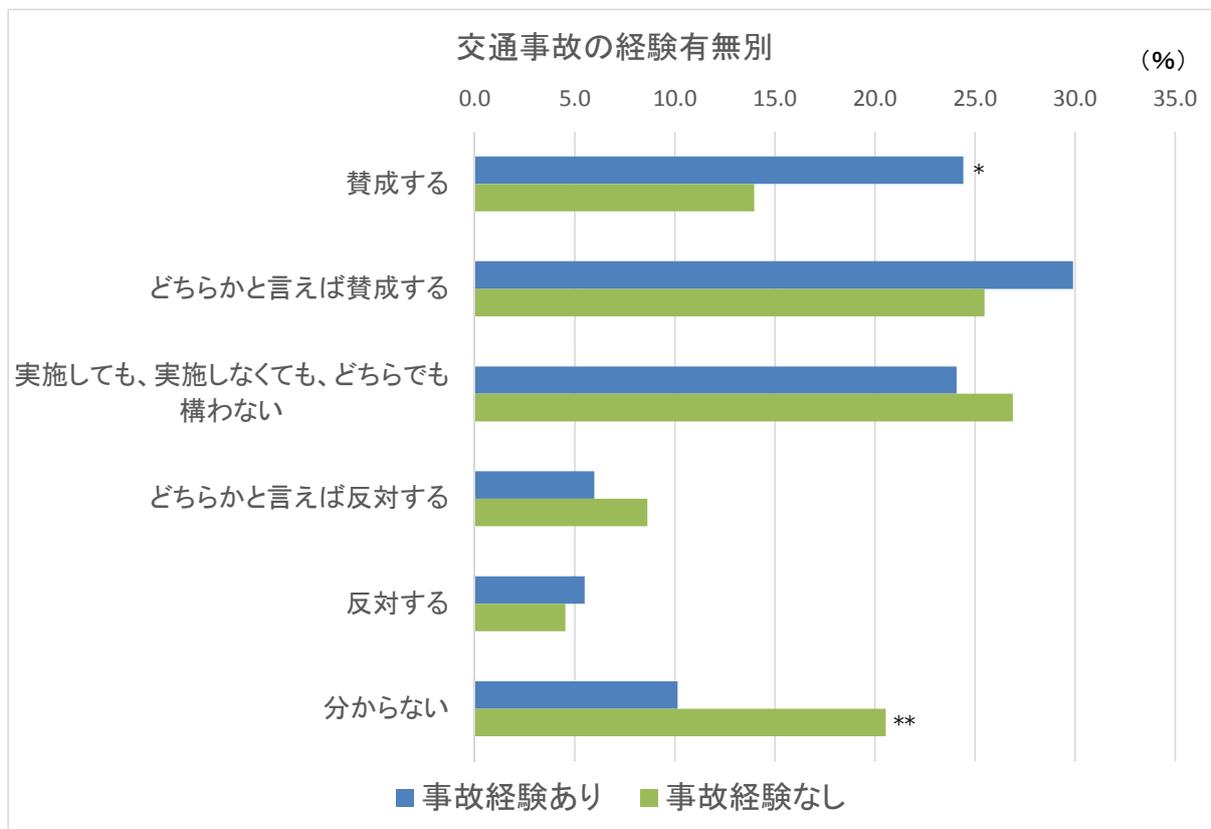
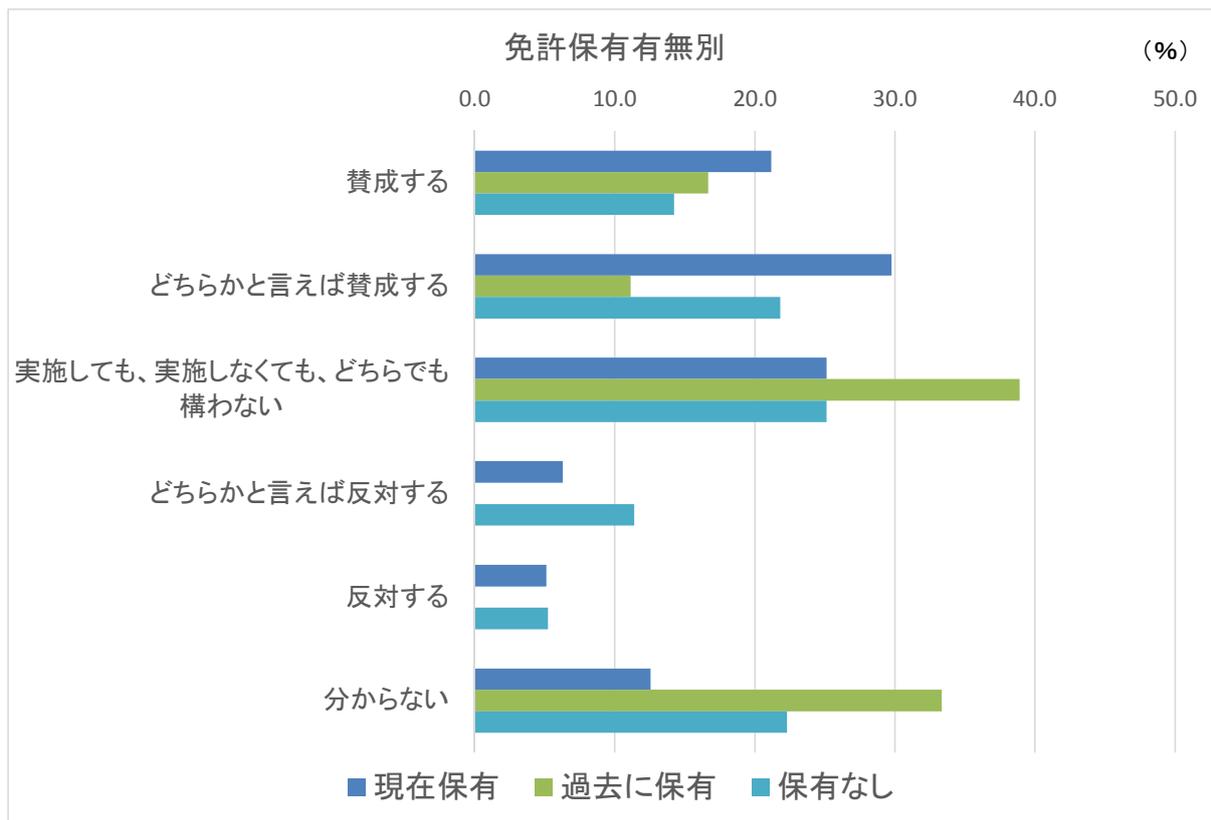
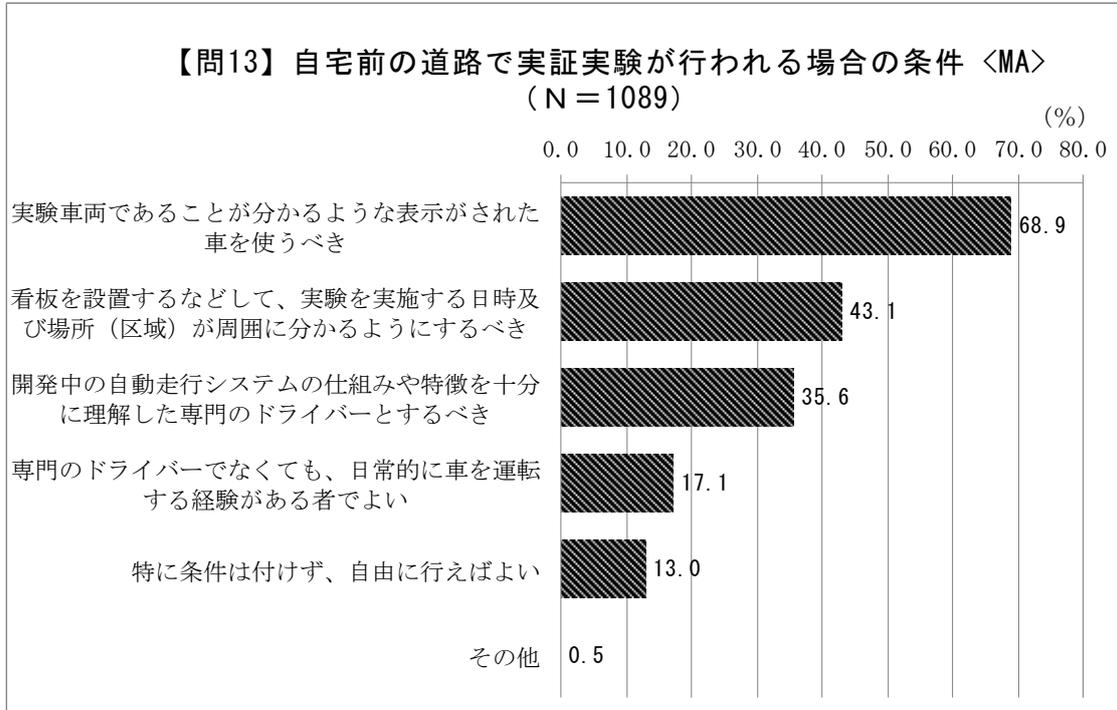


図 「問 12 自宅前の道路で実証実験を行うことについて」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

③自宅前の道路で実証実験が行われる場合の条件

「実験車両であることが分かるような表示がされた車を使うべき」が約 69%と最も多く、次いで、「看板を設置するなどして、実験を実施する日時及び場所（区域）が周囲に分かるようにするべき」が約 43%、「開発中の自動走行システムの仕組みや特徴を十分に理解した専門のドライバーとするべき」が約 36%と続く。



(属性別集計結果)

問 13 についての性別、年代、地域、居住地（市街・郊外）、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- 全ての属性で「実験車両であることが分かるような表示がされた車を使うべき」が最も多く、代表的意見となっている。
- 交通事故経験者は「実験車両であることが分かるような表示がされた車を使うべき」の回答割合が全体に比べ高い。
- 性別、年代、運転免許、地域、居住地（市街・郊外）による回答の差はみられなかった。

表 「問 13 自宅前の道路で実証実験を行う場合の条件」のクロス集計結果

		合計	問13自宅前の道路で実証実験が行われる場合の条件						不明
			実験車両であることが分かるような表示がされた車を使うべき	看板を設置するなどして、実験を実施する日時及び場所(区域)が周囲に分かるようにするべき	開発中の自動走行システムの仕組みや特徴を十分に理解した専門のドライバーとするべき	専門のドライバーでなくても、日常的に車を運転する経験がある者でよい	特に条件は付けず、自由に行えばよい	その他	
全体		1089	<u>750</u>	469	388	186	142	5	0
		100.0	68.9	43.1	35.6	17.1	13.0	0.5	0.0
性別	男性	548	<u>365</u>	219	196	85	89	5	0
		100.0	66.6	40.0	35.8	15.5	16.2	0.9	0.0
	女性	541	<u>385</u>	250	192	101	53	0	0
		100.0	71.2	46.2	35.5	18.7	9.8	0.0	0.0
年代	10代	158	<u>108</u>	72	52	32	24	0	0
		100.0	68.4	45.6	32.9	20.3	15.2	0.0	0.0
	20代	160	<u>102</u>	76	58	29	28	0	0
		100.0	63.8	47.5	36.3	18.1	17.5	0.0	0.0
	30代	154	<u>104</u>	55	36	29	27	0	0
		100.0	67.5	35.7	23.4	18.8	17.5	0.0	0.0
	40代	155	<u>111</u>	64	62	21	21	0	0
		100.0	71.6	41.3	40.0	13.5	13.5	0.0	0.0
	50代	156	<u>117</u>	60	54	20	11	1	0
		100.0	75.0	38.5	34.6	12.8	7.1	0.6	0.0
	60代	152	<u>101</u>	66	58	25	20	3	0
		100.0	66.4	43.4	38.2	16.4	13.2	2.0	0.0
	70代以上	154	<u>107</u>	76	68	30	11	1	0
		100.0	69.5	49.4	44.2	19.5	7.1	0.6	0.0
地域	北海道・東北	180	<u>131</u>	64	56	30	26	0	0
		100.0	72.8	35.6	31.1	16.7	14.4	0.0	0.0
	北陸・信越	181	<u>122</u>	78	49	36	25	0	0
		100.0	67.4	43.1	27.1	19.9	13.8	0.0	0.0
	関東	181	<u>133</u>	82	75	29	17	1	0
		100.0	73.5	45.3	41.4	16.0	9.4	0.6	0.0
	中部・近畿	181	<u>117</u>	86	70	32	24	1	0
	100.0	64.6	47.5	38.7	17.7	13.3	0.6	0.0	
	中国・四国	182	<u>128</u>	75	60	30	24	2	0
		100.0	70.3	41.2	33.0	16.5	13.2	1.1	0.0
	九州・沖縄	184	<u>119</u>	84	78	29	26	1	0
		100.0	64.7	45.7	42.4	15.8	14.1	0.5	0.0
問3居住地	市街	512	<u>341</u>	221	192	90	59	2	0
		100.0	66.6	43.2	37.5	17.6	11.5	0.4	0.0
	郊外	577	<u>409</u>	248	196	96	83	3	0
		100.0	70.9	43.0	34.0	16.6	14.4	0.5	0.0
問4保有している免許	現在保有	860	<u>600</u>	362	300	147	108	4	0
		100.0	69.8	42.1	34.9	17.1	12.6	0.5	0.0
	過去に保有	18	<u>13</u>	6	7	6	1	1	0
	100.0	72.2	33.3	38.9	33.3	5.6	5.6	0.0	
	保有なし	211	<u>137</u>	101	81	33	33	0	0
		100.0	64.9	47.9	38.4	15.6	15.6	0.0	0.0
問5交通事故の経験	事故経験あり	602	<u>439</u>	277	237	110	53	4	0
		100.0	72.9	46.0	39.4	18.3	8.8	0.7	0.0
	事故経験なし	487	<u>311</u>	192	151	76	89	1	0
		100.0	63.9	39.4	31.0	15.6	18.3	0.2	0.0

1%有意

5%有意

下線は回答割合が第1位の項目

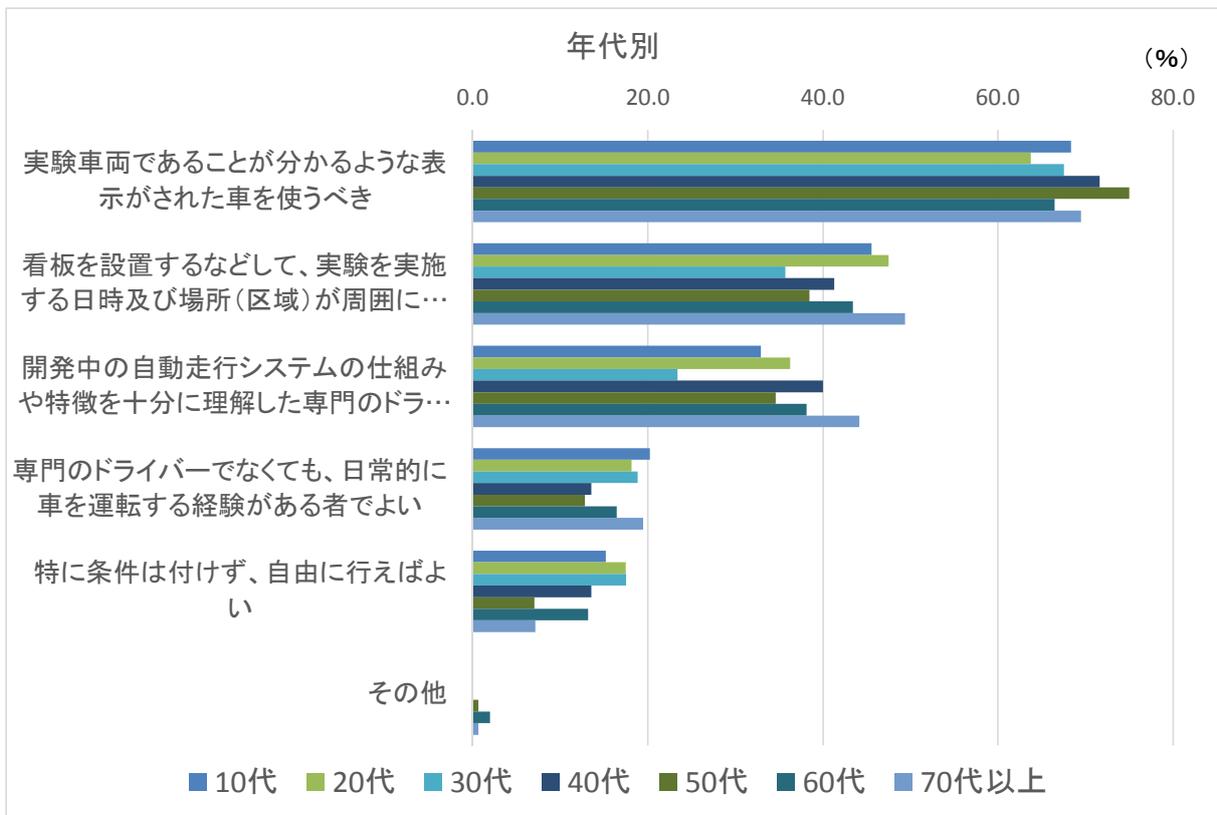
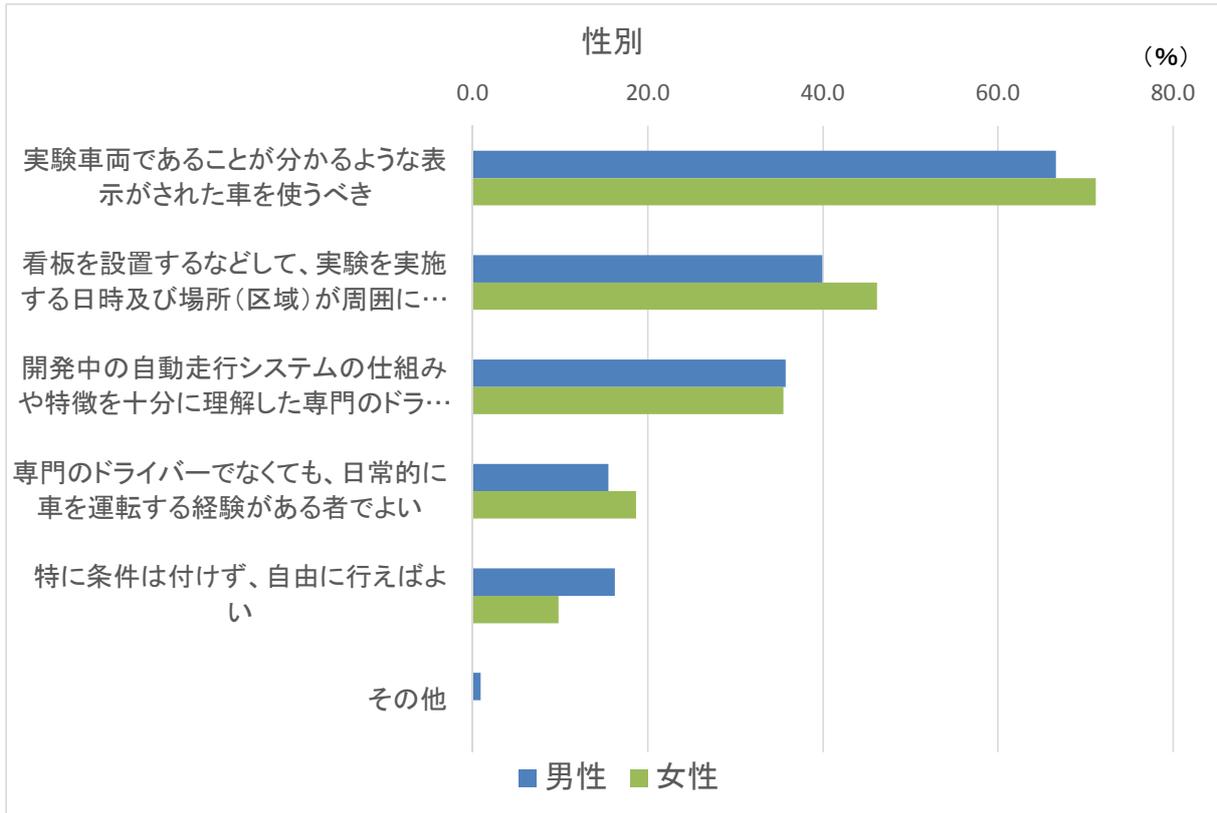


図 「問 13 自宅前の道路で実証実験を行う場合の条件」のクロス集計結果

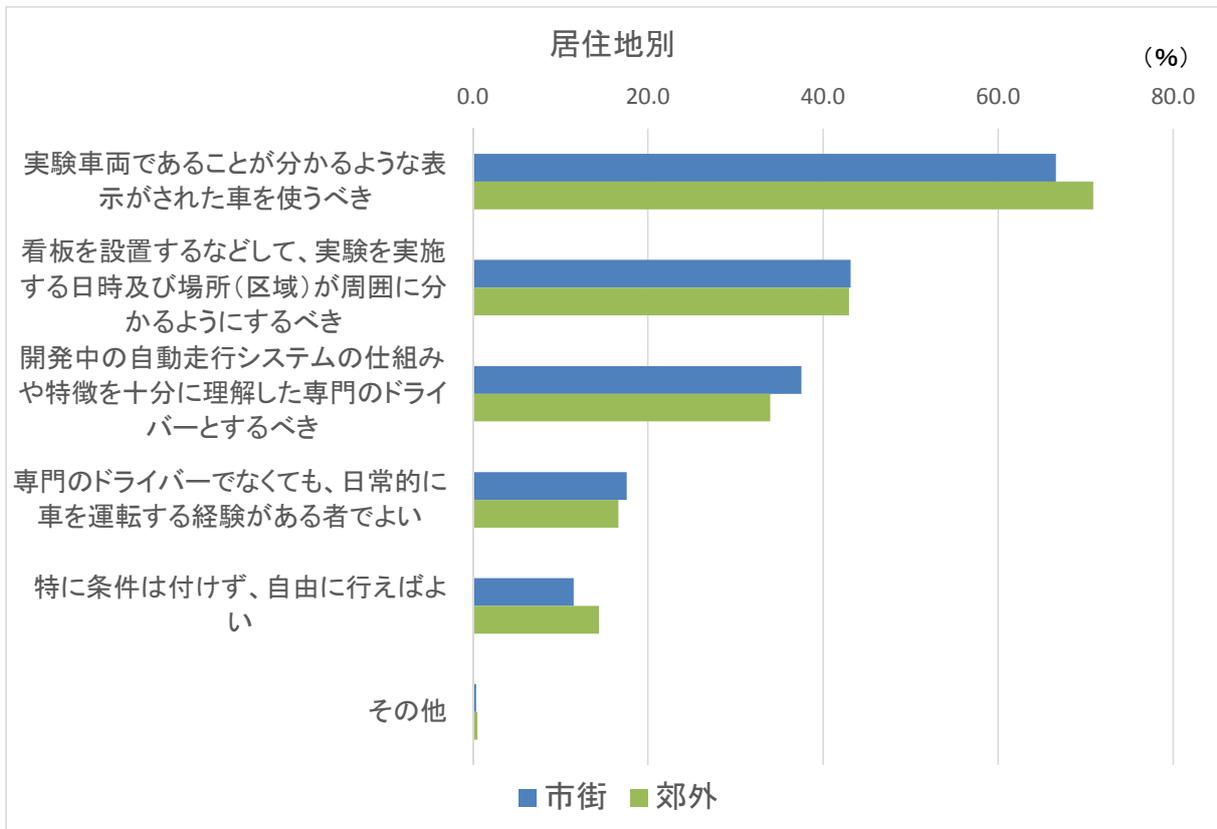
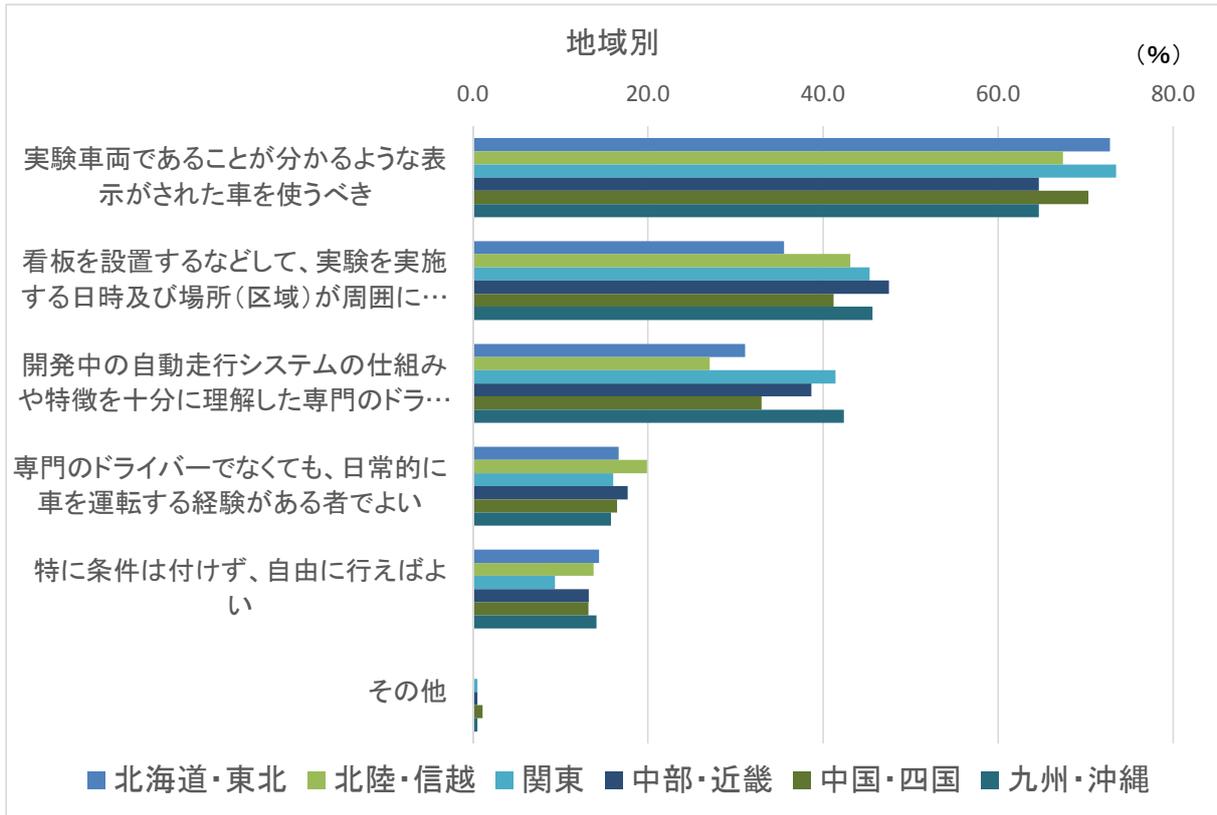


図 「問 13 自宅前の道路で実証実験を行う場合の条件」のクロス集計結果

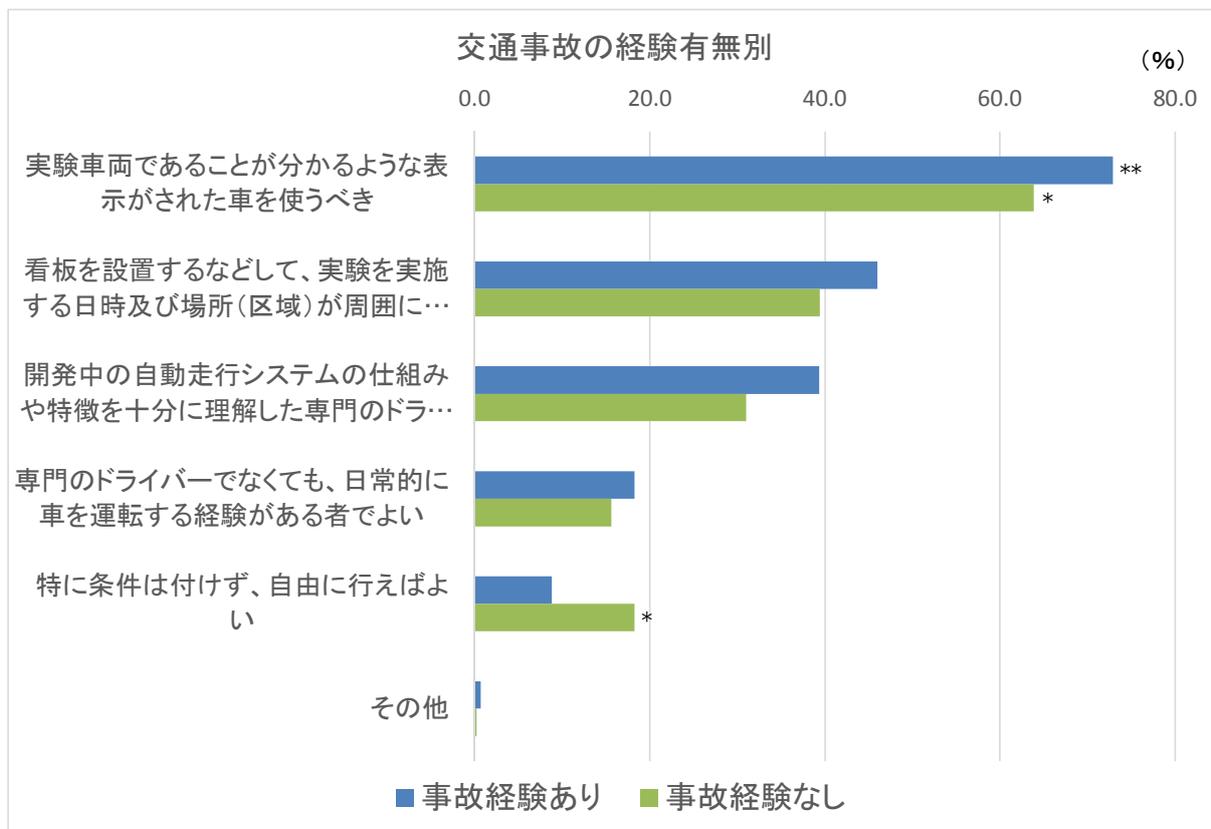
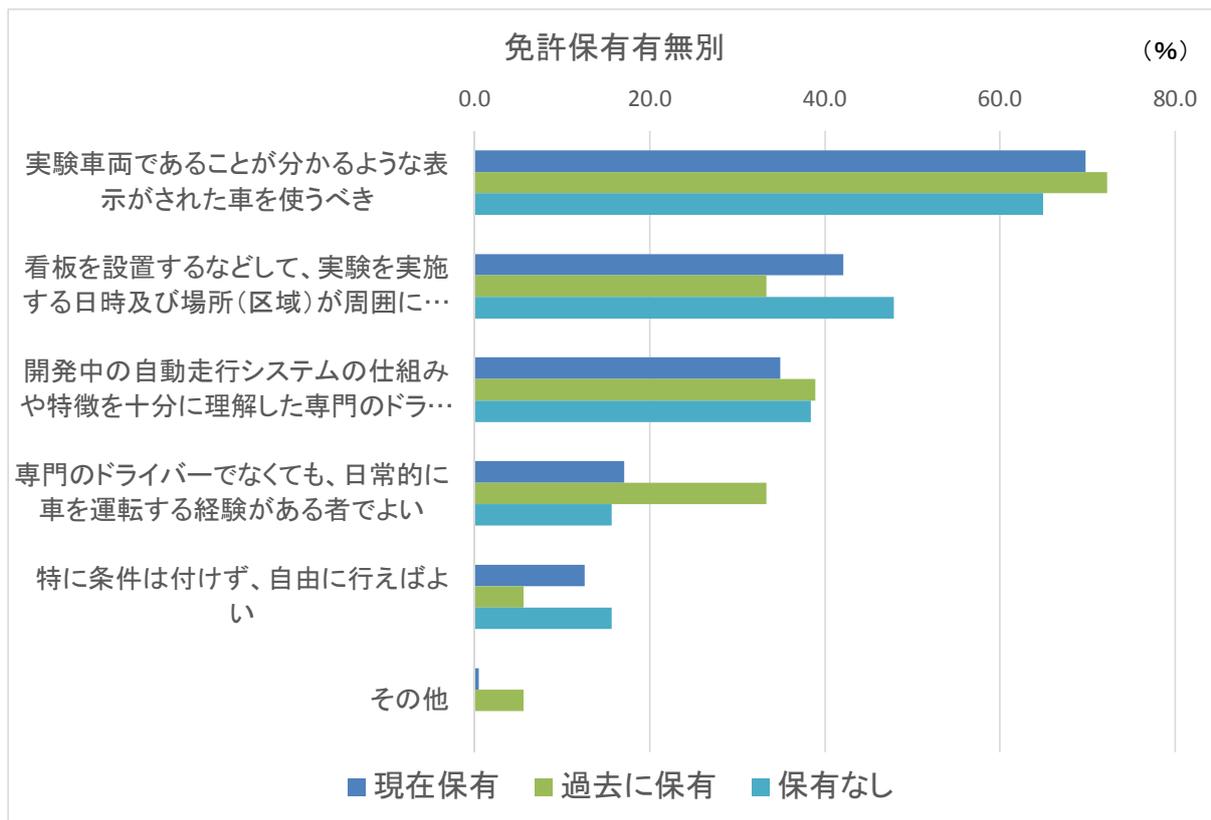
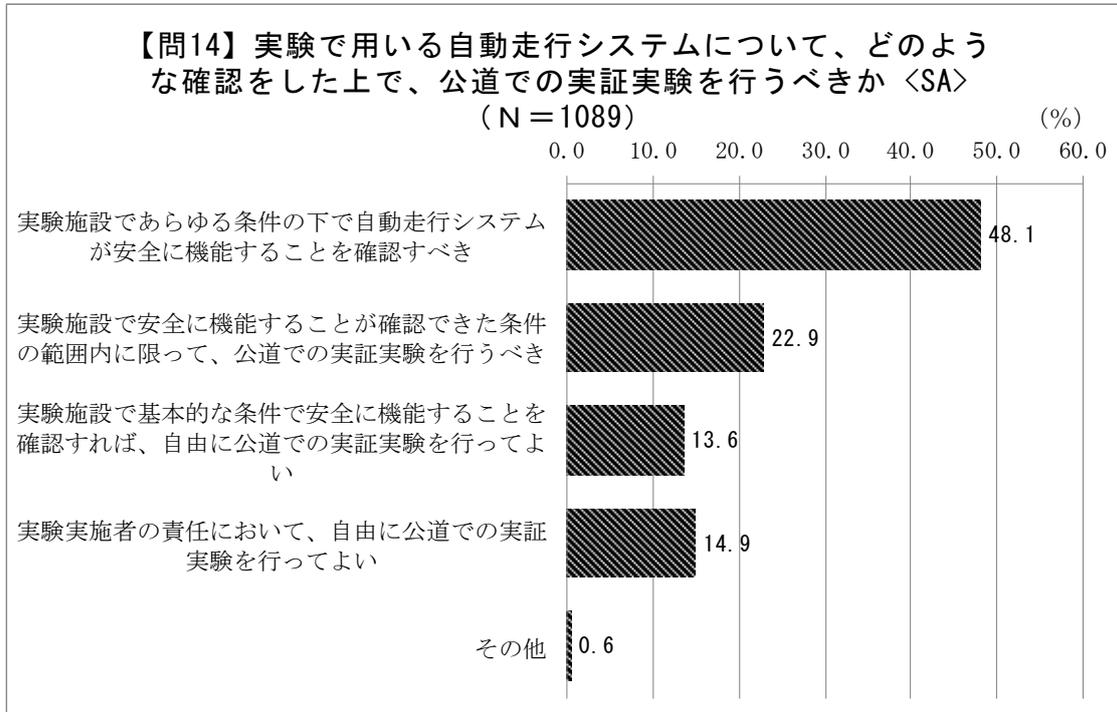


図 「問 13 自宅前の道路で実証実験を行う場合の条件」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

④公道で用いる自動走行システムについての確認について

「実験施設であらゆる条件の下で自動走行システムが安全に機能することを確認すべき」が約 48%と最も多く、次いで、「実験施設で安全に機能することが確認できた条件の範囲内に限って、公道での実証実験を行うべき」が約 23%と続く。



(属性別集計結果)

問 14 についての性別、年代、地域、居住地（市街・郊外）、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- 全ての属性で「実験施設であらゆる条件の下で自動走行システムが安全に機能することを確認すべき」が最も多く、代表的意見となっている。
- 男性は「実験実施者の責任において、自由に公道での実証実験を行ってよい」の回答割合が全体に比べ高い。
- 運転免許保有者及び交通事故経験者は「実験施設であらゆる条件の下で自動走行システムが安全に機能することを確認すべき」の回答割合が全体に比べ高い。
- 年代、地域、居住地（市街・郊外）による回答の差はみられなかった。

表 「問14 実験で用いる自動走行システムについて、どのような確認をした上で、公道での実証実験を行うべきか」のクロス集計結果

		合計	問14実験で用いる自動走行システムについての確認					
			実験施設であらゆる条件の下で自動走行システムが安全に機能することを確認すべき	実験施設で安全に機能することが確認できた条件の範囲内に限って、公道での実証実験を行うべき	実験施設で基本的な条件で安全に機能することを確認すれば、自由に公道での実証実験を行うべき	実験実施者の責任において、自由に公道での実証実験を行うべき	その他	不明
全体		1089 100.0	524 48.1	249 22.9	148 13.6	162 14.9	6 0.6	0 0.0
性別	男性	548 100.0	244 44.5	119 21.7	73 13.3	109 19.9	3 0.5	0 0.0
	女性	541 100.0	280 51.8	130 24.0	75 13.9	53 9.8	3 0.6	0 0.0
年代	10代	158 100.0	72 45.6	42 26.6	26 16.5	18 11.4	0 0.0	0 0.0
	20代	160 100.0	82 51.3	33 20.6	19 11.9	26 16.3	0 0.0	0 0.0
	30代	154 100.0	74 48.1	39 25.3	15 9.7	25 16.2	1 0.6	0 0.0
	40代	155 100.0	82 52.9	29 18.7	18 11.6	25 16.1	1 0.6	0 0.0
	50代	156 100.0	82 52.6	33 21.2	19 12.2	20 12.8	2 1.3	0 0.0
	60代	152 100.0	67 44.1	30 19.7	24 15.8	30 19.7	1 0.7	0 0.0
	70代以上	154 100.0	65 42.2	43 27.9	27 17.5	18 11.7	1 0.6	0 0.0
	地域	北海道・東北	180 100.0	99 55.0	39 21.7	22 12.2	20 11.1	0 0.0
北陸・信越		181 100.0	86 47.5	44 24.3	22 12.2	28 15.5	1 0.6	0 0.0
関東		181 100.0	85 47.0	40 22.1	27 14.9	28 15.5	1 0.6	0 0.0
中部・近畿		181 100.0	86 47.5	43 23.8	25 13.8	25 13.8	2 1.1	0 0.0
中国・四国		182 100.0	89 48.9	37 20.3	23 12.6	32 17.6	1 0.5	0 0.0
九州・沖縄		184 100.0	79 42.9	46 25.0	29 15.8	29 15.8	1 0.5	0 0.0
問3居住地		市街	512 100.0	247 48.2	115 22.5	72 14.1	74 14.5	4 0.8
	郊外	577 100.0	277 48.0	134 23.2	76 13.2	88 15.3	2 0.3	0 0.0
問4保有している免許	現在保有	860 100.0	431 50.1	187 21.7	109 12.7	127 14.8	6 0.7	0 0.0
	過去に保有	18 100.0	11 61.1	4 22.2	2 11.1	1 5.6	0 0.0	0 0.0
	保有なし	211 100.0	82 38.9	58 27.5	37 17.5	34 16.1	0 0.0	0 0.0
問5交通事故の経験	事故経験あり	602 100.0	313 52.0	128 21.3	80 13.3	79 13.1	2 0.3	0 0.0
	事故経験なし	487 100.0	211 43.3	121 24.8	68 14.0	83 17.0	4 0.8	0 0.0

1%有意 下線は回答割合が第1位の項目
5%有意

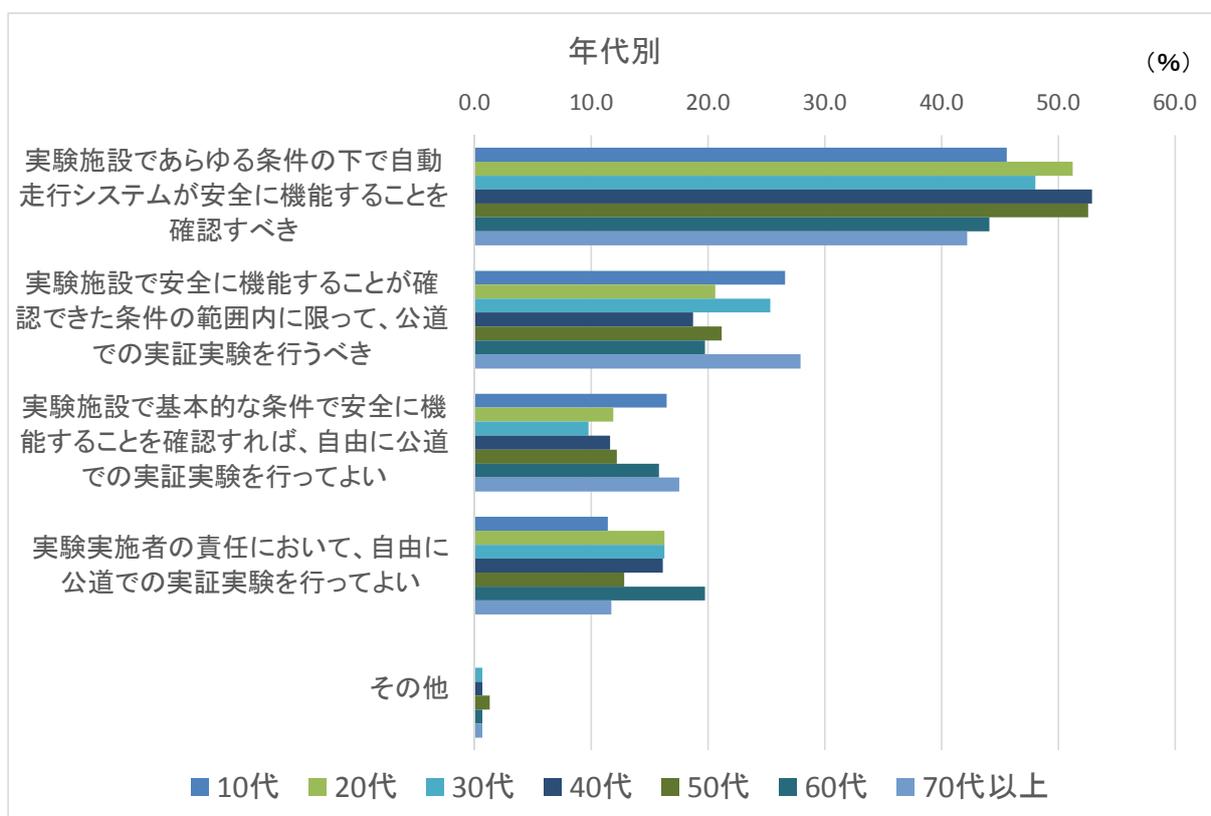
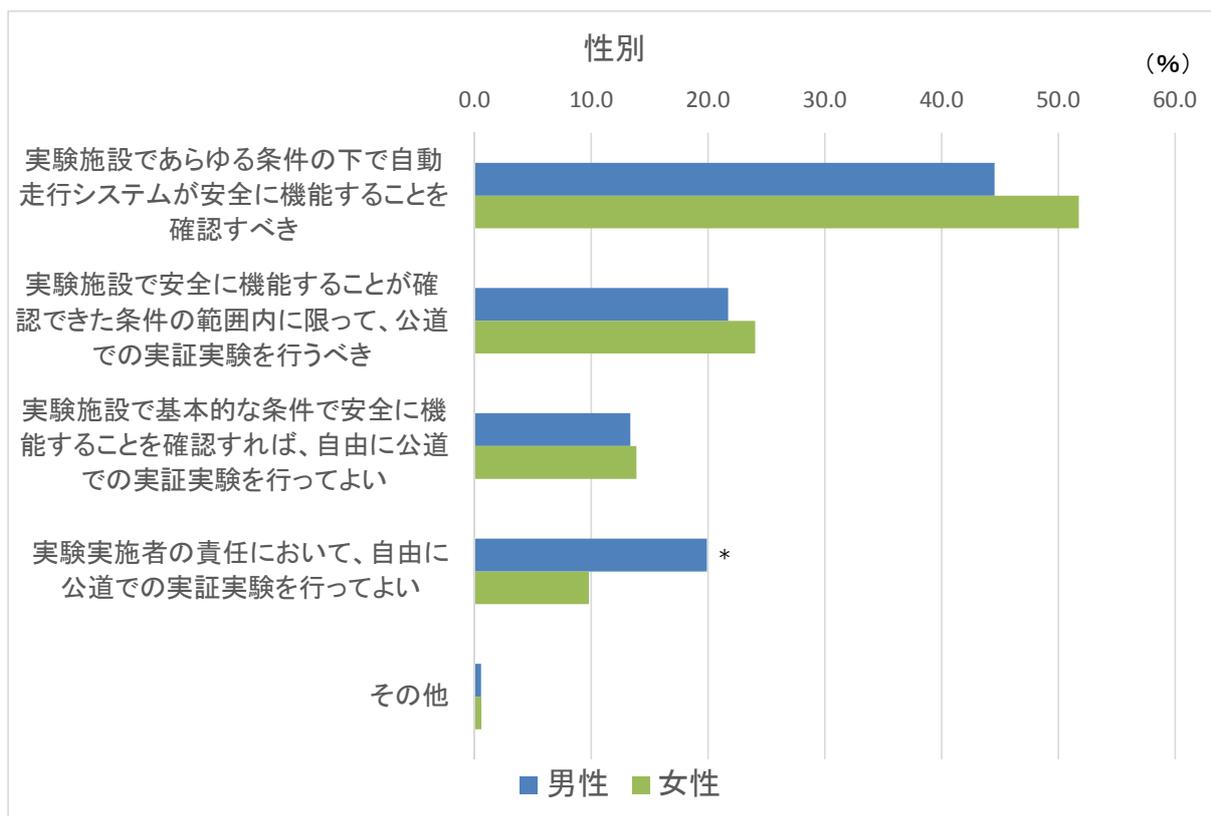


図 「問 14 実験で用いる自動走行システムについて、どのような確認をした上で、公道での実証実験を行うべきか」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

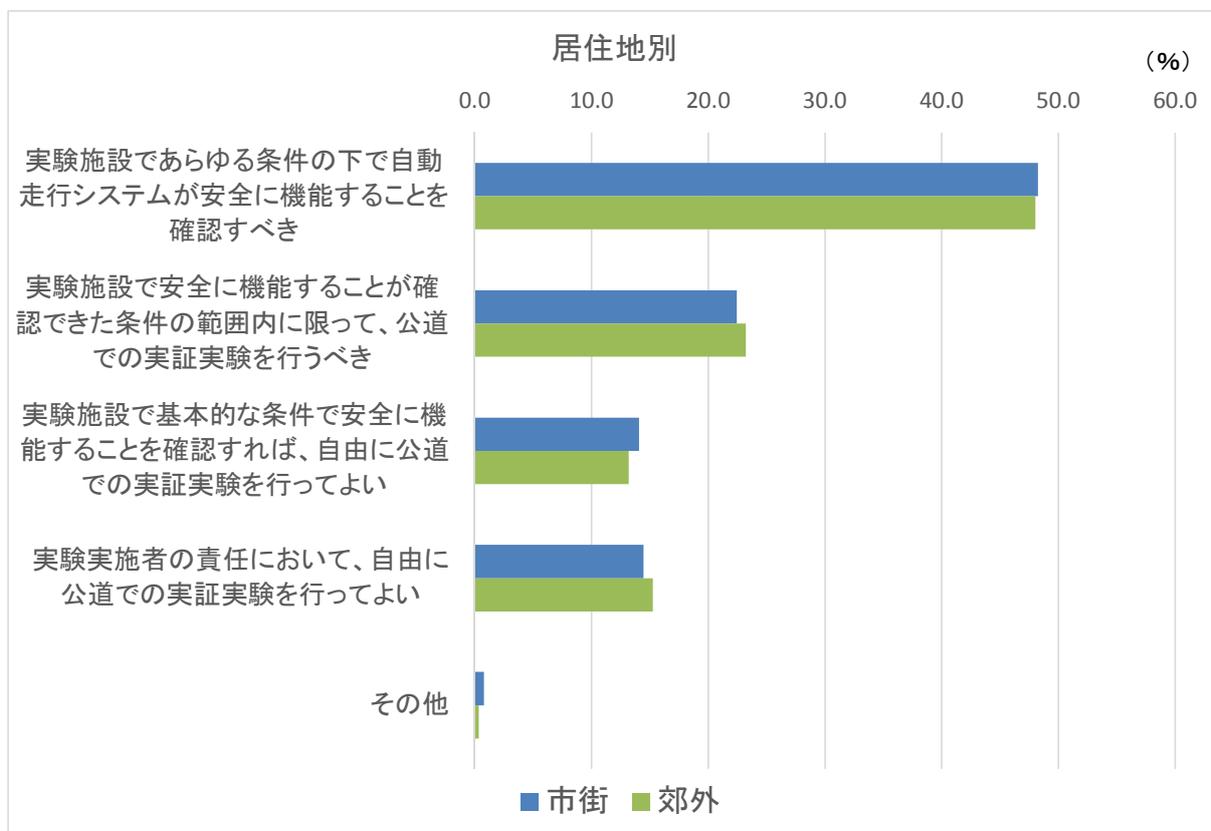
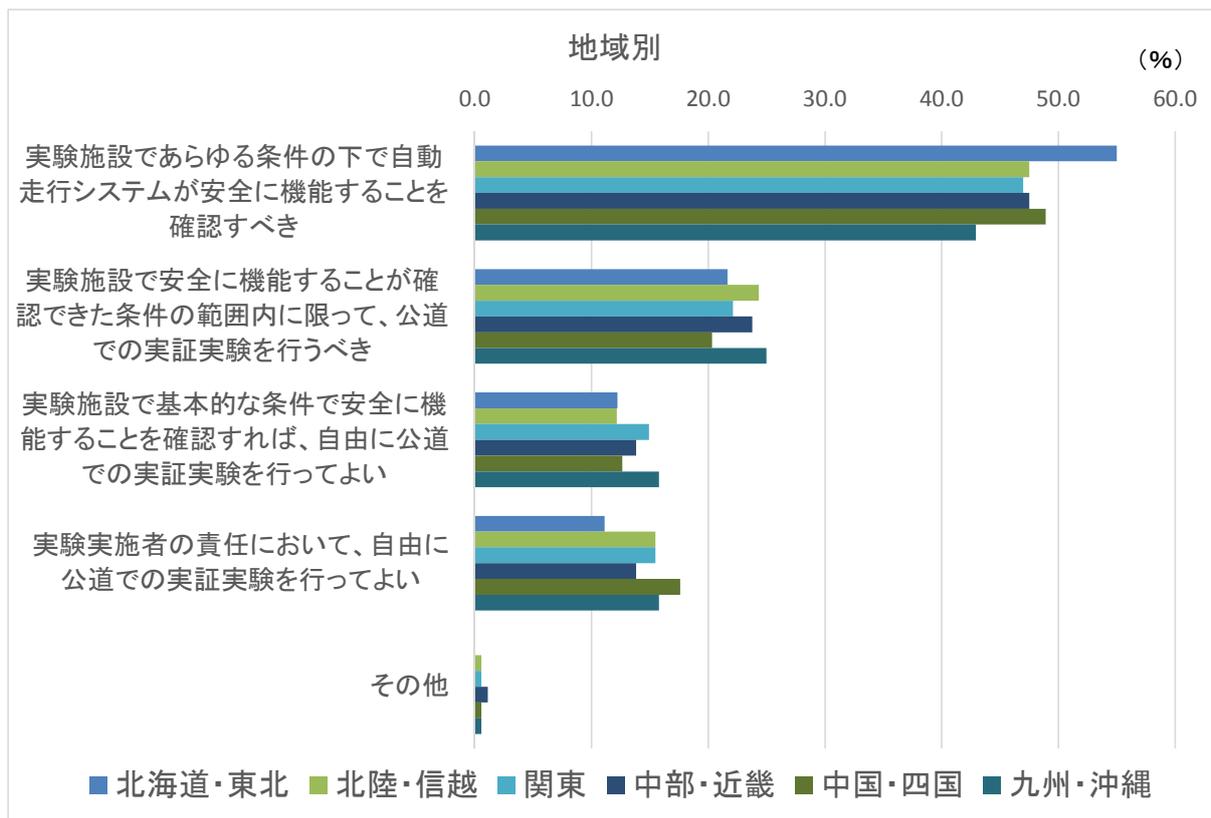


図 「問 14 実験で用いる自動走行システムについて、どのような確認をした上で、公道での実証実験を行うべきか」のクロス集計結果

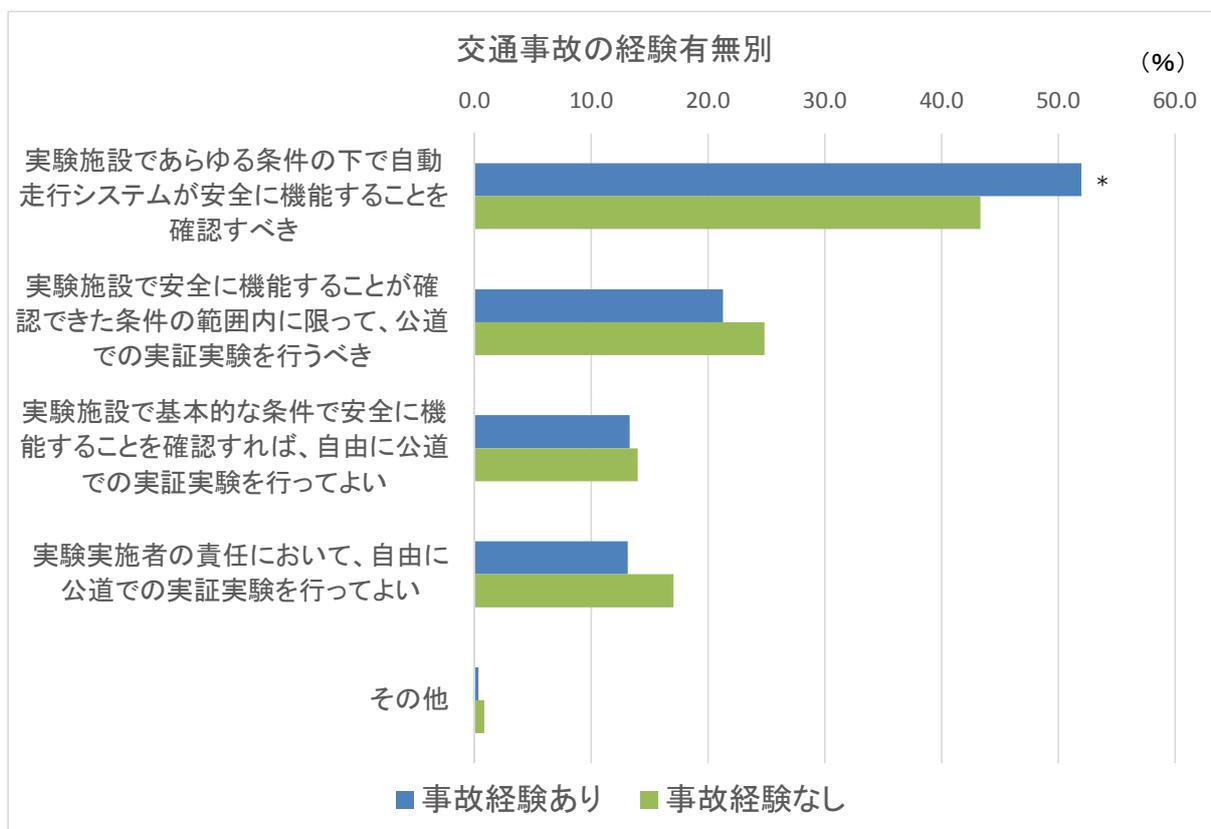
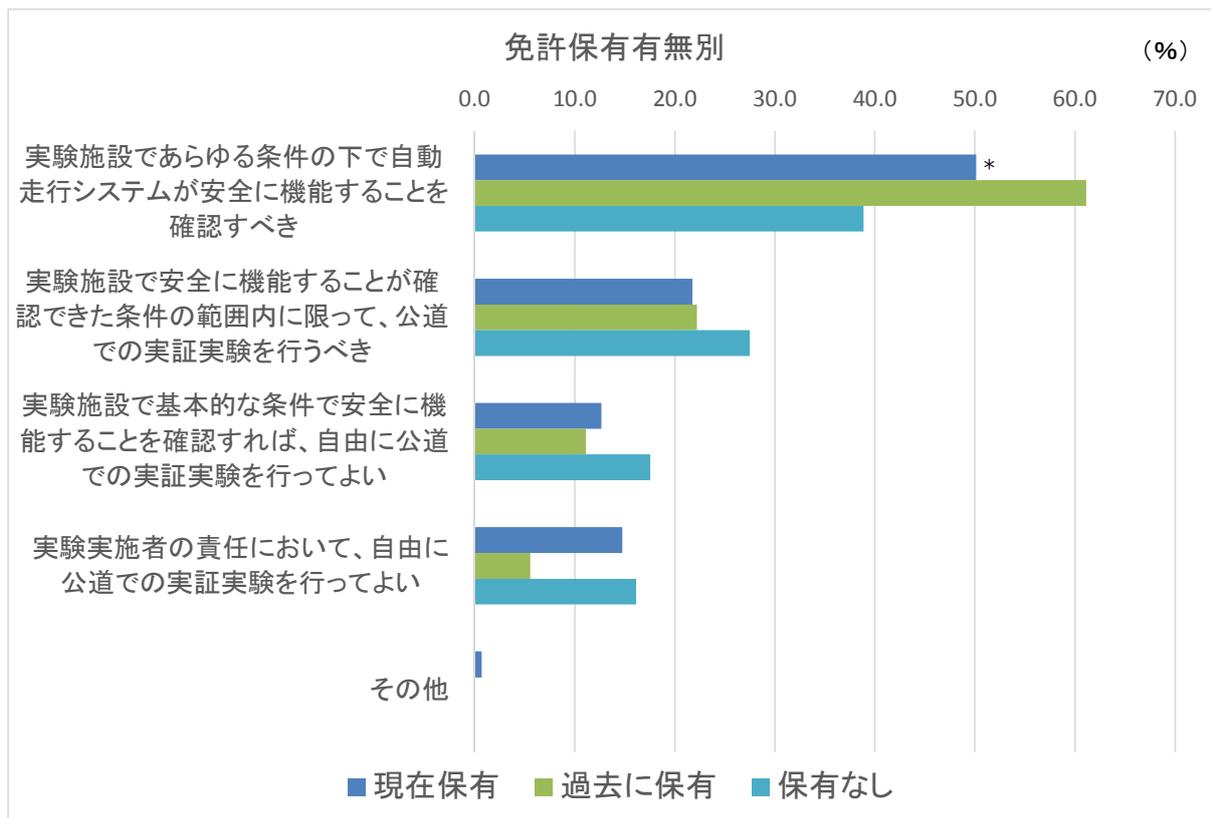
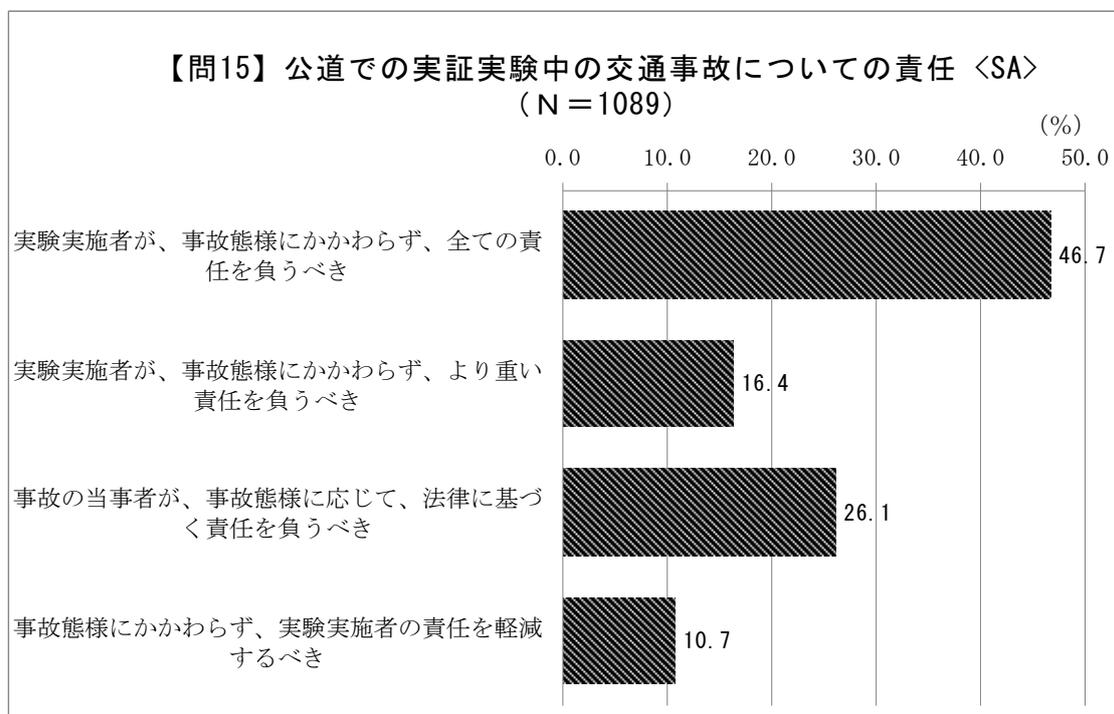


図 「問 14 実験で用いる自動走行システムについて、どのような確認をした上で、公道での実証実験を行うべきか」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

⑤公道での実証実験中の交通事故についての責任

「実験実施者が、事故態様にかかわらず、全ての責任を負うべき」が約 47%と最も多く、次いで、「事故の当事者が、事故態様に応じて、法律に基づく責任を負うべき」が約 26%と続く。



(属性別集計結果)

問 15 についての性別、年代、地域、居住地（市街・郊外）、保有免許、交通事故経験とのクロス集計結果は以下のとおりである。

- 全ての属性で「実験実施者が、事故態様にかかわらず、全ての責任を負うべき」が最も多く、代表的意見となっている。
- 交通事故の未経験者は「事故態様にかかわらず、実験実施者の責任を軽減するべき」の回答割合が全体に比べ高い。
- 性別、年代、運転免許、地域、居住地（市街・郊外）による回答の差はみられなかった。

表 「問 15 公道での実証実験中の交通事故についての責任」のクロス集計結果

		合計	問15公道実証実験中の交通事故についての責任				
			実験実施者が、事故態様にかかわらず、全ての責任を負うべき	実験実施者が、事故態様にかかわらず、より重い責任を負うべき	事故の当事者が、事故態様に応じて、法律に基づき責任を負うべき	事故態様にかかわらず、実験実施者の責任を軽減すべき	不明
全体		1089 100.0	<u>509</u> 46.7	179 16.4	284 26.1	117 10.7	0 0.0
性別	男性	548 100.0	<u>257</u> 46.9	86 15.7	143 26.1	62 11.3	0 0.0
	女性	541 100.0	<u>252</u> 46.6	93 17.2	141 26.1	55 10.2	0 0.0
年代	10代	158 100.0	<u>61</u> 38.6	24 15.2	53 33.5	20 12.7	0 0.0
	20代	160 100.0	<u>58</u> 36.3	32 20.0	48 30.0	22 13.8	0 0.0
	30代	154 100.0	<u>73</u> 47.4	29 18.8	31 20.1	21 13.6	0 0.0
	40代	155 100.0	<u>79</u> 51.0	23 14.8	38 24.5	15 9.7	0 0.0
	50代	156 100.0	<u>81</u> 51.9	24 15.4	37 23.7	14 9.0	0 0.0
	60代	152 100.0	<u>78</u> 51.3	25 16.4	34 22.4	15 9.9	0 0.0
	70代以上	154 100.0	<u>79</u> 51.3	22 14.3	43 27.9	10 6.5	0 0.0
	地域	北海道・東北	180 100.0	<u>88</u> 48.9	30 16.7	43 23.9	19 10.6
北陸・信越		181 100.0	<u>73</u> 40.3	30 16.6	57 31.5	21 11.6	0 0.0
関東		181 100.0	<u>83</u> 45.9	30 16.6	46 25.4	22 12.2	0 0.0
中部・近畿		181 100.0	<u>99</u> 54.7	28 15.5	36 19.9	18 9.9	0 0.0
中国・四国		182 100.0	<u>82</u> 45.1	24 13.2	56 30.8	20 11.0	0 0.0
九州・沖縄		184 100.0	<u>84</u> 45.7	37 20.1	46 25.0	17 9.2	0 0.0
問3居住地	市街	512 100.0	<u>232</u> 45.3	100 19.5	131 25.6	49 9.6	0 0.0
	郊外	577 100.0	<u>277</u> 48.0	79 13.7	153 26.5	68 11.8	0 0.0
問4保有している免許	現在保有	860 100.0	<u>412</u> 47.9	147 17.1	216 25.1	85 9.9	0 0.0
	過去に保有	18 100.0	<u>9</u> 50.0	3 16.7	5 27.8	1 5.6	0 0.0
	保有なし	211 100.0	<u>88</u> 41.7	29 13.7	63 29.9	31 14.7	0 0.0
問5交通事故の経験	事故経験あり	602 100.0	<u>290</u> 48.2	105 17.4	165 27.4	42 7.0	0 0.0
	事故経験なし	487 100.0	<u>219</u> 45.0	74 15.2	119 24.4	75 15.4	0 0.0

1%有意
5%有意

下線は回答割合が第1位の項目

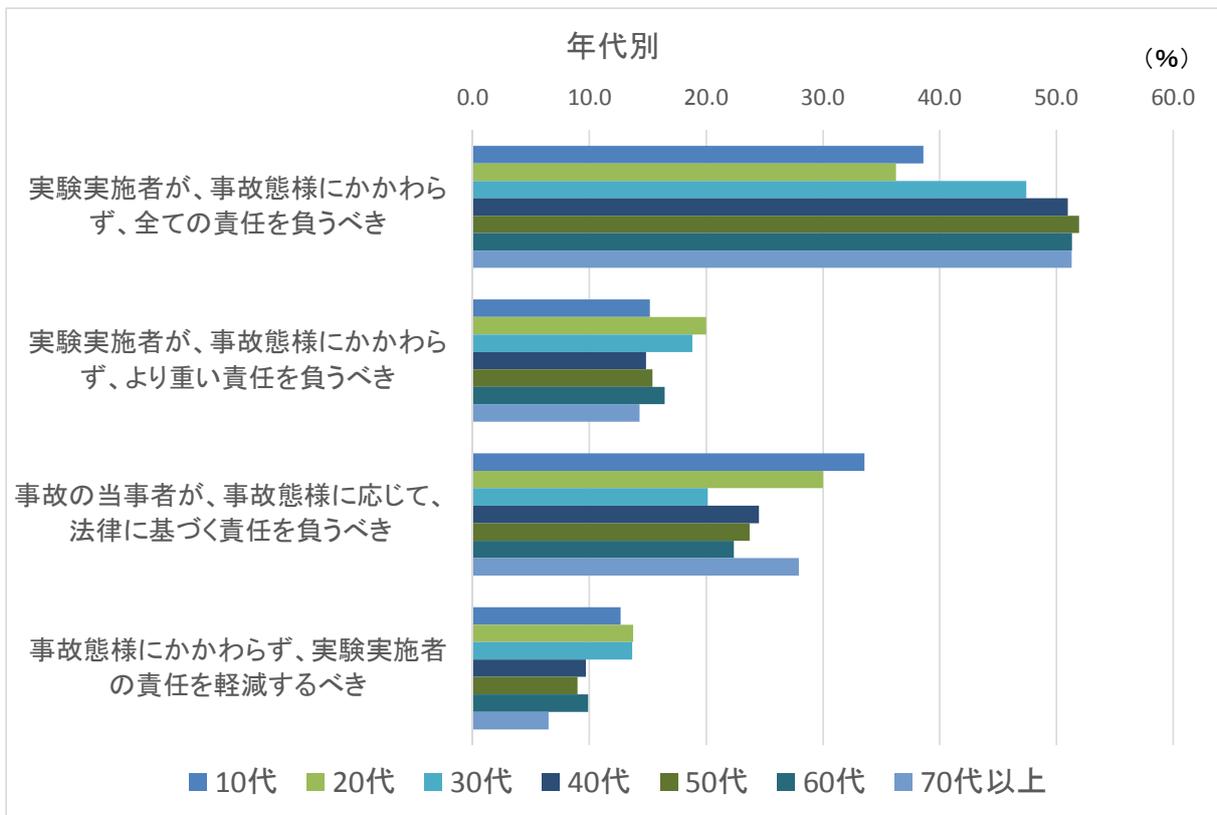
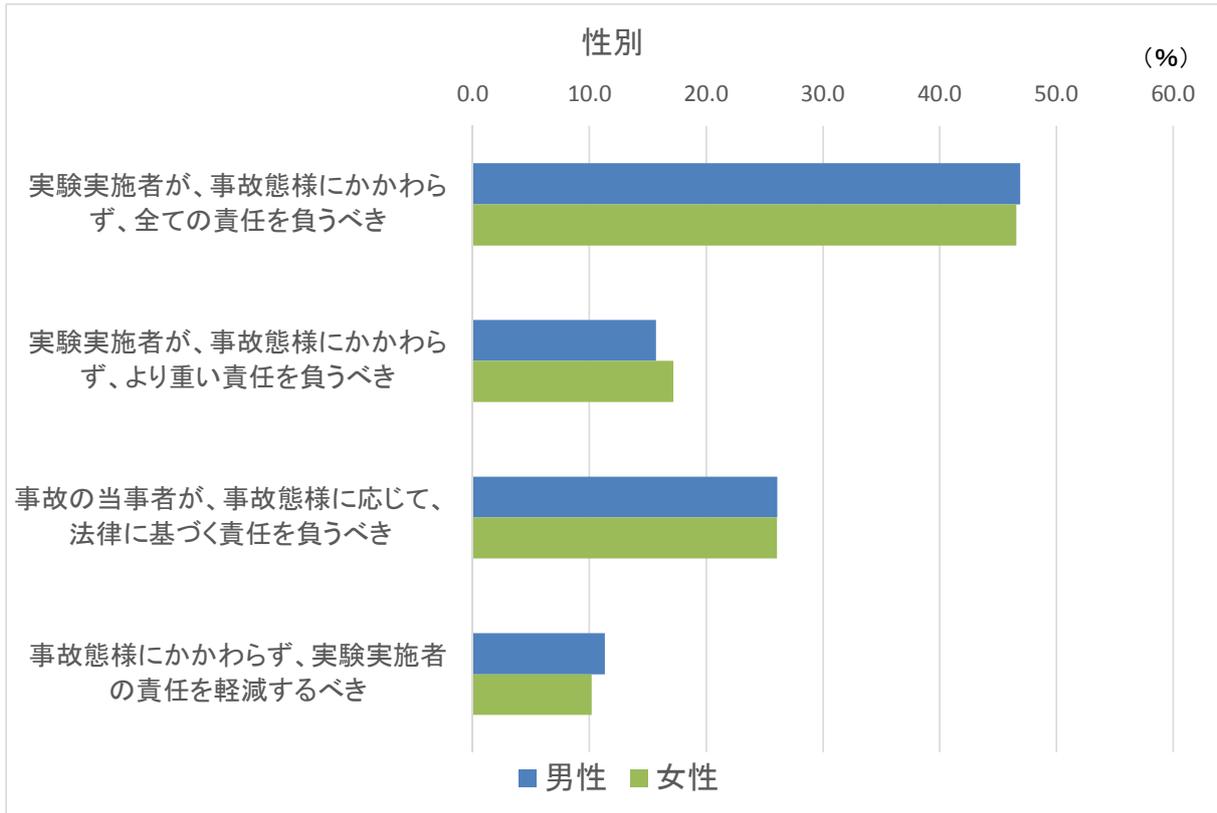


図 「問 15 公道での実証実験中の交通事故についての責任」のクロス集計結果

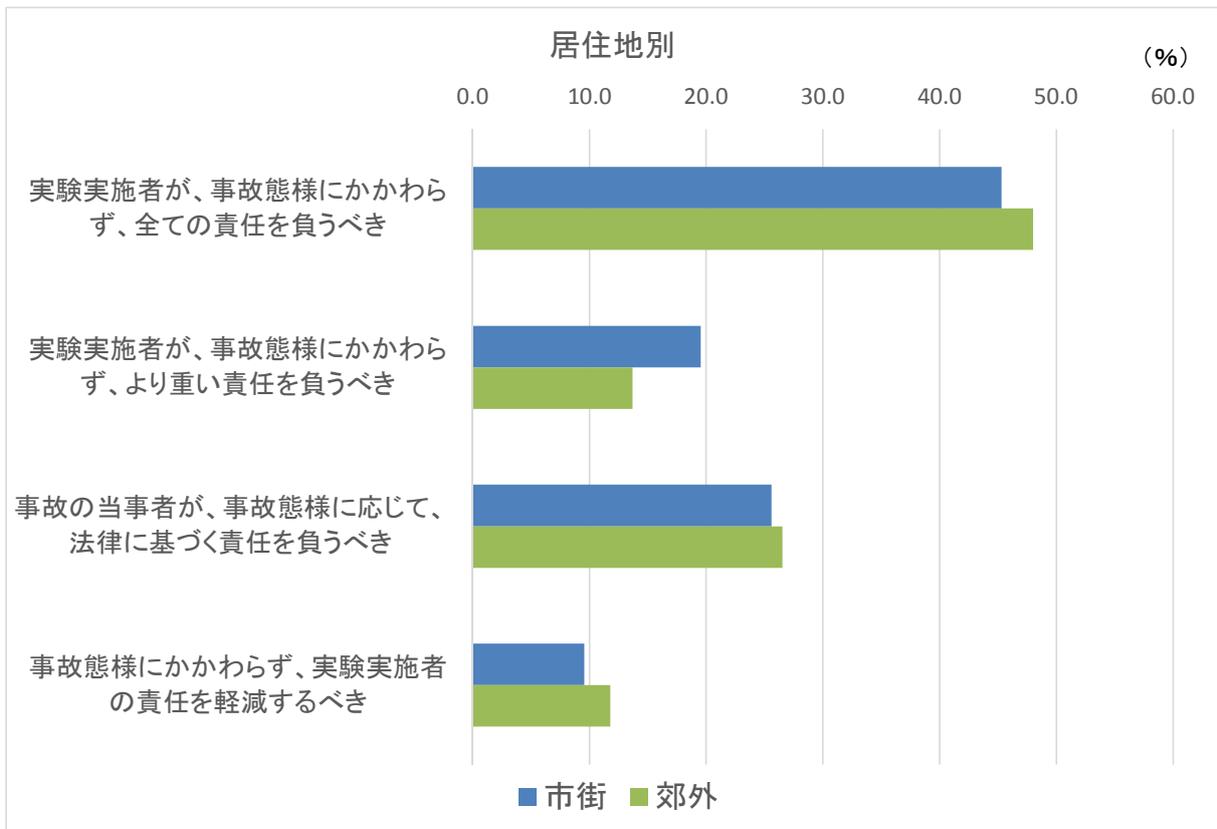
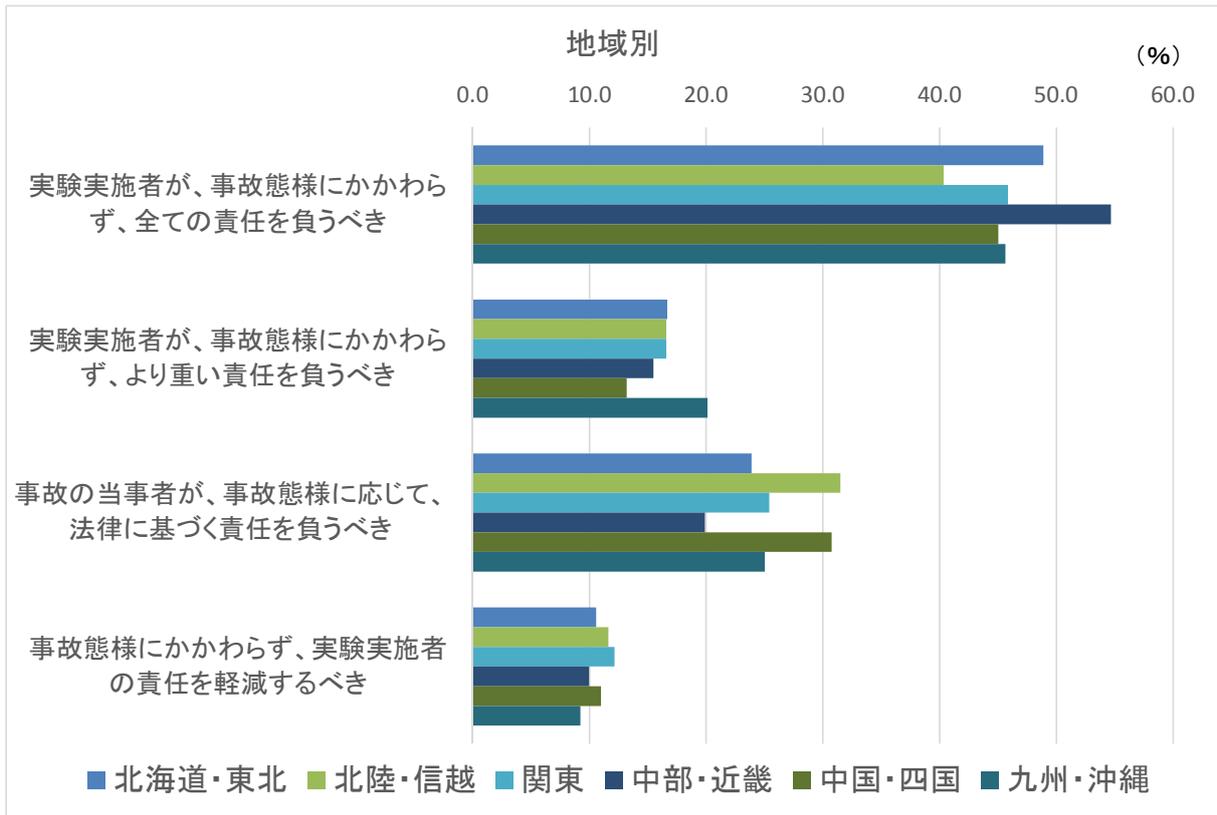


図 「問 15 公道での実証実験中の交通事故についての責任」のクロス集計結果

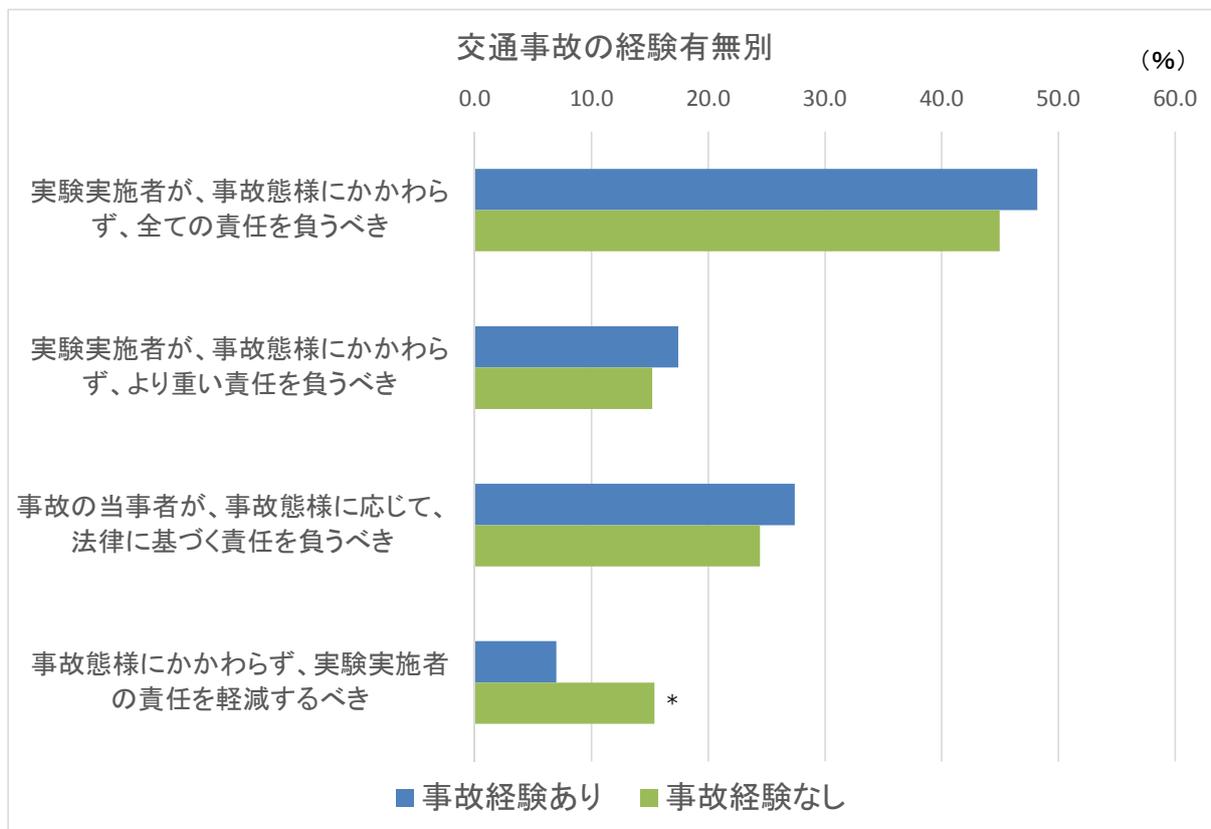
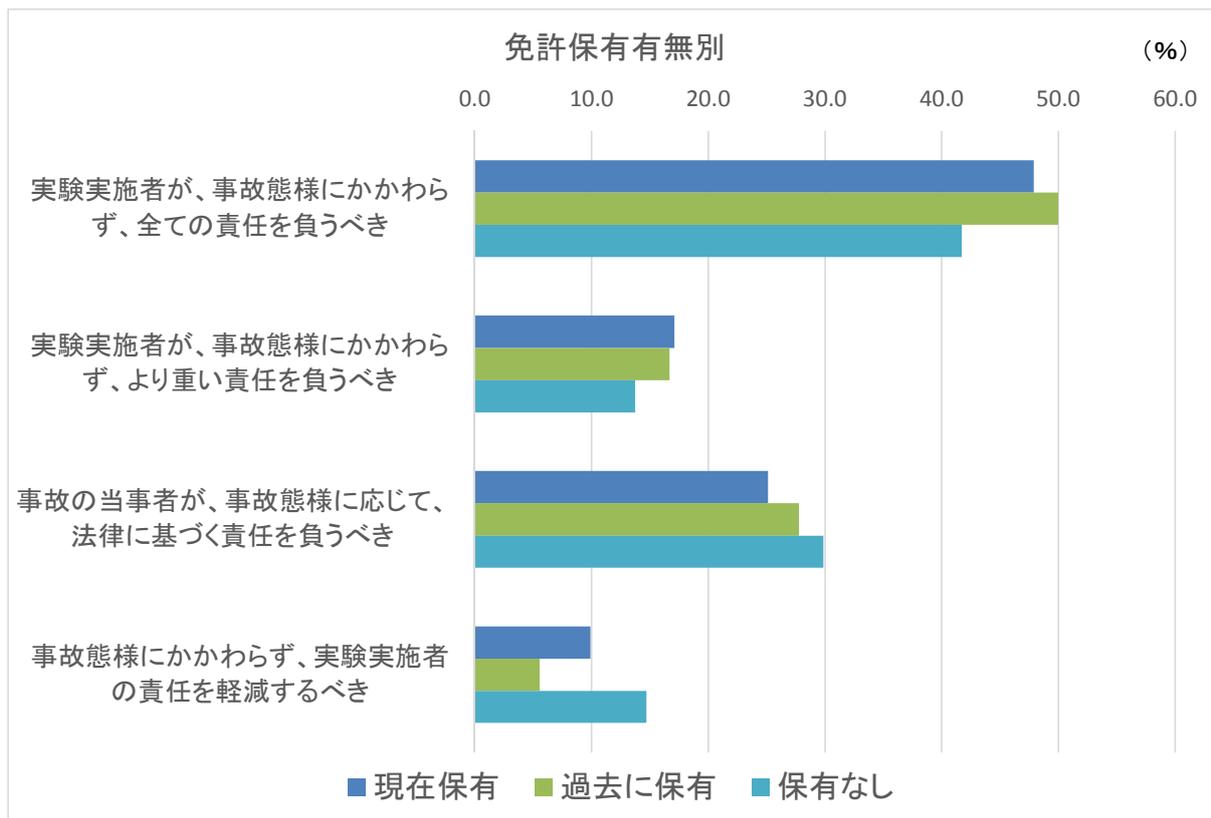


図 「問 15 公道での実証実験中の交通事故についての責任」のクロス集計結果

** 1%有意 * 5%有意

⑥今後の自動走行システム（自動運転）のあり方や、その実現に向けて検討すべき課題等に関する自由意見

回答者 1,083 人のうち 422 人から自由意見の回答があった。「安全性の確認」を要望する意見が最も多く、「事故が起きた際の責任の所在」に対する懸念等の意見が比較的多くみられる。

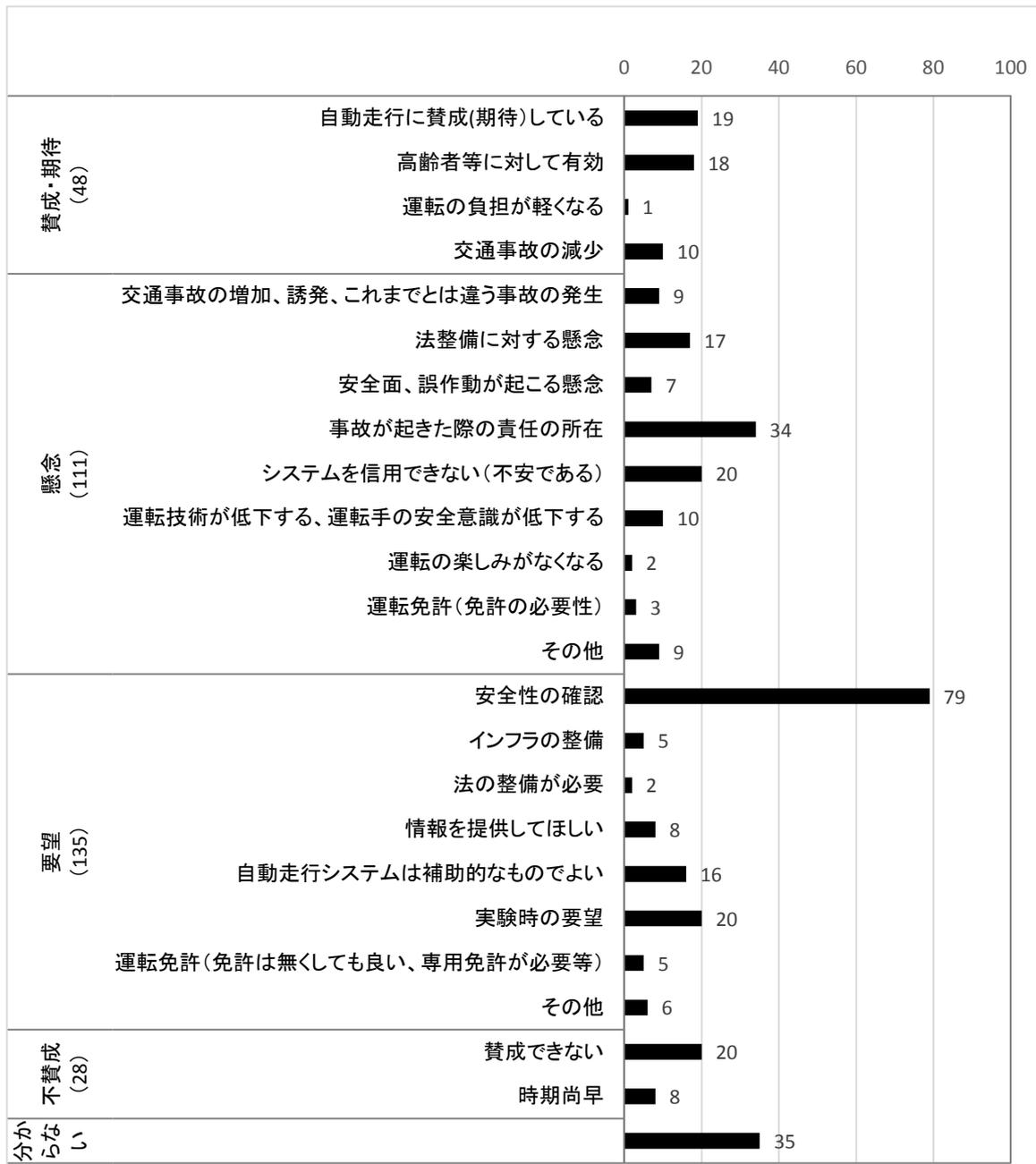


図 自由意見のカテゴリー別意見数

表 自由意見の分類別意見数

大分類	小分類	回答数
1 賛成(期待) (48)	自動走行に賛成(期待)している	19
	高齢者等に対して有効	18
	運転の負担が軽くなる	1
	交通事故の減少	10
2 懸念 (111)	交通事故の増加、誘発、これまでとは違う事故の発生	9
	法整備に対する懸念	17
	安全面、誤作動が起こる懸念	7
	事故が起きた際の責任の所在	34
	システムを信用できない(不安である)	20
	運転技術が低下する、運転手の安全意識が低下する	10
	運転の楽しみがなくなる	2
	運転免許(免許の必要性)	3
	その他	9
3 要望 (135)	安全性の確認	79
	インフラの整備	5
	法の整備が必要	2
	情報を提供してほしい	8
	自動走行システムは補助的なものでよい	16
	実験時の要望	20
	運転免許(免許は無くしても良い、専用免許が必要等)	5
	その他	6
4 自動走行に賛成できない、不要 (28)	賛成できない	20
	時期尚早	8
5 わからない(興味がない)		35
6 その他		59
総計		422

表 アンケートの集計分析結果の整理

区分	設問	代表的意見	属性別結果と全体結果の有意差の検定結果（注）と特徴的な結果					
			性別	年代	地域	居住地 (市街・郊外)	免許保有	交通事故経験
車の自動 走行シス テムにつ いて	①自動走行システムに期待 すること (問8)	交通事故の削減	○ 男性は「渋滞の解消・緩和」 「国際競争力の強化」が多 い。	● 70代以上は「高齢者等 の移動支援」が多い。	×	×	● 免許保有者は「渋滞の解消・ 緩和」が多い。	○ 交通事故経験者は「交通事 故の削減」「高齢者等の移動支 援」が多い。
	②自動走行システムの利用 意向 (問9)	疲れているときなどは、利用 したい	● 男性は「疲れているときなど は、利用したい」「ドライバ ーとして運転操作を行うこと を楽しみたいので、あまり利 用したくない」が多い。 女性は「自動走行システム のことをよく知らないの で、分からない」が多い。	×	×	×	● 免許保有者は「疲れている ときなどは、利用したい」 「運転操作をシステムに任 せるのは不安なので、あ まり利用したくない」が 多い。 免許非保有者は「自動 走行システムのことをよ く知らないの で、分からない」が多い。	● 交通事故経験者は「疲 れているときなどは、利 用したい」 が多い。
	③自動走行システムに対 する懸念 (問10)	自動走行システムの性能が 十分でない場合、交通事 故が発生しないか	○ 男性は「自動走行システム に対するサイバー攻撃が起 こるのではないか」が多 い。	○ 70代以上は「自動走行 システムの故障時にお けるメーカーの対応力は 十分か」が多い。	×	×	○ 免許保有者は「自動走行シ ステムの性能が十分で ない場合、交通事故が 発生しないか」が多い。	● 交通事故経験者は「自動 走行システムの性能が 十分でない場合、交通 事故が発生しないか」 「自動走行システムの 故障には、自動車が暴 走しないか」「居眠り 運転や飲酒運転の増 加しないか」等が多い。
自動走行 システム に関する 実証実験 について	①実証実験を実施する 場所 (問11)	実験段階に応じて、交通 量にかかわらず、様々 な道路で実施すべき	×	○ 10代は「実験施設やテ ストコース」が多い。 60代は「実験段階に 応じて、交通量にか かわらず、様々な道 路で実施するべき」 が多い。	×	×	×	● 交通事故経験者は「実 験施設やテストコース」 が多い。
	②自宅前の道路で 実証実験を行うこと について (問12)	どちらかと言えば賛成 する、実施しても、実 施しなくても、どちら でも構わない	○ 男性は「賛成する」が多 い。	×	×	×	×	● 交通事故未経験者は「 分からない」が多い。
	③自宅前の道路で 実証実験が行われる 場合の条件 (問13)	実験車両であることが 分かるような表示が された車を使うべき	×	×	×	×	×	● 交通事故経験者は「実 験車両であることが 分かるような表示が された車を使うべき が」が多い。
	④公道での実証実験 を行う実験で用いる 自動走行システムの 確認について (問14)	実験施設であらゆる 条件の下で自動走行 システムが安全に機 能することを確認す べき	○ 男性は「実験実施者の 責任において、自由 に公道での実証実験 を行ってよい」が多 い。	×	×	×	○ 免許保有者は「実験 施設であらゆる条件 の下で自動走行シ ステムが安全に機 能することを確認 すべき」が多い。	○ 交通事故経験者は「 実験施設であらゆる 条件の下で自動走 行システムが安全に 機能することを確認 すべき」が多い。
	⑤公道での実証実験 中の交通事故につ いての責任 (問15)	実験実施者が、事故 態様にかかわらず、 全ての責任を負う べき	×	×	×	×	×	○ 交通事故未経験者は 「事故態様にか かわらず、実験 実施者の責任を 軽減するべき」 が多い。

(注) 各設問の全体集計結果と属性別の集計結果の母比率の差の検定(z検定) ●: 1%有意 ○: 5%有意 ×: 有意差なし

【アンケート結果のまとめ】

(注) 代表的意見とは概ね全ての属性別集計で第1位の回答割合の選択肢である。

(1)車の自動走行システム(いわゆる自動運転)の受容性に関する設問

①自動走行システムに期待すること

- ・代表的意見は「交通事故の削減」である。
- ・次いで、「渋滞の解消・緩和」「高齢者等の移動支援」に対する期待が大きい。
- ・70代以上は「高齢者等の移動支援」、運転免許保有者は「渋滞の解消・緩和」への期待が比較的大きい。

②自動走行システムの利用意向

- ・代表的意見は「疲れているときなどは、利用したい」である。
- ・免許保有者や交通事故経験者ほど「疲れているときなどは、利用したい」の意見が比較的多い。
- ・一方、男性や運転免許保有者では「運転操作を楽しみたい」「システムに任せるのは不安なので」あまり利用したくないという意見もみられた。
- ・また、女性や免許非保有者は「自動走行システムのことをよく知らないので、分からない」といった意見がみられた。

③自動走行システムに対する懸念

- ・代表的意見は「自動走行システムの性能」に対する懸念である。
- ・交通事故経験者ほど「自動走行システムの性能」「自動走行システムの故障時」「居眠り運転や飲酒運転の増加」等に対する懸念が比較的多くみられた。

①～③について、地域や居住地(市街・郊外)による意見の差はみられなかった。

(2)実証実験に関する設問

①実証実験を実施する場所

- ・代表的意見は「実験段階に応じて、交通量にかかわらず、様々な道路で実施すべき」である。
- ・交通事故経験者ほど「実験施設やテストコース」で実施すべきという意見が比較的多くみられた。

②自宅前の道路で実証実験を行うことについて

- ・「どちらかと言えば賛成する」が最も多いが、属性によっては「実施しても、実施しなくても、どちらでも構わない」が多く、意見が分かれた結果となった。
- ・交通事故の未経験者は「分からない」が比較的多くみられた。

③自宅前の道路で実証実験が行われる場合の条件

- ・代表的意見は「実験車両であることが分かるような表示がされた車を使うべき」

である。

- 交通事故経験者ほど「実験車両であることが分かるような表示がされた車を使うべき」という意見が比較的多くみられた。

④公道での実証実験を行う実験で用いる自動走行システムの確認について

- 代表的意見は「実験施設であらゆる条件の下で自動走行システムが安全に機能することを確認すべき」である。

⑤公道での実証実験中の交通事故についての責任

- 代表的意見は「実験実施者が、事故態様にかかわらず、全ての責任を負うべき」である。

①～⑤について、地域や居住地（市街・郊外）による意見の差はみられなかった。